

潮江南小学校南舎及び屋内運動場外壁改修工事

番 号	図 面 名 称	番 号	図 面 名 称	番 号	図 面 名 称
A T - 0 1	改修特記仕様書（１）	A - 0 1	1階、2階平面図	T - 0 1	各階平面図
A T - 0 2	改修特記仕様書（２）	A - 0 2	3階、屋上平面図	T - 0 2	北面立面図・西面立面図
A T - 0 3	改修特記仕様書（３）	A - 0 3	南、西立面図	T - 0 3	南面立面図・東面立面図
A T - 0 4	改修特記仕様書（４）	A - 0 4	北、東立面図	T - 0 4	天井伏図・部分詳細図
A T - 0 5	付近見取図、配置図兼仮設計画図	A - 0 5	各矩計図	T - 0 5	矩計図
A T - 0 6		A - 0 6	各階天井伏図、東面庇各図	T - 0 6	建具配置図・建具リスト
A T - 0 7		A - 0 7	各詳細図	T - 0 7	ギャラリー梁伏図【参考図】
A T - 0 8		A - 0 8	屋外階段緊急用避難扉図	T - 0 8	耐震補強水平トラス梁詳細図（１）【参考図】
A T - 0 9		A - 0 9	建具配置図【参考図】	T - 0 9	耐震補強水平トラス梁詳細図（２）【参考図】
A T - 1 0		A - 1 0	建具表（１）【参考図】	T - 1 0	耐震補強水平トラス梁詳細図（３）【参考図】
A T - 1 1		A - 1 1	建具表（２）【参考図】	T - 1 1	耐震補強水平トラス梁詳細図（４）【参考図】
A T - 1 2		A - 1 2	補強部分詳細図【参考図】	T - 1 2	耐震補強水平トラス梁詳細図（５）【参考図】
A T - 1 3		A - 1 3	南側昇降所各図【参考図】	T - 1 3	
A T - 1 4		A - 1 4	北面渡り廊下詳細図【参考図】	T - 1 4	
A T - 1 5		A - 1 5	屋外階段平面図【参考図】	T - 1 5	
A T - 1 6		A - 1 6	屋外階段立面図【参考図】	T - 1 6	
A T - 1 7		A - 1 7	耐震ブレース各図【参考図】	T - 1 7	
A T - 1 8		A - 1 8		T - 1 8	
A T - 1 9		A - 1 9		T - 1 9	
A T - 2 0		A - 2 0		T - 2 0	

2024. 04		特記仕様書	
潮江南小学校南舎及び屋内運動場外壁改修工事		特記仕様書	
I 工 事 概 要			
1. 工事場所		高知市高見町248番地 1	
2. 工事種目		【 南 舎 】 鉄筋コンクリート造 3階建て 延べ面積1,068.84㎡ 【屋内運動場】 鉄骨造 平家建て 延べ面積827.27㎡ 1) 外壁改修 一式	
3. 関連工事等		・電気設備工事 ・機械設備工事 ・ガス設備工事 ・昇降機設備工事 ・植栽工事 ・合併処理装置設置工事 ・外構工事	
4. 概成工期		・完成期限の() 日 前 (令和 年 月 日)	
5. 部分使用(工事請負契約書第34条第1項)		令和 年 月 日からは、全ての室内部分を使用する。	
II 建 築 工 事 仕 様			
1. 特記仕様		1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。 2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。○印のつかない場合は、※印の付いたものを適用する。 ○印と※印の付いた場合は、共に適用する。 3) 特記事項に記載の()内表示番号は、「公共建築工事標準仕様書」の当該項目、当該図又は当該表を示す。 特記事項に記載の()内表示番号は、「公共建築改修工事標準仕様書」の当該項目、当該図又は当該表を示す。 特記事項に記載の()内表示番号は、「建築物解体工事共通仕様書」の当該項目、当該図又は当該表を示す。 2. 適用基準等 図面及び特記事項に記載されていない事項は、全て国土交通省(建設)大臣官房官営営繕部監修の以下による。 ・公共建築工事標準仕様書(建築工事編) (令和4年版) ※公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編) (令和4年版) ※建築工事標準詳細図 (令和4年版) ・敷地調査共通仕様書 (令和4年版) ・建築物解体工事共通仕様書 (令和4年版) 3. 「週休2日制モデル工事」の実施について ○対象 発注者指定型 ○受注者希望型 本工事は、工事着手日から工事完成日までの間の土曜日及び日曜日を現場の休工日の基本とする 「週休2日制モデル工事」の対象工事である。実施にあたっては高知市「週休2日制モデル工事」実施要領(営繕工事編)による。 (https://www.city.kochi.kochi.jp/soshiki/123/syukyuhutsuka.html) 理由： ・対象外	
項 目		特 記 事 項	
一般共通事項			
①	工事実績情報サービス(CORINS)への登録(請負金額500万円以上)(受注、変更、完成時)	登録の手続きについては、(一財)日本建設情報総合センターの「建設実績情報のコリンズ」デクリス登録等に関する規約」による。 [1.1.4]	
2	総合工程表	原則、工事の着手に先立ち、別契約関連工事の受注者と協議し、受注者及び別契約関連工事の受注者連名による総合工程表を監督職員に提出する。	
3	総合図	工事の施工に先立ち別契約関連工事の受注者と調整のうえ、総合図を作成し、監督職員の承諾を受ける。 [1.2.3]	
④	工事日誌	週ごとに工事の全般的な経過及び次週の工事予定を記載した日誌を監督職員に提出する。 [1.2.4] また、工事の経過が明確にわかる写真を貼付すること。	
⑤	工事写真	工事写真は1版程度とし、工事の内容、日付等必要事項を記入し1部提出する。(A4版台紙) [1.2.4] 撮影方法は、「営繕工事写真撮影要領(令和5年版)」による。 デジタル工事写真の小黑板情報電子化の実施をする場合は、監督職員の承諾を受ける。 なお、実施については、国営建築第14号(令和5年3月1日付)「デジタル工事写真の小黑板情報電子化について」による。	
⑥	下請負者の報告	各下請負者については下請負契約前に監督職員に報告する。	
7	電気保安技術者	適用する。 [1.3.3]	
⑧	施工条件	施工日及び施工時間 ② 1.3.5(1)(7)による。 [1.3.5] ○ 図示(AT-05) ・ 図示 工事用車両の駐車場所及び資機材の置場所 ※ 仮囲い ○ 図示(AT-05) その他の施工条件 ○ 資機材の搬出入時には、専任の誘導員を配置する。その他の場合でも、工事関係車両(乗用車も含む)が敷地内を通行する際には必ず誘導するものをつけ、公道まで後行する。 ○ 登下校時間帯や休み時間等は車両の通行を中止する等必要な配慮をする。 ○ 図示(AT-05)	
⑨	交通誘導警備員	交通誘導警備員を配置する場合は、原則として警備業法(昭和47年法律第117号)第4条による認定を受けた警備業者の警備員を配置することとし、建設作業員等の他職種の者を従事させないこととする。ただし、一時的な作業等で、安全確保に対処できると監督職員が認めたものについては、この限りでないものとする。 配置人員等 ・ 令和 年 月 日から令和 年 月 日までの間は 名常駐する。 ○ 夏季休業期間の作業日は1名常駐する。その他監督職員と協議し、適宜配置する。 ・ 監督職員と協議し、適宜配置する。 配置人員の資格 ・ 1名以上／1班は交通誘導警備業務に係る検定合格者(1級又は2級)を配置する工事。 ※ 交通誘導に關し、1名以上／1班は専門的な知識及び技能を有する警備員等を配置する工事。 資 格 要 件 1, 2級交通誘導警備員(交通誘導警備員A) 交通誘導警備に關して、公安委員会が学科及び実施試験を行い、専門的な知識及び技能を有すると認めたもの 配置人数 人 交通誘導に關し、専門的な知識及び技能を有する警備員等(警備業法における基本的基礎教育及び業務別教育(警備業法第2条第1項第2号の警備業務)を現に受けているもの、交通誘導に關する警備業務に従事した期間(実務経験年数)が1年以上であるもの 60 人 なお、事前に監督職員に検定合格証の写し等の資格要件の確認できる資料を提出する。また、警備員等に変更が生じた場合は、速やかに監督職員に同様の資料を提出する。	
項 目		特 記 事 項	
⑩	工事安全計画書	建設工事公衆災害防止対策要綱及び建築工事安全施工技術指針を参考に、工事安全計画書を監督職員に提出する。	
⑪	統括安全衛生管理義務者の指名	労働安全衛生法第30条第2項に基づき指名をする。	
⑫	発生材の処理	産業廃棄物の運搬、処分等については、1.3.12により適切に処分するものとし、 [1.3.12] 事前に監督職員に処理計画書を提出する。 産業廃棄物の運搬、あるいは処分を他業者に委託する場合は、書面による委託契約を行い、処理計画書にその写しを添付する。 自己処分場で処分する場合は、その処分場が関係法令の規定に適合する旨の資料を提出し、監督職員の現地立会を受けたうえで承諾を得る。(積替・保管についても同様とする) 産業廃棄物の収集・運搬に当たっては、廃棄物の処理及び清掃に関する法律(以下廃棄物処理法という)施行令に基づく車両への表示及び書面の備え付けを行うこと。 また、産業廃棄物を搬出する車両について、処分場ごとに1台のみ写真撮影(現場搬出時及び処分場到着時)し、随時監督職員に報告する。 廃棄物処理法を遵守し、工期内に最終処分(埋立処分、海洋投入処分又は再生)を終了しなければならない。 また、産業廃棄物管理票(以下マニフェストという)により適正に処理されていることを確認するとともに、監督職員にそのE票の写しを提出する。 ただし、廃棄物処理法を遵守した上で、工期内に産業廃棄物の最終処分を終了することが困難な場合で、監督職員が認める場合においては、工期内に中間処理業者への搬入が終了すればよいものとする。この場合、マニフェストにより適正に中間処理業者に搬入されていることを確認するとともに、監督職員にそのB2票の写しを提出する。また、最終処分終了後速やかにE票の写しを提出する。 なお、廃棄物処理法に定める電子情報処理組織を使用する場合は別途協議する。 ・ 引渡しを要するもの () ・ 現場再利用を図るもの () ○ 再資源化を図るもの (※コンクリート ※コンクリート及び鉄から成る建設資材 ※木材 ※アスファルトコンクリート) 特別管理産業廃棄物の施工計画調査 ※ 行う ・ 行わない 分析調査 ※ 施工計画調査の結果により、監督職員と協議する。 ・ 行う () ・ 行わない ・ PCBを含む機器類 ・ 変圧器 ・ コンデンサ ・ 蛍光灯, H I D 灯器具の安定器 ・ その他 () ・ PCB含有シーリング材 ・ 廃油 ・ 廃酸 廃アルカリ ・ 臭化リチウム水溶液 ・ 電池の溶解液 ・ ダイオキシソ類 再生資源利用(促進)計画書及び実施書を、建設副産物情報交換システム(COBRIS)により作成し、提出は以下による。 a) COBRISについては、建設副産物情報センターのホームページ(http://www.recycle.jacic.or.jp)より、利用申請等を行うことができる。 b) 建設資材の利用量の大小や有無に関らず、紙に出力した再生資源利用計画書及び実施書(建設リサイクルガイドライン様式1)を、完成資料として監督職員に提出する。 c) 建設副産物の発生量及び搬出量の大小や有無に関らず、紙に出力した再生資源利用促進計画書及び実施書(建設リサイクルガイドライン様式2)を、完成資料として監督職員に提出する。 d) 受注者は再生資源利用(促進)計画書(現場揭示用様式)を工事現場の見やすい場所に掲げること。 e) 受注者は作成したデータを含め、再生資源利用(促進)計画書及び実施書を工事完成後5年間保存する。 工事請負契約後、速やかに工事目的物、工事材料等に生じる損害、第三者に及ぼした損害を補償する保険を締結する。保険期間は、工事着工のときから完成期限より24日後以降までの期間とする。 ※ 金銭的保証方式 ・ 有 ○ 無 「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」(グリーン購入法)及び「高知県グリーン購入基本方針及び実施計画」に基づき、重点調達品目については、積極的に利用すること。なお、重点調達品目の中で木材・木材製品等においては、その原料とされる原木が生産された国における森林に関する法律に照らして合法なものを使用する。 木材・木材製品等については、県産木材納入証明書、県外産合法木材納入証明書を監督職員に提出すること。 [1.4.2] 事前調査の報告 一定規模以上の工事は労働基準監督署と高知市に報告が必要となる 事前調査範囲 ※ 改修範囲 [1.5.1] 貸与資料 ※ 有 (○既存の設計図書 ○石綿含有建材分析調査結果報告書) 調査結果: 複層塗材E(含有無し) 外装塗塗材E(含有無し) ・ 無 分析調査 ※ 書面調査及び現地での目視調査の結果により、監督職員と協議する。 ・ 行う (調査建材使用部位 調査建材名 検体数) 分析方法 ※ 定性分析 定性分析の結果により、定量分析を行う場合は監督職員と協議する。 調査範囲 ※ 図示 ○「劣化改修」と図示されている箇所 [1.6.2] 調査方法 ※ 外部足場を使用した目視及び打診 破壊部分の補修方法 ※ 現状に復旧 外壁調査は、外壁改修フローに対する外壁面のひび割れ、浮き、欠損部、内部まで貫通したひび割れ及び雨漏りの有無についての位置及び数量(幅、長さ、面積)の調査を行う。 また、その調査の結果を立面図等に記載し集計表を添えて電子データと共に、監督職員に報告する。(必要に応じ写真等を添付する) ※ 適用する (○:一級, ●:二級) [1.7.2][1.7.3] 工 事 種 別 技 能 検 定 の 作 業 の 種 別 ○ 仮設工事 ※ ●とび作業(又は足場組立作業主任者) ・ 鉄筋工事 ※ ○鉄筋組立作業 ・ コンクリート工事 ・ ○コンクリート圧送工事作業 ・ ○型枠工事作業 ・ 鉄骨工事 ※ ●とび作業 ・ ブロック・ALCパネル工事 ・ ○コンクリートブロック工事作業 ・ (単一)エーエルシーパネル工事作業 化学物質の室内濃度の測定 [1.7.9] 化学物質の室内濃度を測定し、厚生労働省が定める指針値以下であることを確認し、報告書を監督職員に提出する。 ただし、完成検査前に報告書の提出が困難な場合は、事前に信頼のおける連報等の資料を監督職員に提出する。この場合、後日に正式な報告書を速やかに監督職員に提出しなければならない。 測定する業者の選定にあたっては、あらかじめ監督職員に報告すること。 測定方法 ※ 厚生労働省「室内空気中化学物質の室内濃度指針値及び標準的測定方法について」による。 測定対象化学物質 ※ ホルムアルデヒド ※ トルエン ※ キシレン ※ エチルベンゼン ※ スチレン ※ パラジクロロベンゼン 測定箇所 ()箇所 施工前・施工後(計 回測定) 測定対象室 () なお、測定結果が厚生労働省の定める指針値を超えている場合は、原則として本工事の引き渡しを行わないこととする。ただし、次のいずれかに該当する場合は除く。 1 何らかの対策が施された結果、揮発性	

29

完成写真

下表のものを監督職員に提出する。

位置	分類・規格	撮影枚数	部数	原版の大きさ(mm)		
・各室	手札版(L版)	※2枚	・枚	※1部	・部	・100×125以上
・外部	キャビネ版	※4枚	・枚	※1部	・部	・24×36以上
・外部	半切パネル(・木製枠※アルミ枠)	※1枚	・枚	※1部	・部	
・	スライド		※1部	・部		

カラー・電子データ化(CD-R等)し、すべて提出する。

撮影箇所は監督職員と協議する。

上表のほか、監督職員指示の箇所をデジタルカメラにて撮影し、CD-R等にて提出する。

画像形式等 フォーマット: JPEG 画質: 標準 画像サイズ: 1024×768ピクセル程度

30

別途設備工事との
取合い

施工範囲

・貫通孔、開口部の補強

・壁、天井の仕上材、下地材の切込み及び下地材の補強

・駆動装置が電動による建具類の2次配線及び操作スイッチ

・自動閉鎖装置取付け箇所の切込み及び補強

※下表

・図示

・図示

補強種別	内容
貫通孔、開口部の補強	梁
	壁
	スラブ
壁切込み及び補強	
天井切込み及び補強	

コンクリート、モルタル等の撤去部分の境目は、原則としてダイヤモンドカッター切りとする。

暴力団又は暴力団関係者からの不当要求又は工事妨害(以下この文において「不当介入」という。)の排除については次による。

a) 受注者は、暴力団又は暴力団関係者からの工事の施工に関して不当介入を受けたときは、その旨を直ちに監督職員に報告し、所轄の警察署に届出なければならない。

b) 受注者は、不当介入による被害を受けたときは、その旨を直ちに監督職員に報告し、所轄の警察署に届出なければならない。

c) 受注者は、監督職員及び所轄警察署と協力して、不当介入の排除処理を講じなければならない。

d) 受注者が、不当介入の報告を怠った場合は、「高知市競争入札指名停止措置要綱」に基づき、指名停止措置を行うものとする。

31

撤去部分

32

不当要求等への対応

33

消防計画

工事の着手にあたり、火災等の災害の予防や、使用部分と工事中の部分の安全を確保するため、別契約の関連工事業者と協議の上、「工事中の消防計画書」を作成し、当該施設の防火管理者の承認を得て届出を行う。

34

工事特性等

受注者は、自ら立案した工事特性、創意工夫、社会性等のそれぞれの評価項目について、実施しようとする場合は、事前に計画内容を所定の様式で監督職員に提出する。

また、実施後、工事完成時までに所定の様式に実施状況の分かる図面や状況写真等を添付して監督職員に提出する。

仮設工事(改修)

1

足場その他

内部足場

※きやつ、足場板等

[2.1.3][2.2.1][表2.2.1]

外部足場

※本足場

・

外部足場の養生

※図示

・防護シート

○メッシュシート

・防音シート

・防音パネル

○高さ1.8m以下の範囲は金網養生も行い、関係者以外が侵入できないよう施設すること。

材料、撤去材の運搬方法

・A種

※B種

・C種

・D種

・E種

C種の場合

利用可能なエレベーター(※図示

・

)

D種の場合

利用可能な階段(※図示

・

)

・屋上防水作業の端部には、墜落防止手摺等墜落の危険を防止する措置を講ずる。

本足場を設ける場合は、公共建築改修工事標準仕様書2.2.1(2)によるほか、足場の組立、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」により行うこと。

2

養生

○既存部分の養生

※ビニルシート、合板等

[2.3.1]

○既存家具、既存設備等の養生

※ビニルシート等

・

・既存ブラインド、カーテン等の養生、保管場所

※図示

○固定された備品等の移動

※図示

○開口部養生

窓等の破損の危険がある工事を行う場合は、施工を行う周辺及びその下部の窓等には、室内に破損物等が飛散しない様、堅固な養生を行う。

3

仮設間仕切り
(屋内)

設置箇所

※図示

[2.3.2][表2.3.1]

間仕切り種別

・A種

・B種

※C種

A種、B種の場合

仕上材の材種

※せっこうボード

厚さ9.5mm

・合板(普通合板)厚さ9.0mm

塗装仕上げ等

・行う

※行わない

仮設扉設置箇所

※図示

・

仮設扉種別

・合板張り木製扉程度

・図示

4

監督職員事務所

・設ける(㎡程度)

※設けない

5

監督職員の備品等

備品等の設置

[2.4.1]

備品の種類	机・椅子	書棚	黒板	PC	掛時計
数	量	組	枚	台	個
備品の種類	温度計	ゴム長靴	雨がっぱ	保護帽	懐中電灯
数	量	個	足	着	個
備品の種類	衣類ロッカー	冷暖房機器	消火器	湯沸器	加入電話付属器
数	量	人用	台	個	台
備品の種類	掃除具				
数	量	個			

項目

特記事項

6

工事用水・電力

構内既存の施設(用水)

○利用できる(※有償・無償)

※利用できない

構内既存の施設(電力)

○利用できる(※有償・無償)

※利用できない

構内既存の施設を利用できる場合で、無償の場合は、下記a)〜c)による。

a) 既存設備の水栓等から直接水を使用する場合は、監督職員と協議する。

b) 既存のコンセントから直接電力を使用する場合は、監督職員と協議する。

c) 工事用電源を既存建築物から分岐する場合は、原則、既設分電盤の共用回路のコンセントからとする。なお、接続する回路の負荷状態等を確認し、既設負荷への波及がないようにする。

また、漏電遮断器付コンセント等を使用し、安全の確保を図る。

構内既存の施設を利用できる場合で、有償の場合は、上記a)〜c)に下記d)〜e)を加える。

d) 工事用水は、既存設備に量水器を設けて、仮設配管を施し使用するものとする。

e) 工事用電力は、原則、既存設備に電力計を設けて、仮設配電盤を設置し、使用するものとする。

四国電力送配電網などの架空線に防護管の設置が必要な場合は、監督職員と協議する。

※図示

※原形の復旧

・良土にて設計地盤まで盛土整地する。

範囲(図示)

厚さ()

[2.5.1]

7

仮囲い

8

仮設物撤去後の
整地・跡片付け

防水改修工事

1

降雨等に対する養生
方法

※3.1.3(5)による

[3.1.3]

2

既存下地の処理

既存下地の補修箇所、範囲、数量等

※図示

設備機器架台、配管受部、パラベット、貫通パイプ回り、手すり・丸環の取付け部、塔屋出入口部、防水層末端部等の納まり部の処理

※図示(図示のない場合は監督職員と協議による)

・製造所の仕様による

[3.2.6]

3

塗膜防水

防水層の種類別

[3.6.3][表3.6.1〜表3.6.3]

工法	種別	施工箇所	仕上塗料	高日射反 射率塗料 の適用	備考	
○POX	・X-1		※2成分形アクリル樹脂系	※製造所の仕様による	改修用ドレン	・設ける
○L4X	○X-2		・ふっ素樹脂系			○設けない
	・X-2H		・アクリルシリコン樹脂系			
・P1Y	※Y-2				保護層	・設ける
・P2Y						・設けない

絶縁工法における脱気装置の種類及び設置数量

※主材料の製造所の仕様による

[3.6.3]

ウレタン防水材

※化学物質MOCAを含有しないもの

シーリング改修工法の種類

[3.1.4][3.7.4〜3.7.7][表3.1.2]

・シーリング充填工法

○シーリング再充填工法

・拡張シーリング再充填工法

・ブリッジ工法

ボンドブレーカー張り

・適用する

[3.7.7]

・エッジング材張り

・適用する

シーリング材の種類、施工箇所

[3.1.4][3.7.2][表3.7.1]

※下表による(下表以外は表3.7.1による)

種類(記号)	主成分による区分	施工箇所
・SR-1	シリコーン系	
・SR-2		
○MS-2	変成シリコーン系	図示
・PS-2	ポリサルファイド系	
・PU-2	ポリウレタン系	

仕上げを行わない箇所()

[表3.7.1]

シーリング材の目地寸法

[3.7.3]

箇所	打継ぎ/ひび割れ誘発目地	ガラス回りの目地	左記以外の目地
幅(mm)	※20以上	○図示	※幅及び深さ5以上[5.13
深さ(mm)	※10以上	○図示	]による場合を除く) ※10以上

○図示

接着性試験

[3.7.8]

※簡易接着性試験

・引張接着性試験

材料

[3.8.2][表3.8.1]

材	種	寸法	施工箇所
・硬質ポリ塩化ビニル管(VP)			※たてどい
○硬質ポリ塩化ビニル管カラー(カラーVP)	図示		※たてどい
○硬質塩化ビニル雨どい	図示		※軒どい
			・たてどい

とい受金物及び足金物の材種、形状及び取付け間隔

[3.8.2]

材種: ※ステンレス製

・溶融亜鉛めっき

その他: ※表3.8.2による

防露材のホルムアルデヒド放出量

※F☆☆☆☆

[3.8.2]

既存のといその他の撤去

※図示

[3.8.3]

降雨等に対する養生方法

※監督職員と協議による

・図示

銅管製といの防露巻き

・表3.8.4による

たてどい受金物の取付け

○図示

ルーフドレンの取付け

・水はけがよく、床面より下げ、周囲の隙間にモルタルを充填する。

受注者、施工者、材料製造所連名による10年保証(完成届提出日より15日後から)

JIS K 5675(屋根用高日射反射率塗料)に適合するもの、または、グリーン購入法の高日射反射率防水に適合する保護塗料とする。

保証書
(シーリング除く)

高日射反射率塗料塗り

外壁改修工事(共通事項)

1

材料品質

可とう性エポキシ樹脂

JIS A 6024による。

[4.2.4]

比重	押出し性 (秒)	スランプ (Mm)	質量変化率 (%)	引張り強さ (MPa)	破断時伸び (%)	引張り接着性
表示値±0.10	60以下	3.0以下	5.0以下	標準	1.0以上	標準
				低温	1.0以上	低温
				加熱劣化1.0以上		加熱劣化30.0以上

1) 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。

2) 対象とする被着体を侵さず、かつ周囲を汚損しないこと。

3) 常温常湿(温度20±15℃、湿度65±20%)において製造所の指定する期間又は製造後6ヶ月保存した後であっても、品質・性能が上記の各項目に適合していること。

2

外壁改修工事
モルタル塗り仕上げ

1

ひび割れ部改修工法

※樹脂注入工法

[4.2.5(1)〜(5)][4.3.6]

種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(mL/m)
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上1.0以下	※200〜300	※製造所の仕様
・	・	・	・130
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	・50〜100	※40
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上0.5未満	・100〜200	※70
	0.5以上1.0以下	・150〜250	※130

コア抜取り検査

※行わない

・行う(長さ500mmごと及びその端数につき1個。補修方法は図示による)

○Uカットシール材充填工法

[4.2.6][4.3.7]

○シーリング材

充填材料

※1成分形又は2成分形ポリウレタン系

ポリマーセメントモルタルの充填

※行う

・行わない

・可とう性エポキシ樹脂

・シール工法

[4.2.7][4.3.8]

・パテ状エポキシ樹脂

・可とう性エポキシ樹脂

2

欠損部改修工法

※充填工法

[4.2.8]

※エポキシ樹脂モルタル

・ポリマーセメントモルタル

外壁改修工事
モルタル塗り仕上げ

1

ひび割れ部改修工法

※樹脂注入工法

[4.2.5(1)〜(5)][4.3.6]

種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(mL/m)
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上1.0以下	※200〜300	※製造所の仕様
・	・	・	・130
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	・50〜100	※40
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上0.5未満	・100〜200	※70
	0.5以上1.0以下	・150〜250	※130

コア抜取り検査

※行わない

・行う(長さ500mmごと及びその端数につき1個。補修方法は図示による)

○Uカットシール材充填工法

[4.2.6][4.3.7]

○シーリング材

充填材料

※1成分形又は2成分形ポリウレタン系

ポリマーセメントモルタルの充填

※行う

・行わない

・可とう性エポキシ樹脂

・シール工法

[4.2.7][4.3.8]

・パテ状エポキシ樹脂

・可とう性エポキシ樹脂

項目

特記事項

パテ状エポキシ樹脂

JIS A 6024による。

[4.2.4]

初期硬化性(MPa)	接着強さ(MPa)	圧縮強さ(MPa)	曲げ強さ(MPa)	硬化収縮率(%)
標準2.0以上	標準6.0以上	50.0以上	30.0以上	3.0以下

1) 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。

2) 対象とする被着体を侵さず、かつ周囲を汚損しないこと。

3) 常温常湿(温度20±15℃、湿度65±20%)において製造所の指定する期間又は製造後6ヶ月保存した後であっても、品質・性能が上記の各項目に適合していること。

4) 試験方法は、JIS A 6024(建築補修用注入エポキシ樹脂)に準じる。

エポキシ樹脂モルタル

JIS A 6024による。

[4.2.4]

だれ	接着強さ(MPa)	圧縮強さ(MPa)	曲げ強さ(MPa)
形状に異常がなく、 だれが生じないこと	1.0以上	20.0以上	10.0以上 (3日後の値)

1) こて塗りが容易で、かつ、硬化後の仕上がりが良好であること。

2) 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。

3) 「労働安全衛生法」に基づく「有機溶剤中毒予防規則」に規定された第一種有機溶剤を使用しないこと。

4) 常温常湿(温度20±15℃、湿度65±20%)において製造所の指定する期間又は製造後6ヶ月間保存した後であっても、品質・性能が上記の各項目の規定に適合していること。

ポリマーセメントモルタル

[4.2.4]

だれ	曲げ強さ (N/mm2)	圧縮強さ (N/mm2)	接着強さ(N/mm2)		
下がり量	ひびわれの発生 が生がないこと	6.0以上	20.0以上	標準条件	特殊条件
5mm以内				1.0以上	0.8以上

1) 透水性

裏面のぬれ、水滴の付着がないこと。

2) 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。

3) ポリマーセメントモルタルに用いる高分子エマルションは、常温常湿において製造後6ヶ月保存しても変質しないこと。

ポリマーセメントスラリー

[4.3.5]

拡がり速さ (cm/s)	長さ変化率 (収縮) (%)	引張接着性 (材齢28日) (N/mm2)	曲げ強度 (材齢28日) (N/mm2)	吸水率 (72時間) (%)	劣化曲げ強さ (N/mm2)
3以上	3以下	0.49以上	4.9以上	15以下	4.9以上

1) 保水係数

0.35〜0.55

2) 粘調係数

0.50〜1.00

3) 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。

4) ポリマーセメントスラリー用の材料は、常温常湿において製造後6ヶ月保存しても変質しないこと。

既調合モルタル

モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和材等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。

[4.3.10]

外壁改修工事
コンクリート打放し仕上げ

1

ひび割れ部改修工法

※樹脂注入工法

[4.2.5]

種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(mL/m)
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上1.0以下	※200〜300	※製造所の仕様
・	・	・	・130
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	・50〜100	※40
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上0.5未満	・100〜200	※70
	0.5以上1.0以下	・150〜250	※130

コア抜取り検査

※行わない

・行う(長さ500mmごと及びその端数につき1個。補修方法は図示による)

・Uカットシール材充填工法

[4.2.6]

・シーリング材

充填材料

※1成分形又は2成分形ポリウレタン系

ポリマーセメントモルタルの充填

※行う

・行わない

・可とう性エポキシ樹脂

・シール工法

[4.2.7]

・パテ状エポキシ樹脂

・可とう性エポキシ樹脂

2

欠損部改修工法

※充填工法

[4.2.8]

※エポキシ樹脂モルタル

・ポリマーセメントモルタル

外壁改修工事
モルタル塗り仕上げ

1

ひび割れ部改修工法

※樹脂注入工法

[4.2.5(1)〜(5)][4.3.6]

種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(mL/m)
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上1.0以下	※200〜300	※製造所の仕様
・	・	・	・130
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	・50〜100	※40
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上0.5未満	・100〜200	※70
	0.5以上1.0以下	・150〜250	※130

コア抜取り検査

※行わない

・行う(長さ500mmごと及びその端数につき1個。補修方法は図示による)

○Uカットシール材充填工法

[4.2.6][4.3.7]

○シーリング材

充填材料

※1成分形又は2成分形ポリウレタン系

ポリマーセメントモルタルの充填

※行う

・行わない

・可とう性エポキシ樹脂

・シール工法

[4.2.7][4.3.8]

・パテ状エポキシ樹脂

・可とう性エポキシ樹脂

項目

特記事項

工事名

潮江南小学校南舎及び屋内運動場外壁改修工事

係

係長

課長補佐

課長

図面番号

AT-02

図面名

改修特記仕様書(2)

縮尺

縮尺

図面

2025年

4月

日

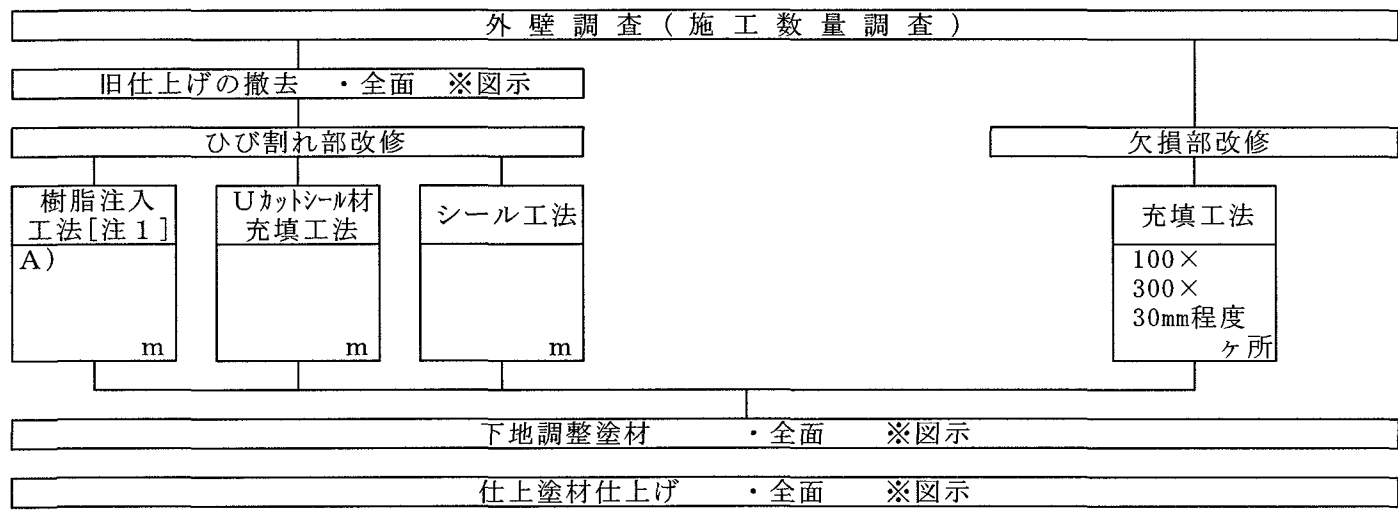
高知市 都市建設部 公共建築課

[illegible]

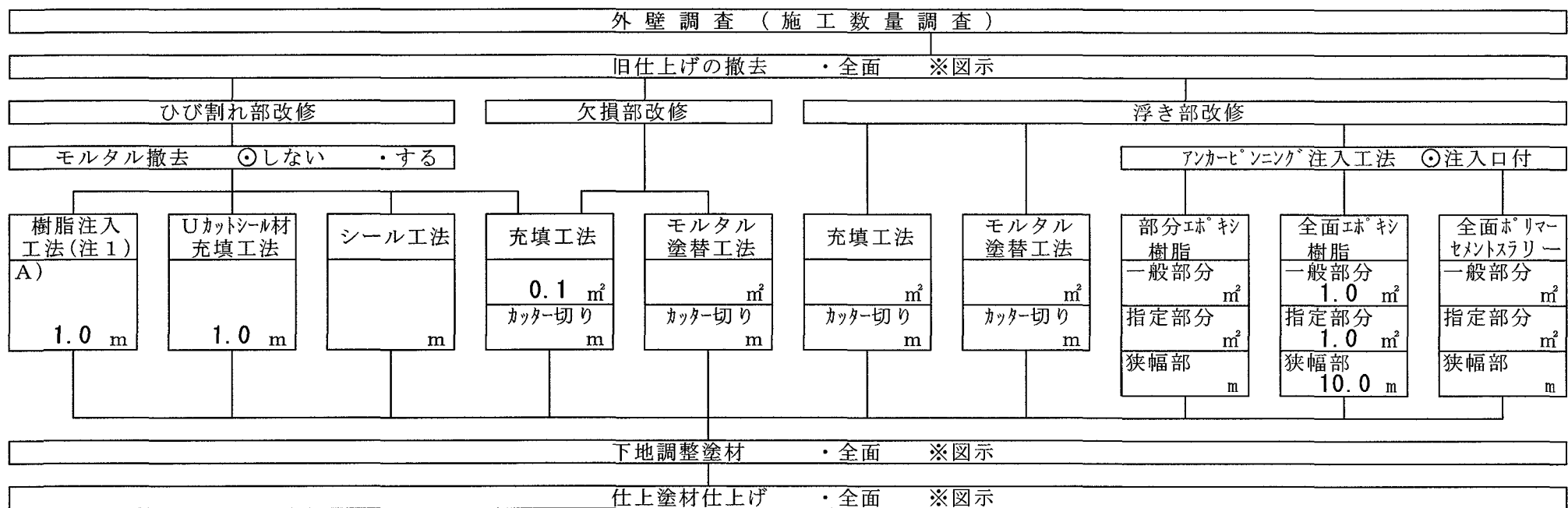
外壁改修フロー及び数量

南舎

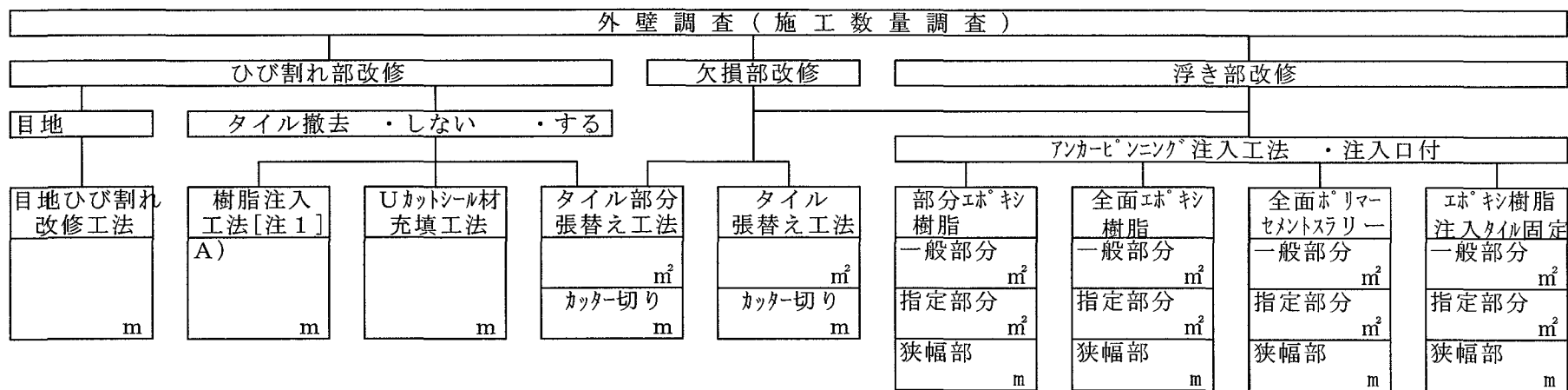
・コンクリート打放し仕上げ外壁の場合



○モルタル塗り仕上げ外壁の場合



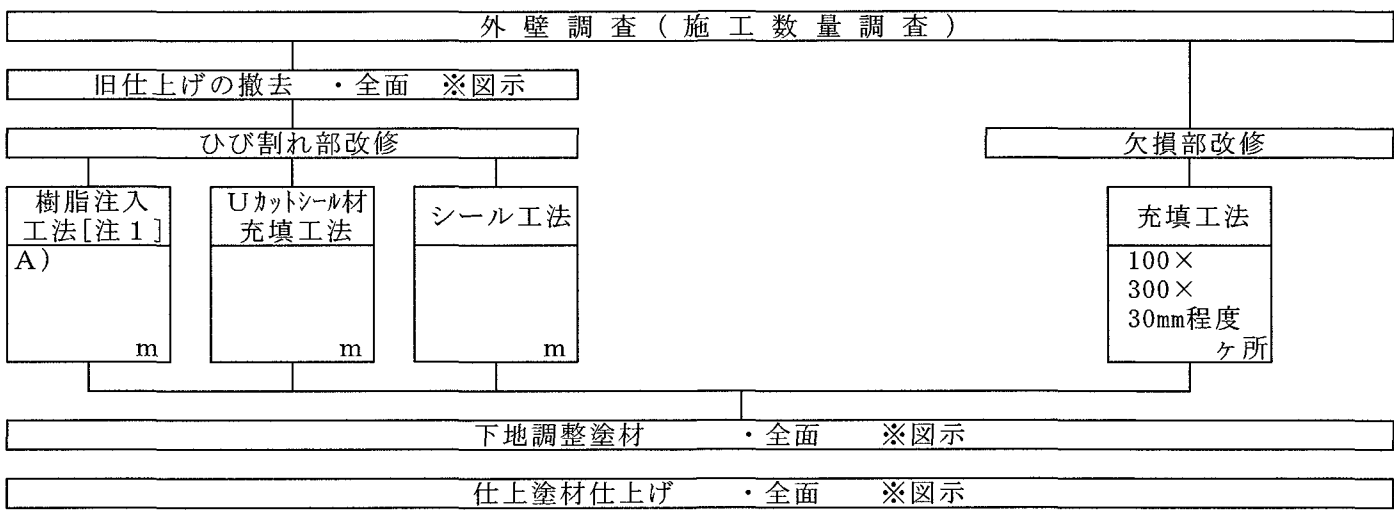
・タイル張り仕上げ外壁の場合



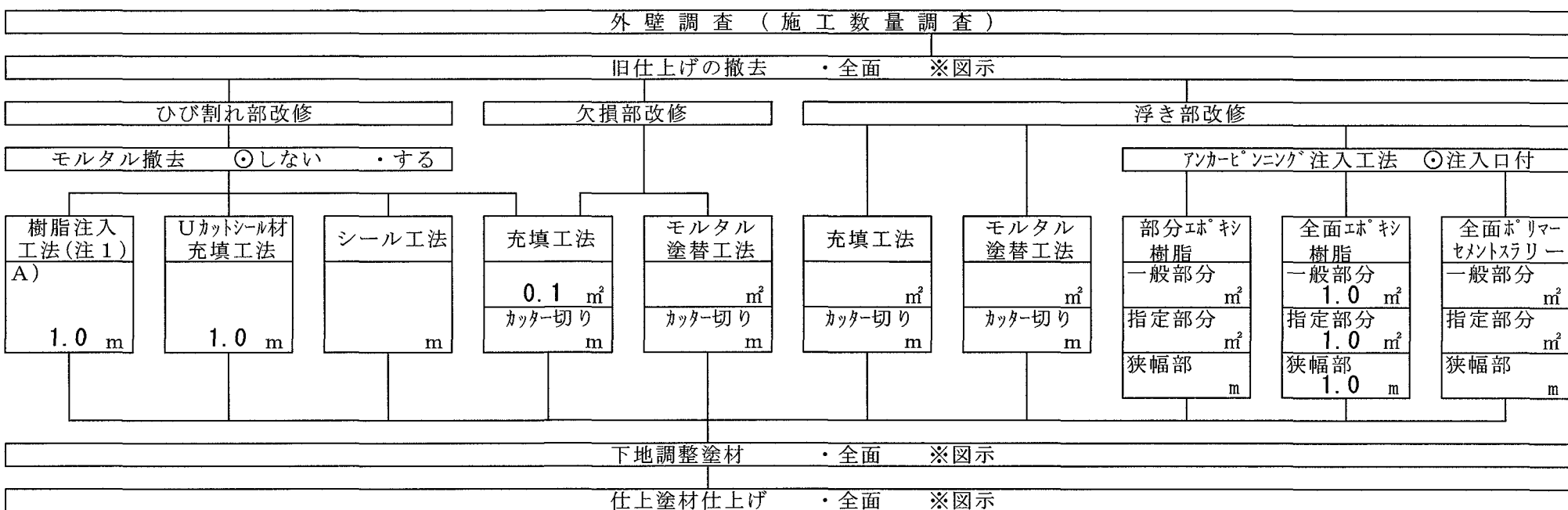
(注1) ひび割れ幅(mm)が、A)0.2以上1.0以下を示す
A)は自動式低圧エキボシ樹脂注入工法を示す。

屋内運動場

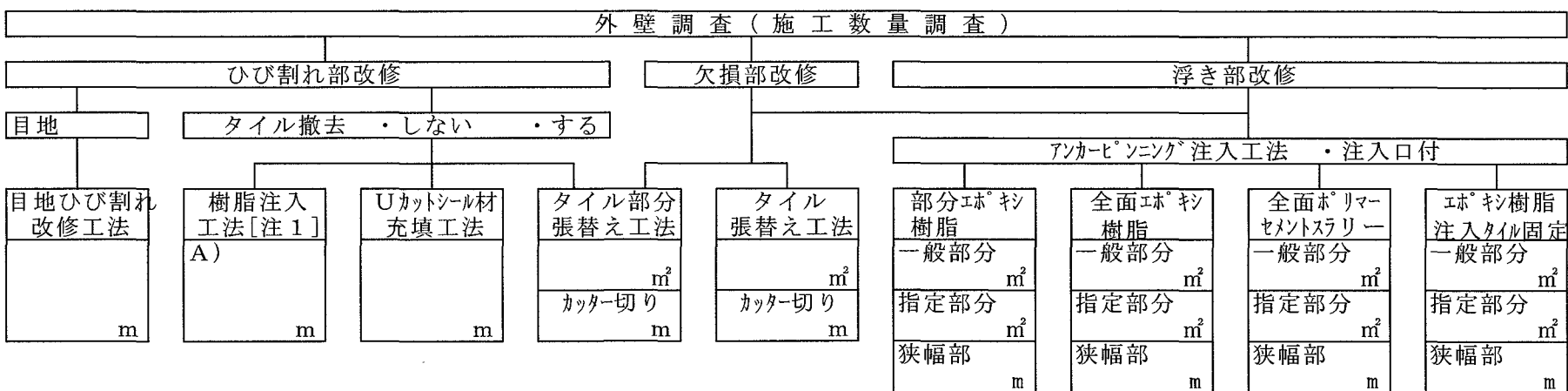
・コンクリート打放し仕上げ外壁の場合



○モルタル塗り仕上げ外壁の場合



・タイル張り仕上げ外壁の場合



(注1) ひび割れ幅(mm)が、A)0.2以上1.0以下を示す
A)は自動式低圧エキボシ樹脂注入工法を示す。

高知市 都市建設部 公共建築課

工事名

潮江南小学校南舎及び屋内運動場外壁改修工事

図面名

改修特記仕様書(4)

縮尺

係

係長

課長補佐

課長

図面番号

小野

世岡

濱口

松本

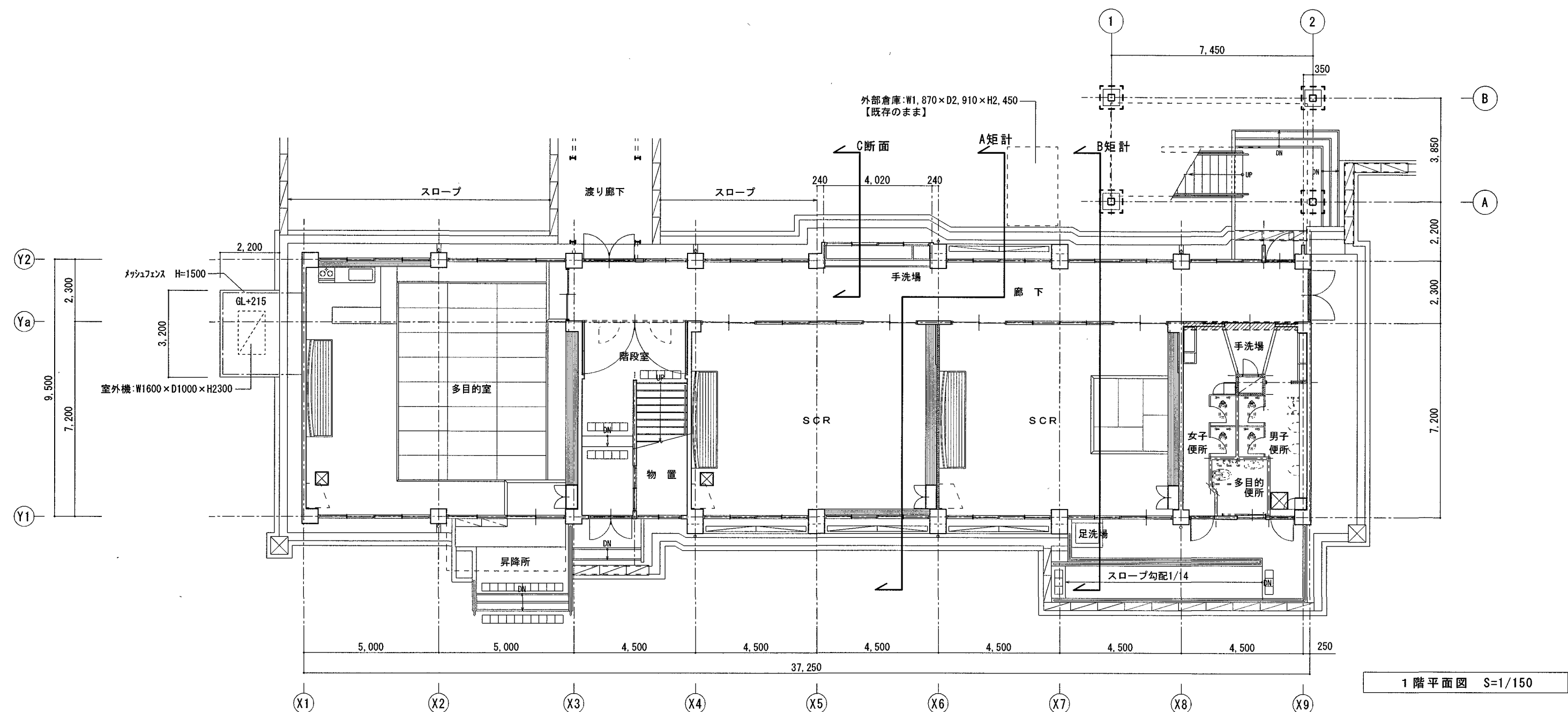
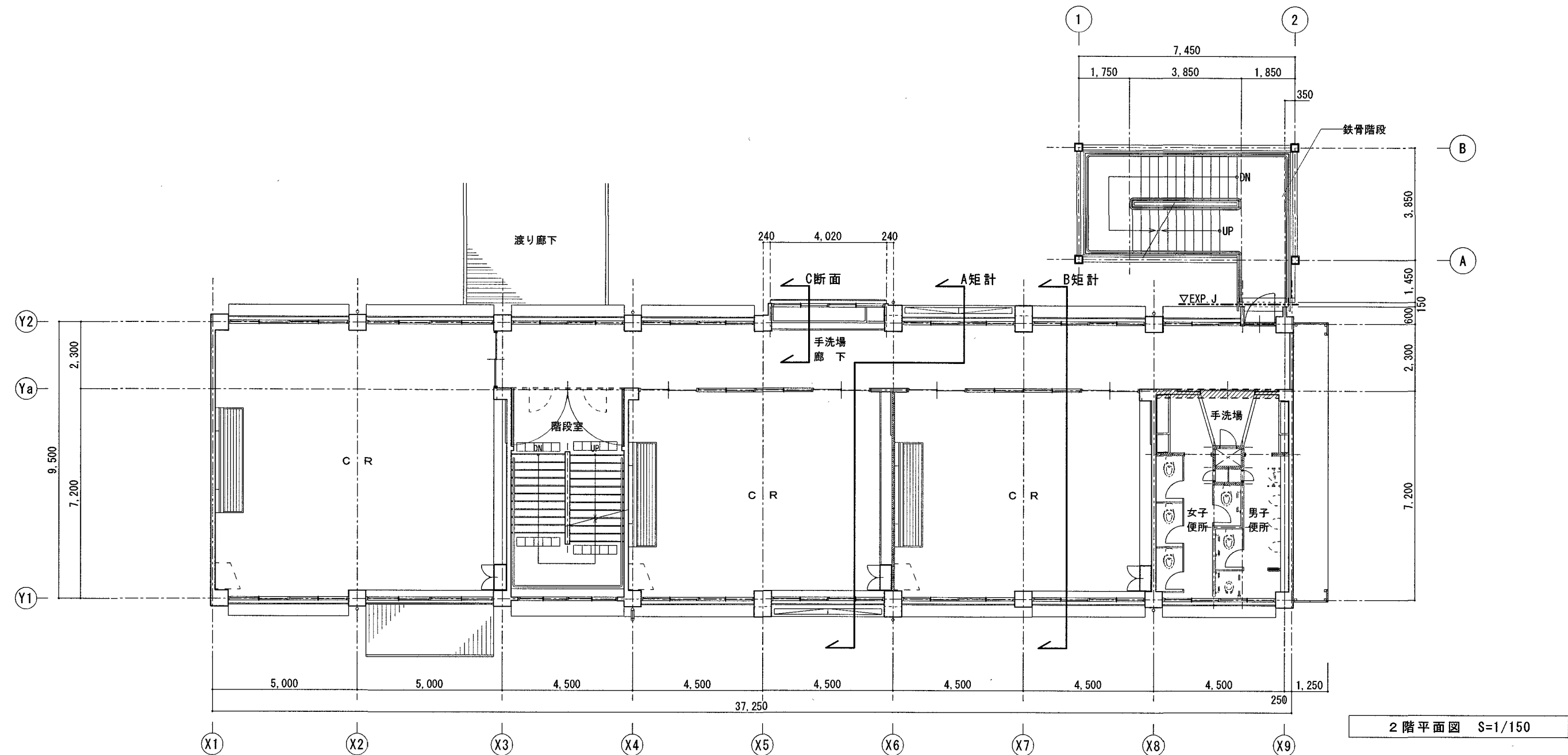
制作図

2025年

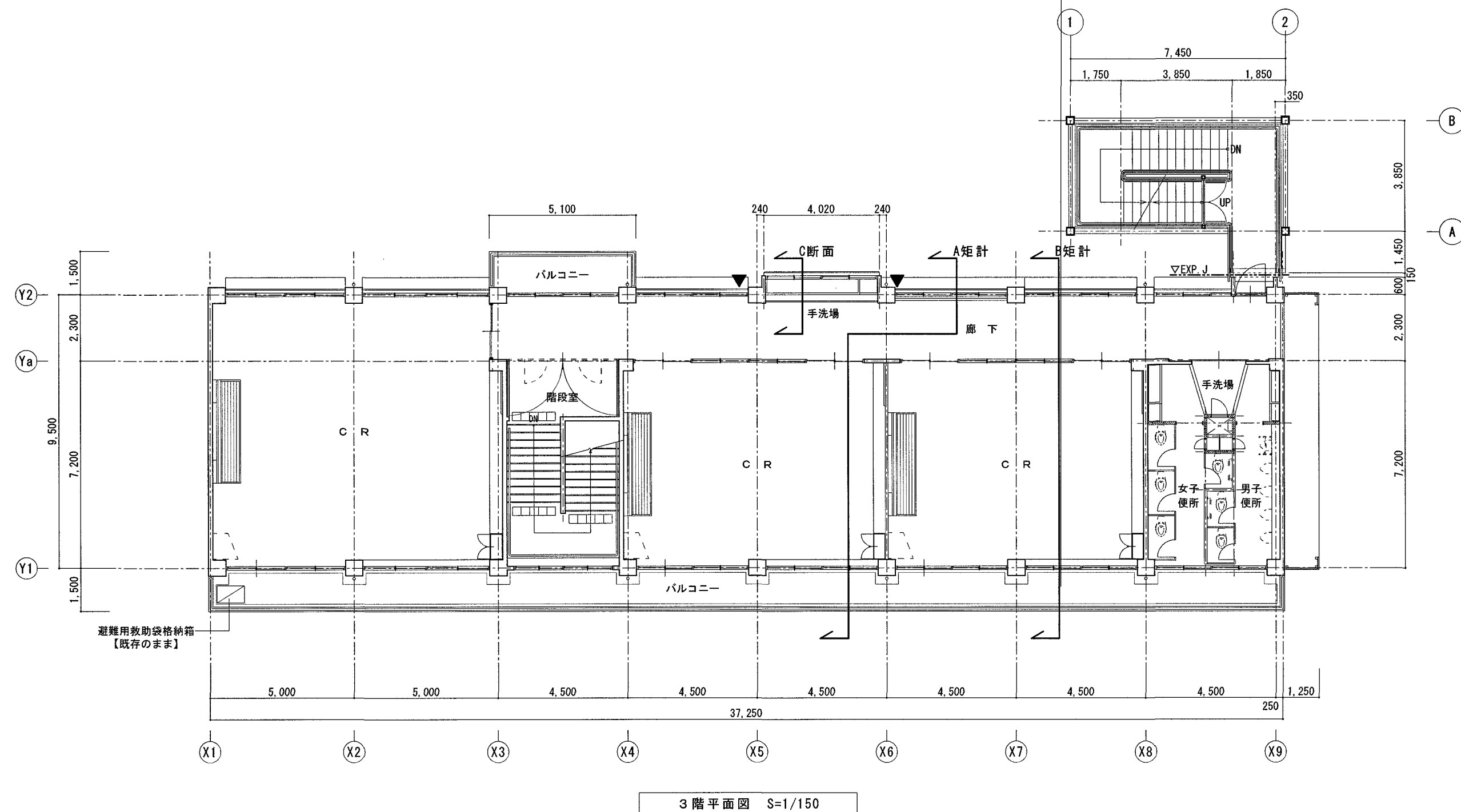
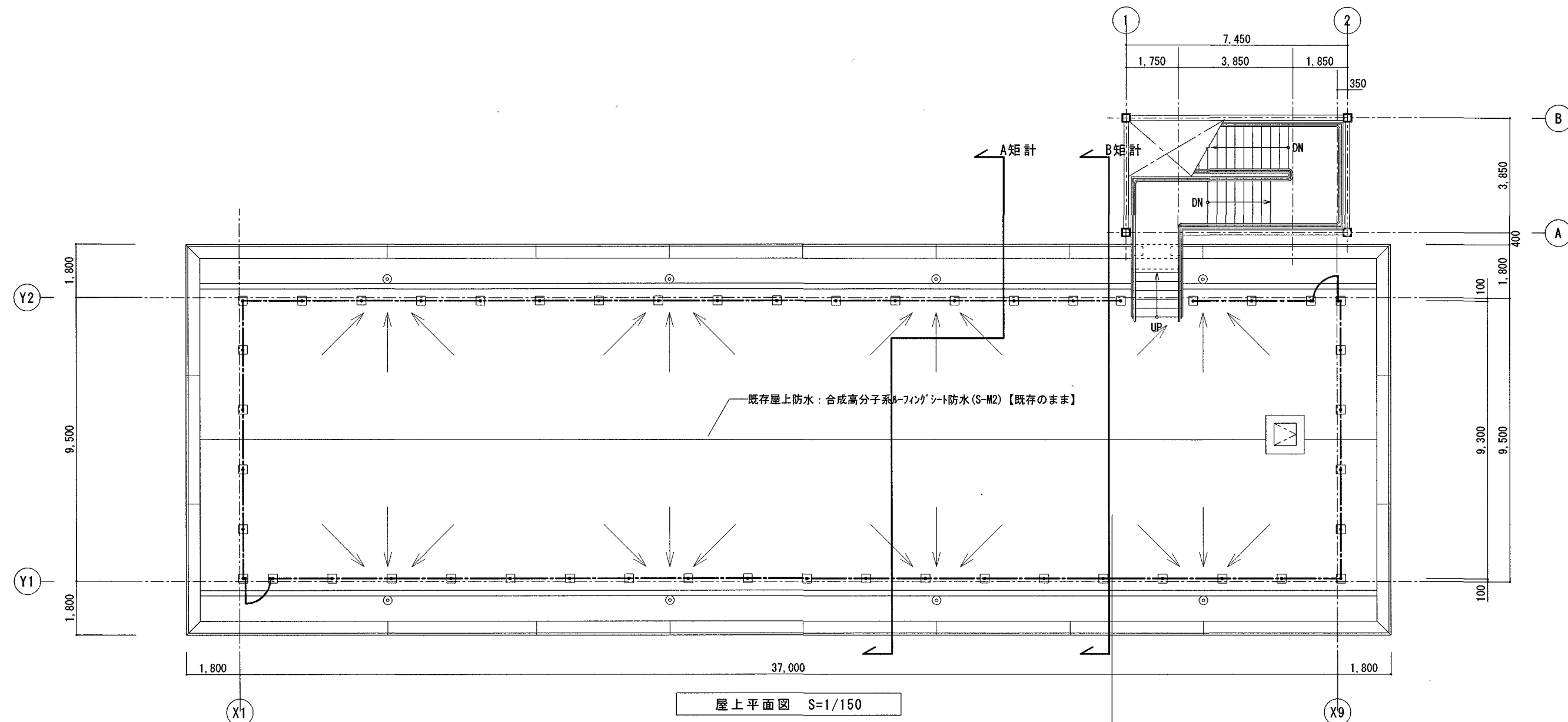
4月

日

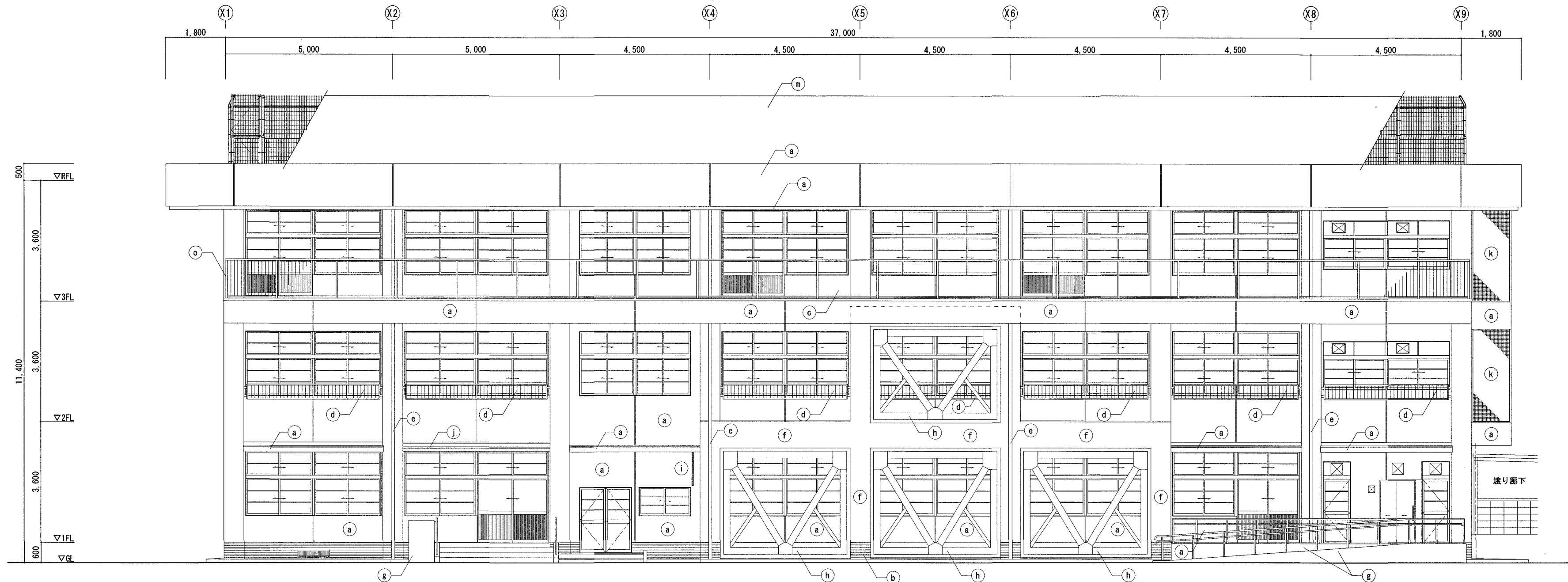
AT-04



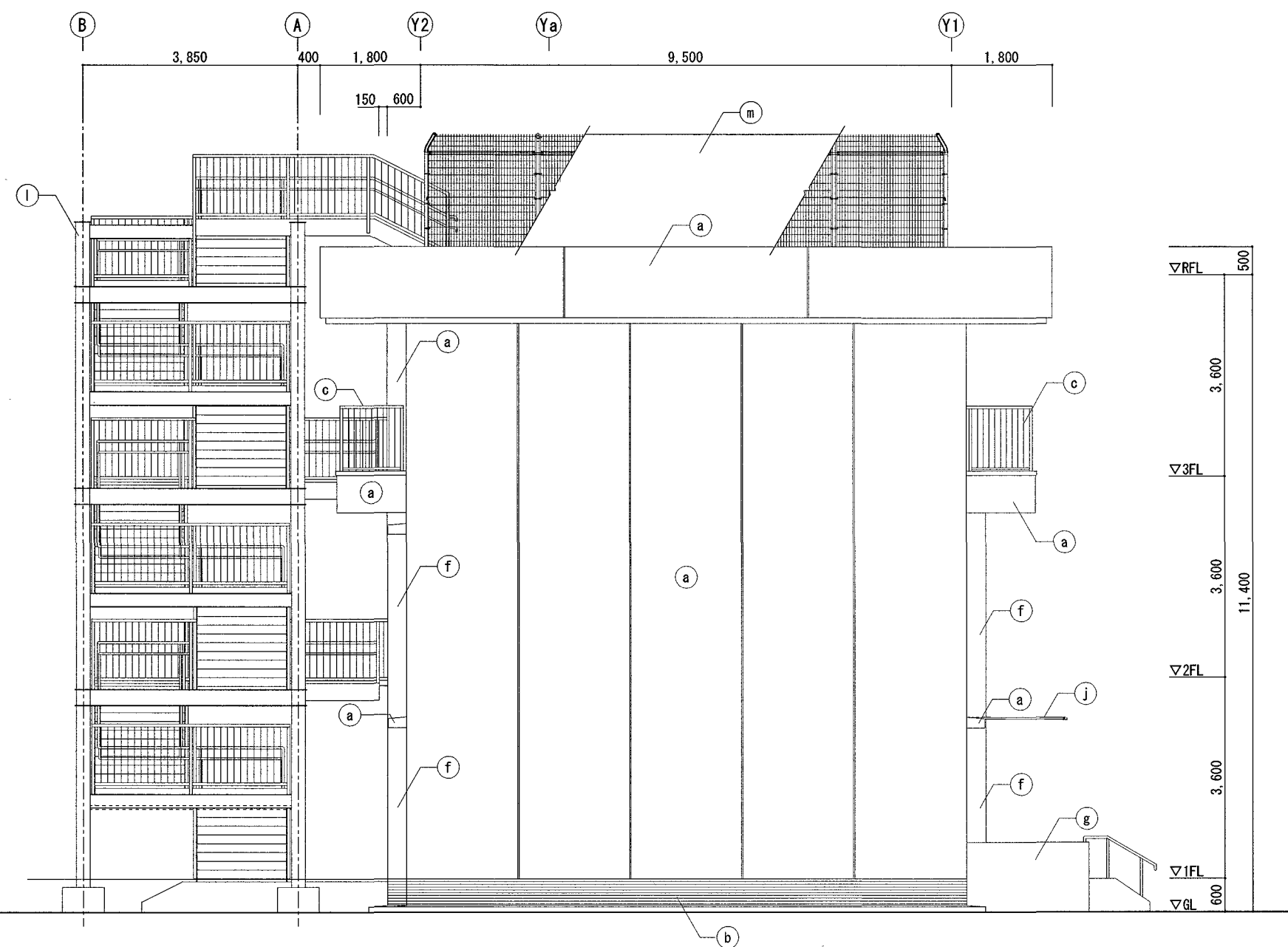
高知市 都市建設部 公共建築課				工事名 潮江南小学校南舎及び屋内運動場外壁改修工事				係 長 課長補佐 課長	図面番号
				図面名	1 階, 2 階平面図	縮 尺	1/150	作 図 年 月 日	A-01



高知市 都市建設部 公共建築課				工事名 潮江南小学校南舎及び屋内運動場外壁改修工事				係 佐藤	係長 濱田	課長補佐 濱田	課長 松本	図面番号 A-02
				図面名 3階、屋上平面図	縮尺 1/150	作図 年	月	日				



南面立面図 S=1/100



西面立面図 S=1/100

劣化改修		
損傷内容	工 法	予定数量
ひび割れ (0.2以上1.0mm未満)	自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	1.0 m
ひび割れ (1.0mm超え)	Uカットシール材充填工法	1.0 m
欠損	欠損部充填工法	0.1 m ²
浮き (一般部)	注入口付アクリル樹脂 全面珪藻土樹脂注入工法	1.0 m ²
浮き (指定部)	注入口付アクリル樹脂 全面珪藻土樹脂注入工法	1.0 m ²
浮き (狭幅部)	注入口付アクリル樹脂 全面珪藻土樹脂注入工法	10.0 m

※ 数量及び工法は予定で、施工数量調査の結果により変更する。

外 部 仕 上 表

記号	現 況	改 修
a	珪藻土毛引き 複層塗材E	水洗い → 劣化改修 → 下地調整 (C-1) → 複層塗材E 【改修】
b	珪藻土毛引き	水洗い → 劣化改修 【改修】
c	7mm製手摺 H=1,100 7mm笠木付 ※EL製品	既存のまま
d	7mm製手摺 H=450	既存のまま
e	【撤去】 堅礎 カラVP100φ (ステンレス製掘込み金物、IL共)	【新設】 堅礎 カラVP100φ (ステンレス製掘込み金物、IL共)
f	コンクリート打放し下地 複層塗材E	水洗い → 劣化改修 → 下地調整 (C-1) → 複層塗材E 【改修】
g	コンクリート打放し	水洗い 【改修】
h	鉄骨ブレース部分：亜鉛溶射 DP塗	水洗い 【改修】
i	7mmガル板t=2.0 W=100 ※既存構造スリット部	水洗い 【改修】
j	7mm製庇	既存のまま
k	FRP「レーシング」製侵入防止柵	【一時撤去再取付】
l	鉄骨階段 溶融亜鉛めっき仕上げ	既存のまま
m	メッシュフェンス H=1,800 (忍び返し付)	既存のまま
n	下地調整 (CM-2) の上複層塗材E ※RC持出梁撤去跡	水洗い → 劣化改修 → 下地調整 (C-1) → 複層塗材E 【改修】
o	【撤去】 けい酸カルシウム板t=6 LGS下地共	水洗い → 劣化改修 → 外装薄塗材E 【改修】
p	庇先端：防水珪藻土	水洗い → 劣化改修 → 珪藻土ベース塗り → 塗膜防水 【改修】
q	塗膜防水	水洗い 【改修】
r	バルコニー天端：FRP防水	水洗い 【改修】
s	軒天：珪藻土毛引き 外装薄塗材E	水洗い → 劣化改修 → 外装薄塗材E 【改修】
t	軒天：コンクリート打放し 外装薄塗材E	水洗い → 劣化改修 → 外装薄塗材E 【改修】

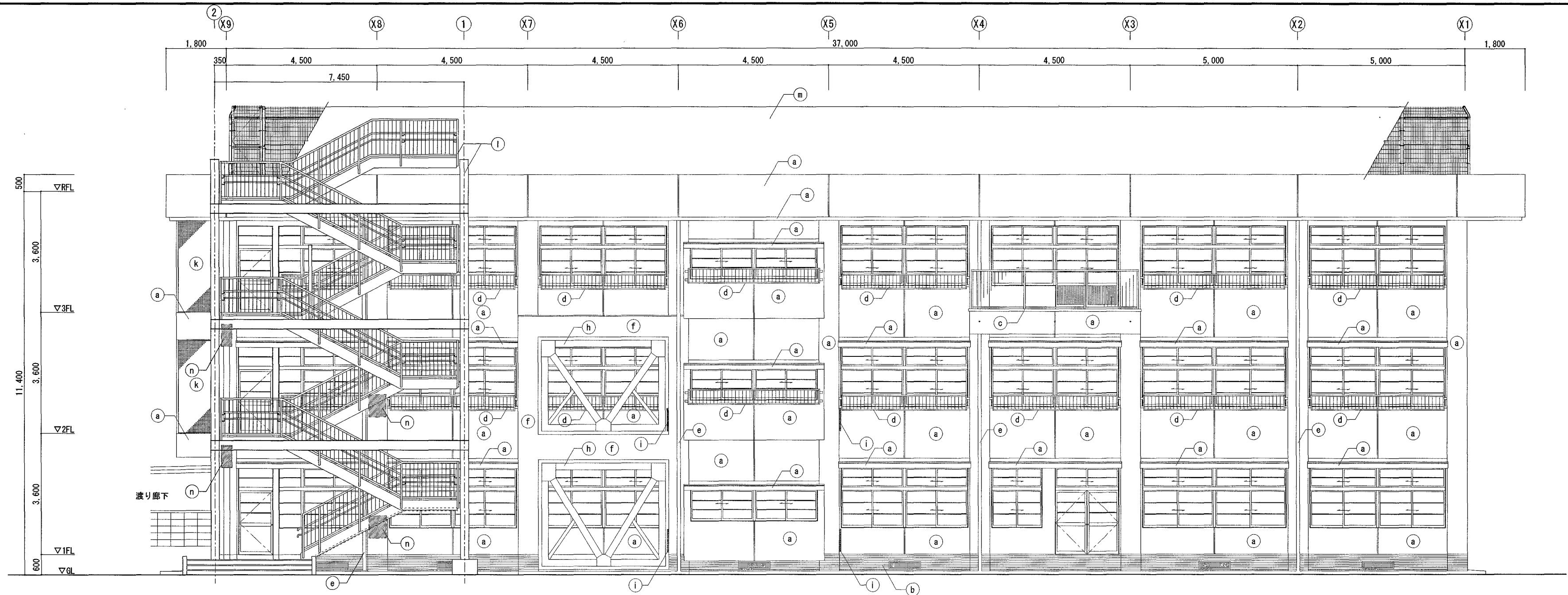
※ 外壁面既存サッシ廻り、2重水切りシーリング 打替：MS-2 (15×10)

※ 耐震ブレース コンクリート廻りシーリング 打替：MS-2 (15×10)

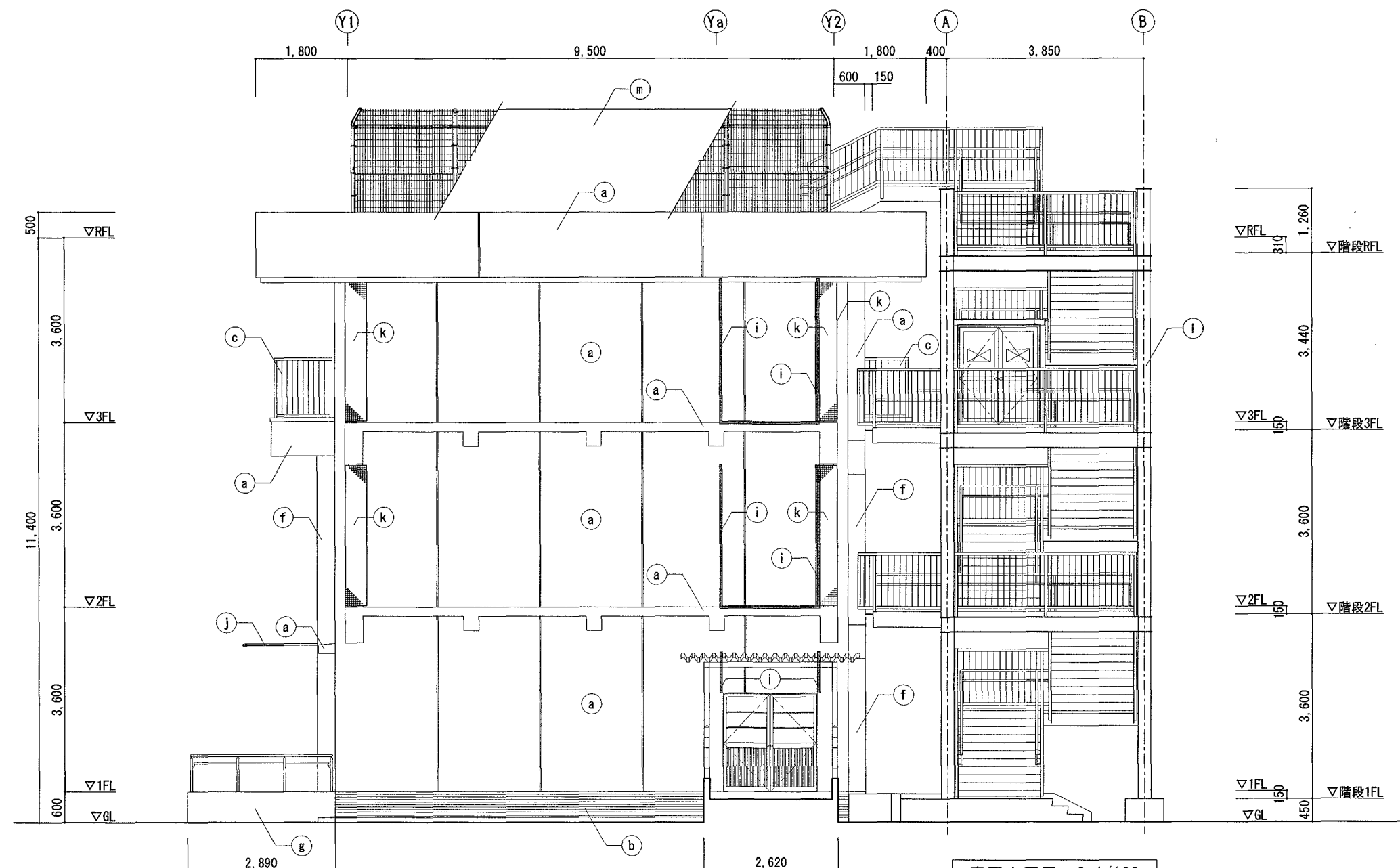
※ ベランダ床面、鉄骨ブレースは水洗いを行う

高知市 都市建設部 公共建築課

工 事 名		係	係 長	課長補佐	課 長	図面番号
潮江南小学校南舎及び屋内運動場外壁改修工事		平	世	濱	松	A-03
図 面 名	南、西立面図	縮 尺	1/100	作 図	年 月 日	



北面立面図 S=1/100



東面立面図 S=1/100

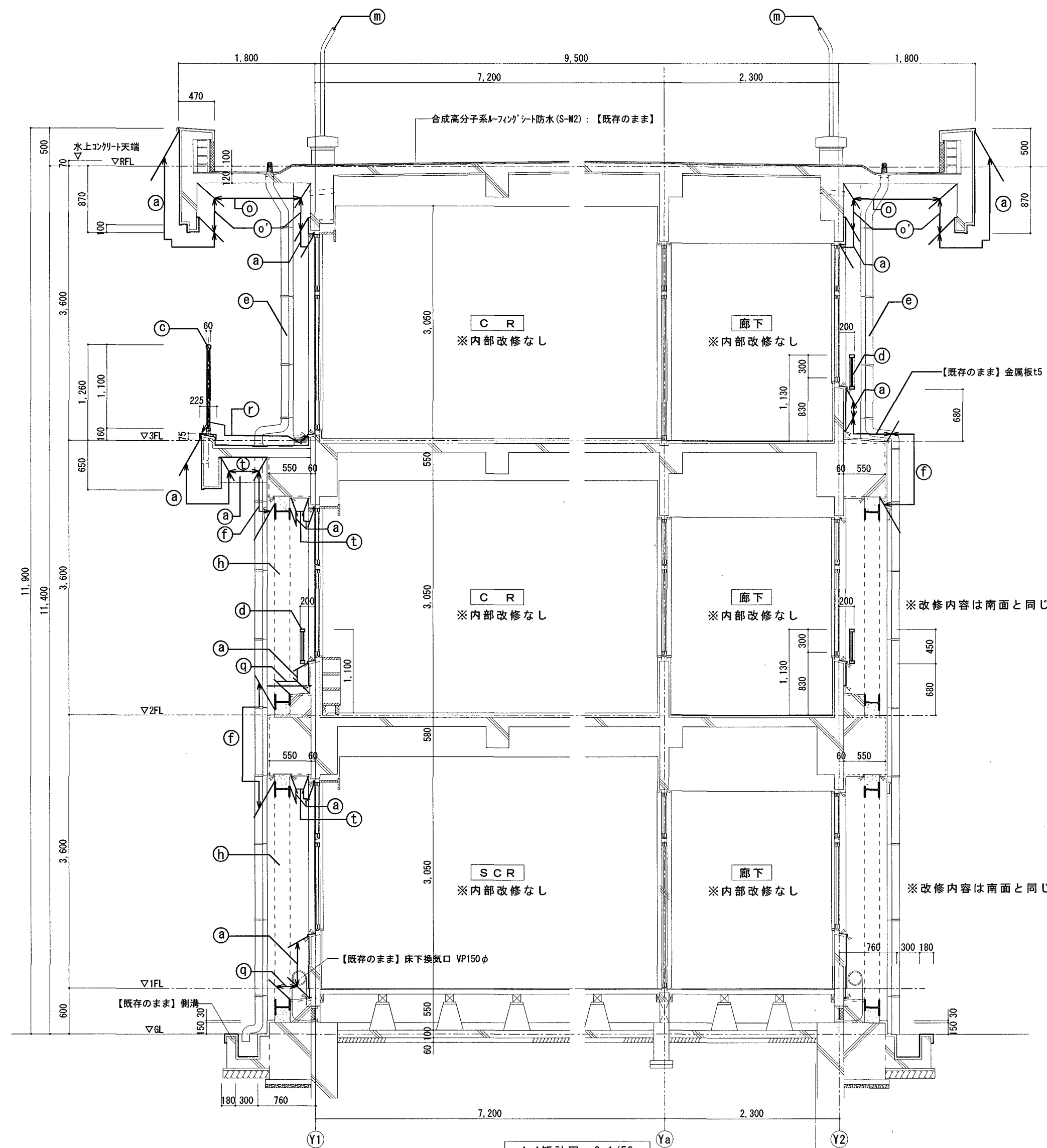
外 部 仕 上 表

記号	現 況	改 修
a	珪藻土引き 複層塗材E	水洗い → 劣化改修 → 下地調整 (C-1) → 複層塗材E 【改修】
b	珪藻土引き	水洗い → 劣化改修 【改修】
c	7mm製手摺 H=1,100 7mm笠木付 ※BL製品	既存のまま
d	7mm製手摺 H=450	既存のまま
e	【撤去】 堅樋 鉄-VP100φ (ステンレス製掘込み金物共)	【新設】 堅樋 鉄-VP100φ (ステンレス製掘込み金物, ILM 共)
f	コンクリート打放し下地 複層塗材E	水洗い → 劣化改修 → 下地調整 (C-1) → 複層塗材E 【改修】
g	コンクリート打放し	水洗い 【改修】
h	鉄骨ブレース部分: 亜鉛溶射 DP塗	水洗い 【改修】
i	7mm鋼板 t=2.0 W=100 ※既存構造スリット部	水洗い 【改修】
j	7mm製底	既存のまま
k	FRP「レイン」製侵入防止柵	【一時撤去再取付】
l	鉄骨階段 溶融亜鉛めっき仕上げ	既存のまま
m	メッシュフェンス H=1,800 (忍び返し付)	既存のまま
n	下地調整 (OM-2) の上複層塗材E ※RC持出梁撤去跡	水洗い → 劣化改修 → 下地調整 (C-1) → 複層塗材E 【改修】
o	【撤去】 けい酸カルシウム板 t=6 LGS下地共	水洗い → 劣化改修 → 外装薄塗材E 【改修】
p	庇天端: 防水珪藻土	水洗い → 劣化改修 → 珪藻土・ステンレス塗り → 塗膜防水 【改修】
q	塗膜防水	水洗い 【改修】
r	バルコニー天端: FRP防水	水洗い 【改修】
s	軒天: 珪藻土引き 外装薄塗材E	水洗い → 劣化改修 → 外装薄塗材E 【改修】
t	軒天: コンクリート打放し 外装薄塗材E	水洗い → 劣化改修 → 外装薄塗材E 【改修】

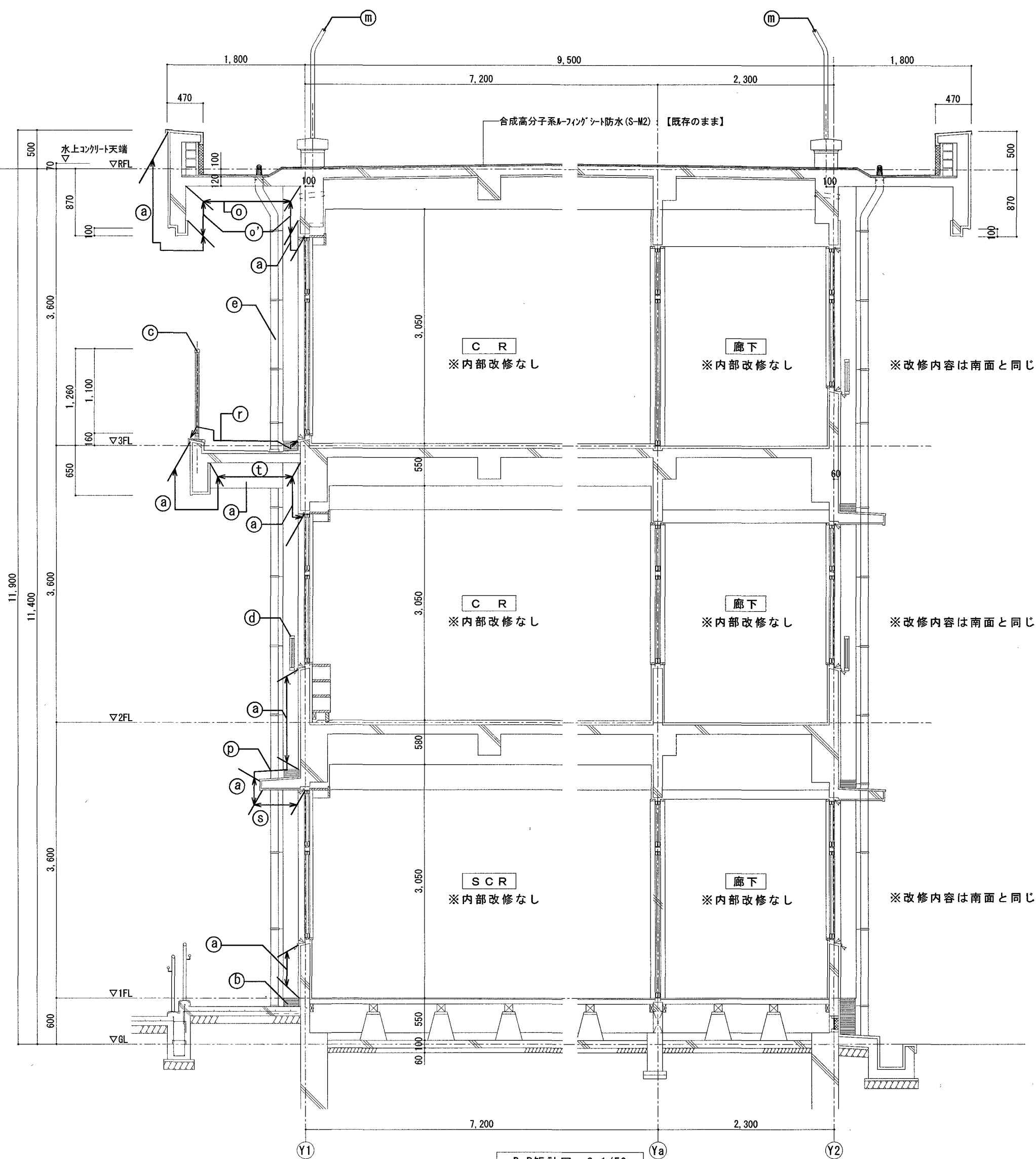
※ 外壁面既存珪藻土、2重水切りシリング 打替: MS-2 (15×10)
 ※ 耐震ブレース コンクリート廻りシリング 打替: MS-2 (15×10)
 ※ ベランダ床面、鉄骨ブレースは水洗いを行う

高知市 都市建設部 公共建築課

工 事 名	潮江南小学校南舎及び屋内運動場外壁改修工事				係 長	係 長 補 佐	課 長	図 面 番 号
図 面 名	北、東立面図				縮 尺	1/100	作 図 年 月 日	A-04



A-A矩計図 S=1/50



B-B矩計図 S=1/50

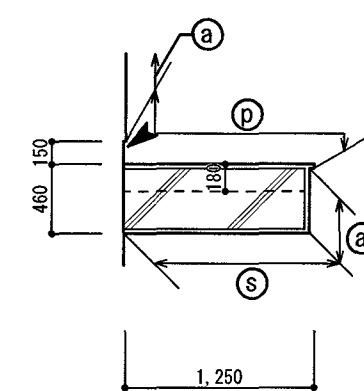
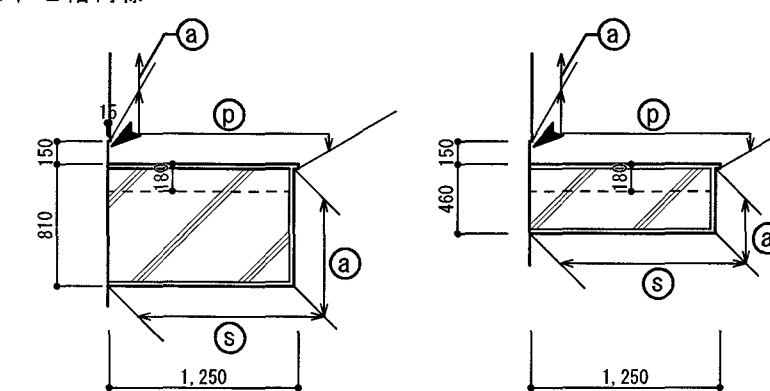
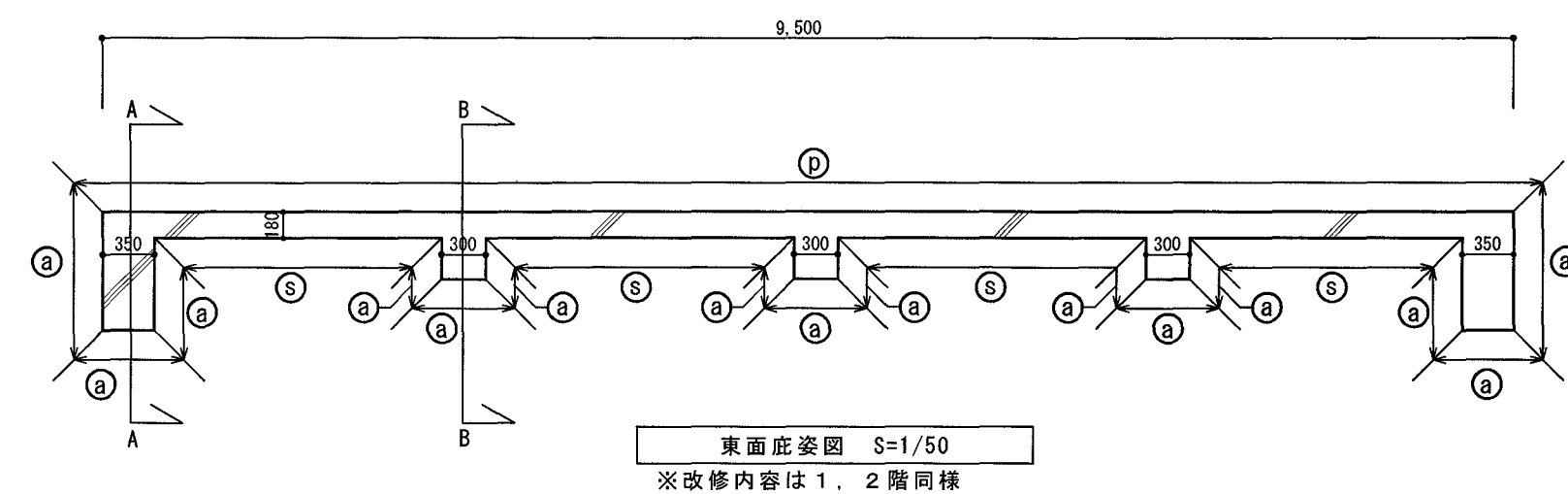
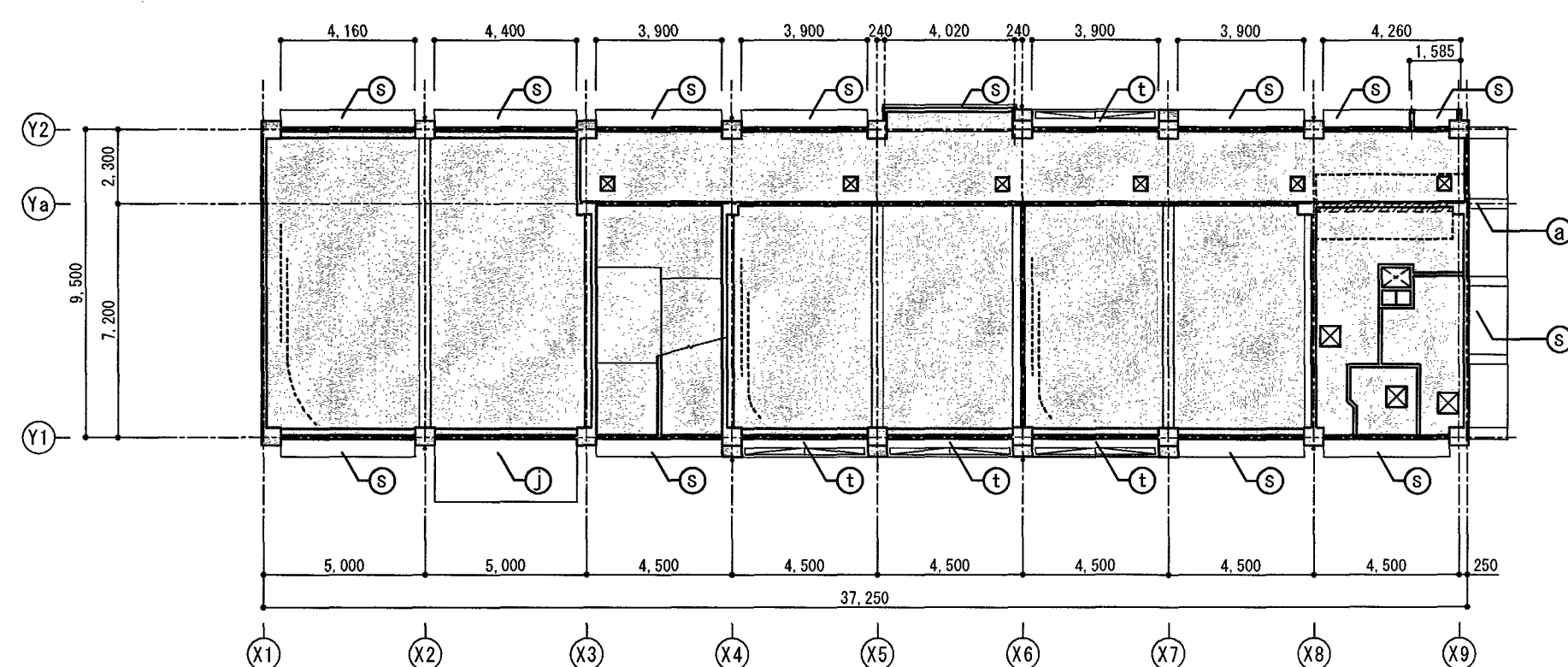
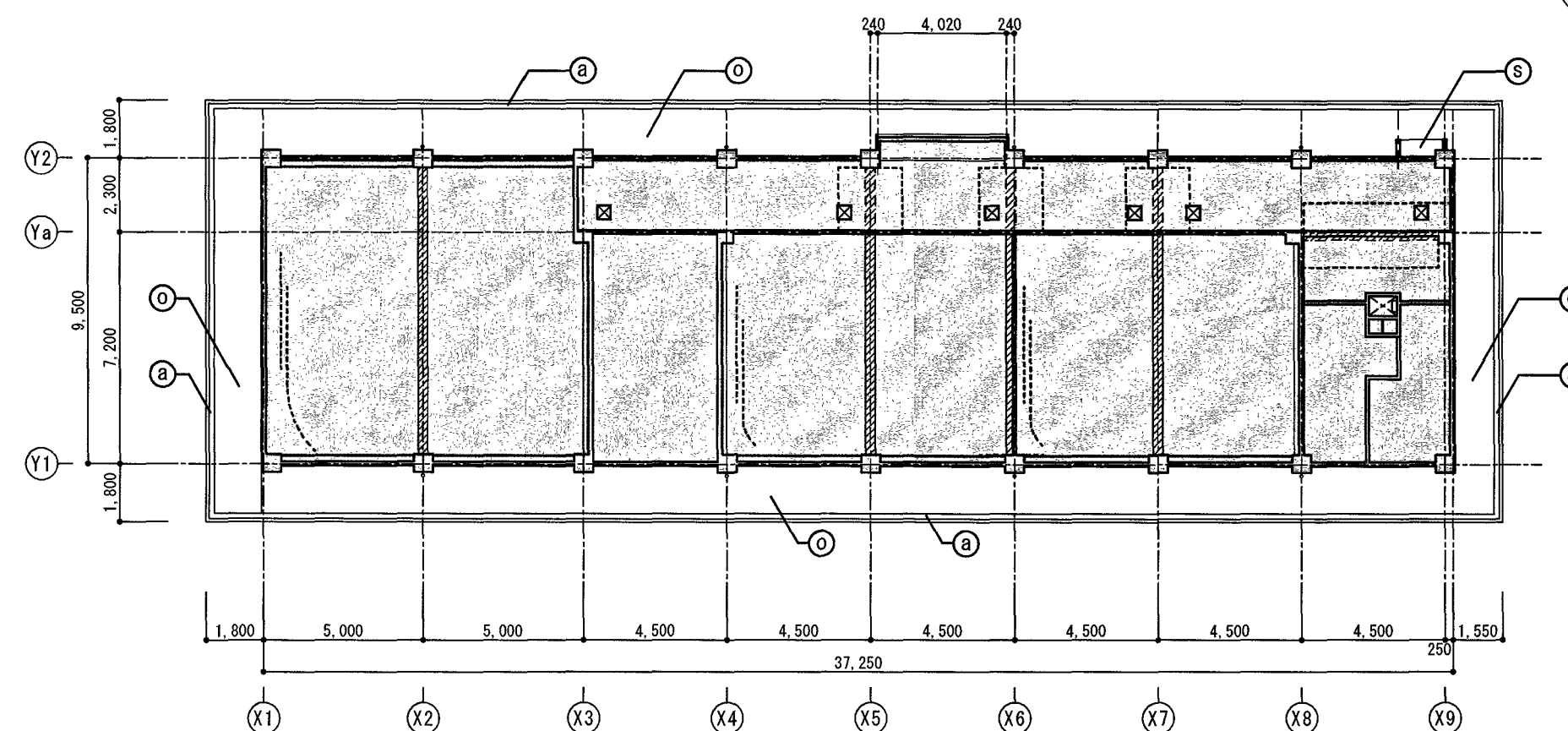
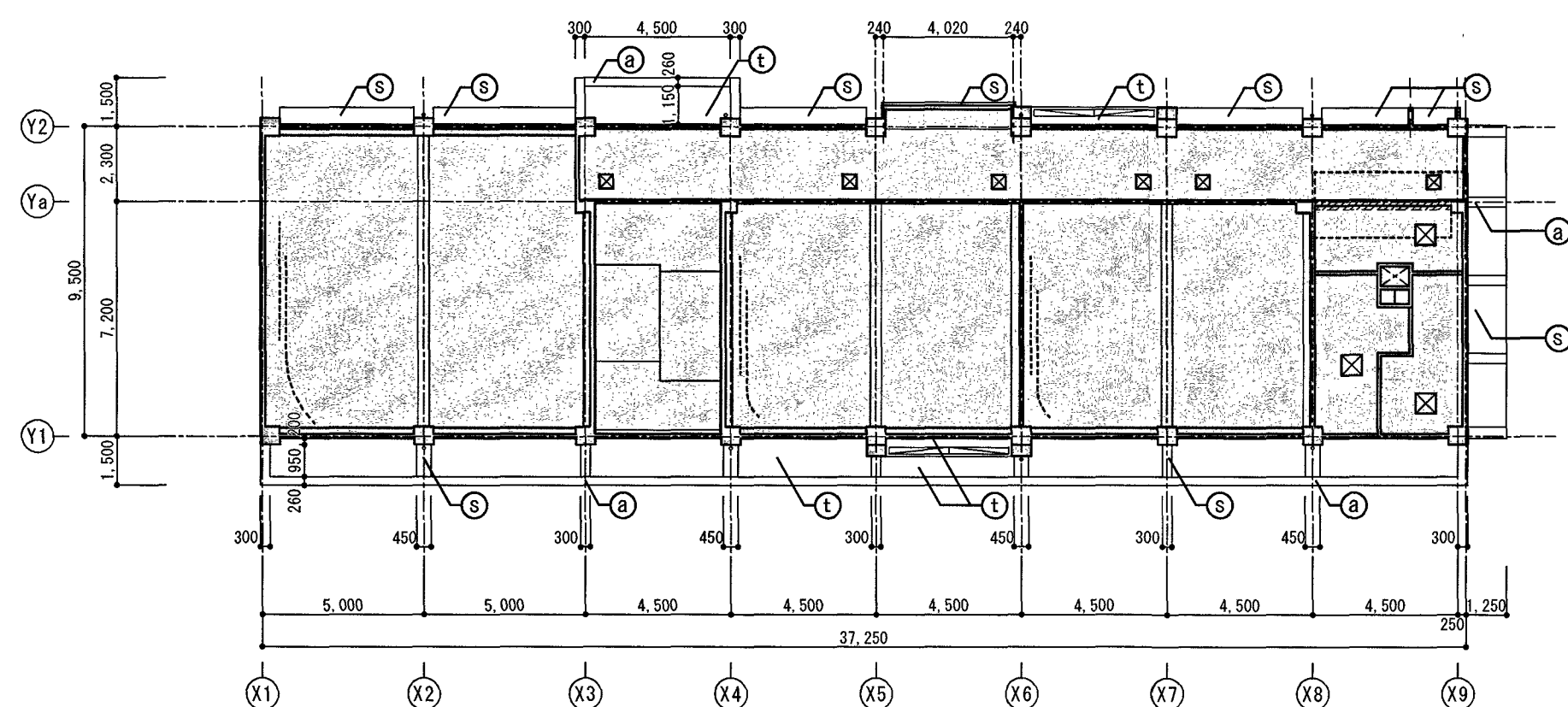
外部仕上表

記号	現況	改修	記号	現況	改修
a	外装刷毛引き 複層塗材E	水洗い → 劣化改修 → 下地調整 (C-1) → 複層塗材E【改修】	o	【撤去】けい酸加珪板t=6 LGS下地共	水洗い → 劣化改修 → 外装薄塗材E【改修】
b	外装刷毛引き	水洗い → 劣化改修【改修】	o	【撤去】けい酸加珪板t=6 LGS下地共	水洗い → 劣化改修 → 下地調整 (OM-2) → 複層塗材E【改修】
c	7A製手摺 H=1,100 7A製木付 ※BL製品	既存のまま	p	庇天端：防水モルタル	水洗い → 劣化改修 → オリマーセメント塗り → 塗膜防水【改修】
d	7A製窓手摺 H=450	既存のまま	q	塗膜防水	水洗い【改修】
e	【撤去】縦樋 カ-VP100φ (ステンレス製掘み金物共)	【新設】縦樋 カ-VP100φ (ステンレス製掘み金物共)	r	n' スキ-天端：FRP防水	水洗い【改修】
f	コンクリート打放し下地 複層塗材E	水洗い → 劣化改修 → 下地調整 (C-1) → 複層塗材E【改修】	s	軒天：外装刷毛引き 外装薄塗材E	水洗い → 劣化改修 → 外装薄塗材E【改修】
h	鉄骨ブレース部分：亜鉛溶射 DP塗	水洗い【改修】	t	軒天：コンクリート打放し 外装薄塗材E	水洗い → 劣化改修 → 外装薄塗材E【改修】
m	メッシュフェンス H=1,800 (忍び返し付)	既存のまま			

△…ケラリング (MS-2) 15×10【打替】を示す

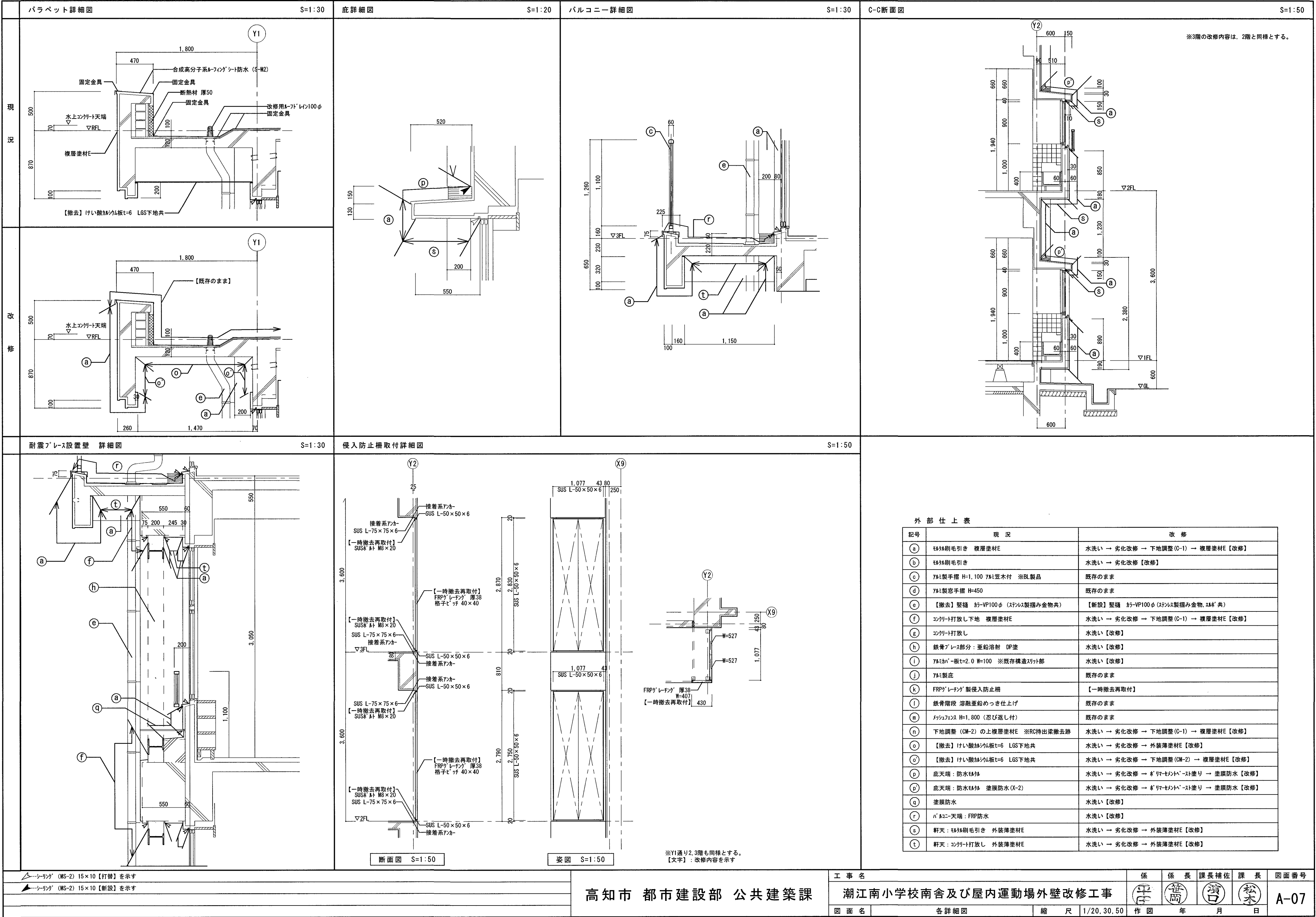
高知市 都市建設部 公共建築課

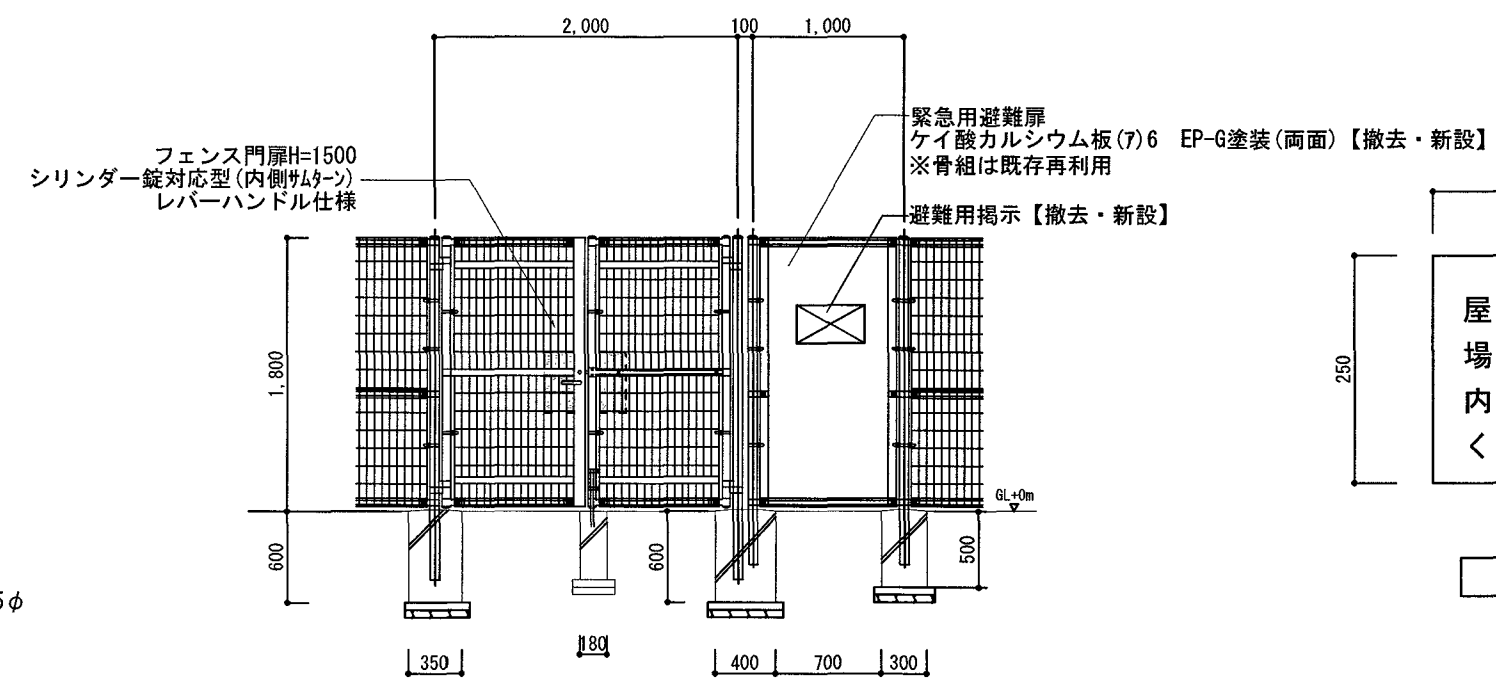
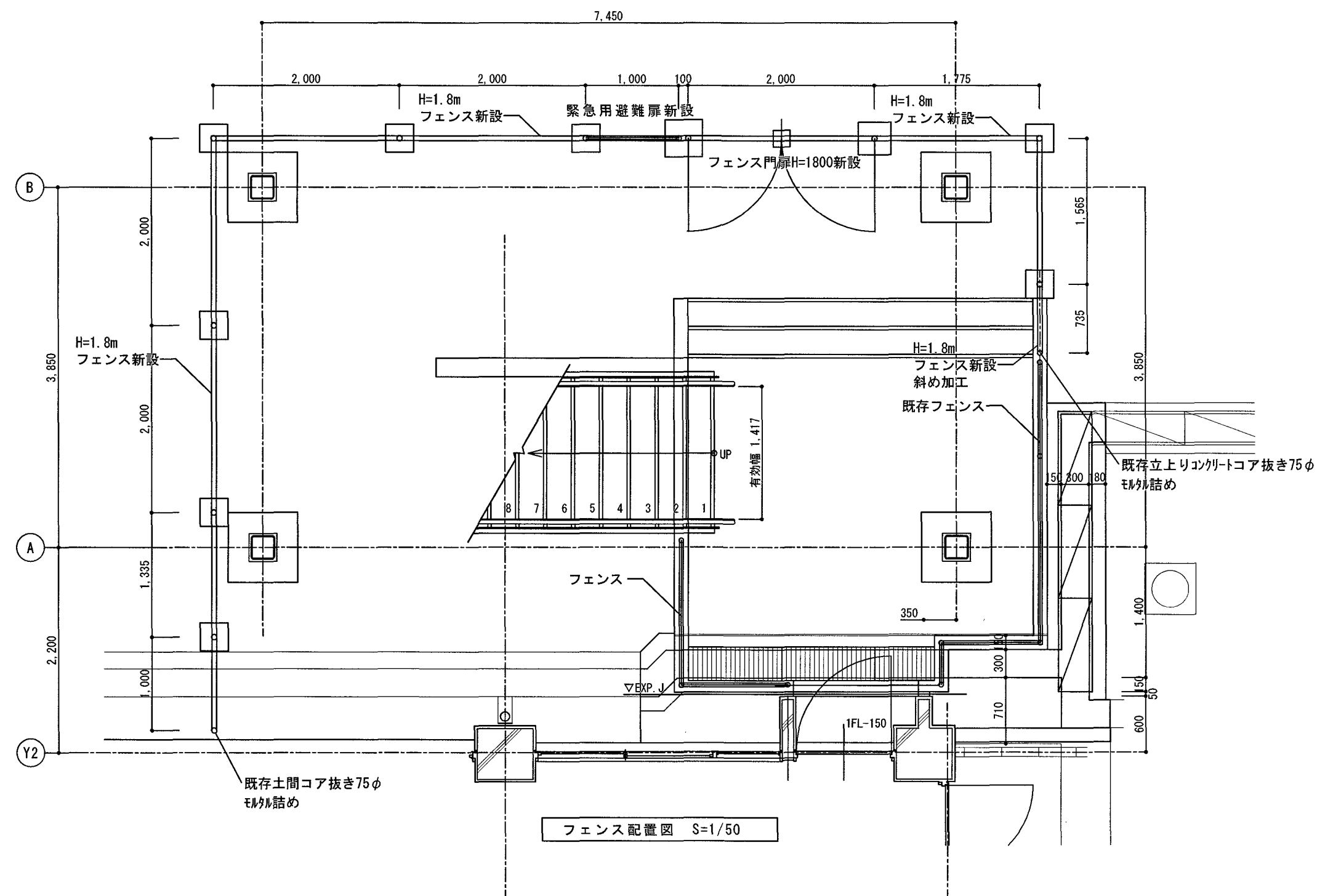
工事名	潮江南小学校南舎及び屋内運動場外壁改修工事				係	係長	課長補佐	課長	図面番号
図面名	各矩計図				作図	年	月	日	A-05
縮尺	1/50								



記号	現 況	改 修
(a)	モルタル刷毛引き 複層塗材E	水洗い → 劣化改修 → 下地調整 (C-1) → 複層塗材E【改修】
(j)	7A型製底	既存のまま
(o)	【撤去】けい酸カルシウム板t=6 LGS下地共	水洗い → 劣化改修 → 外装薄塗材E【改修】
(p)	庇天端：防水モルタル	水洗い → 劣化改修 → ギリマセメントペース塗り → 塗膜防水【改修】
(s)	軒天：モルタル刷毛引き 外装薄塗材E	水洗い → 劣化改修 → 外装薄塗材E【改修】
(t)	軒天：コンクリート打直し 外装薄塗材E	水洗い → 劣化改修 → 外装薄塗材E【改修】

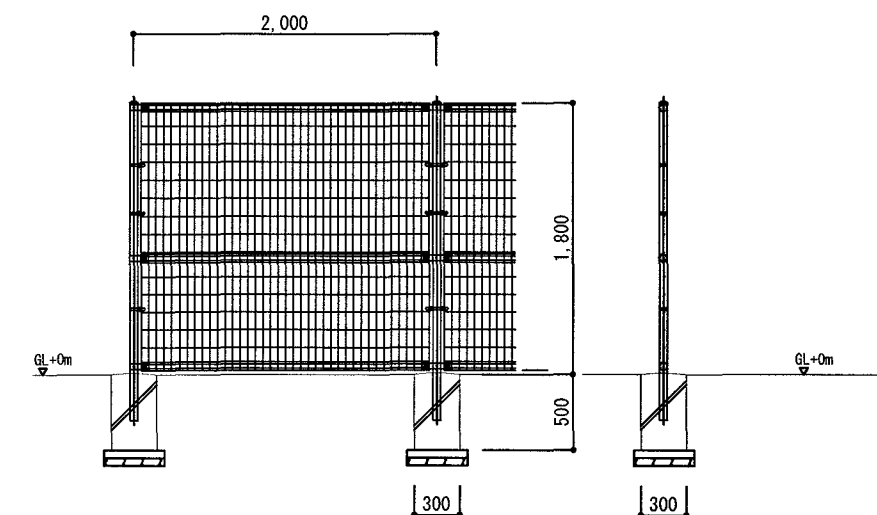
☐ 既存のままを示す





フェンス詳細図 S=1/50

※メッシュ間隔40mm
※基礎はフェンス基礎ブロックとする。



フェンス一般部 S=1/50

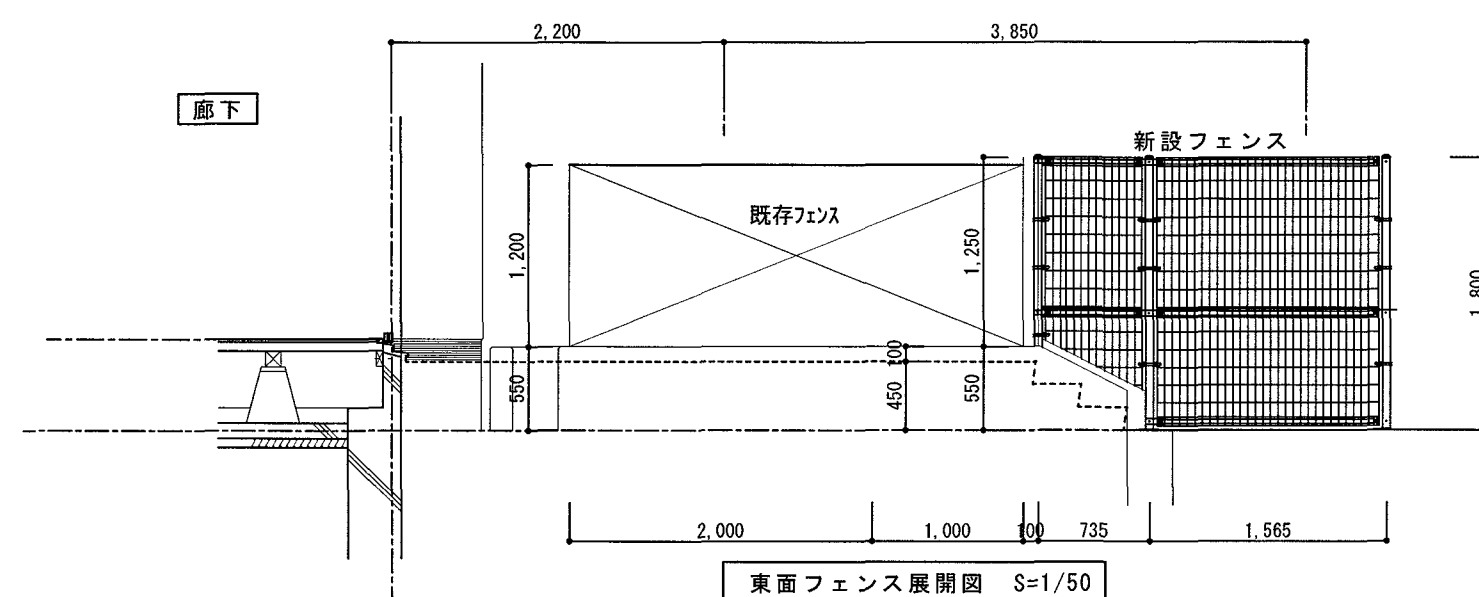
※メッシュ間隔40mm
※基礎はフェンス基礎ブロックとする。

450

250

屋上へ避難する
場合は、ここを破り
内部の鍵をあけて
ください

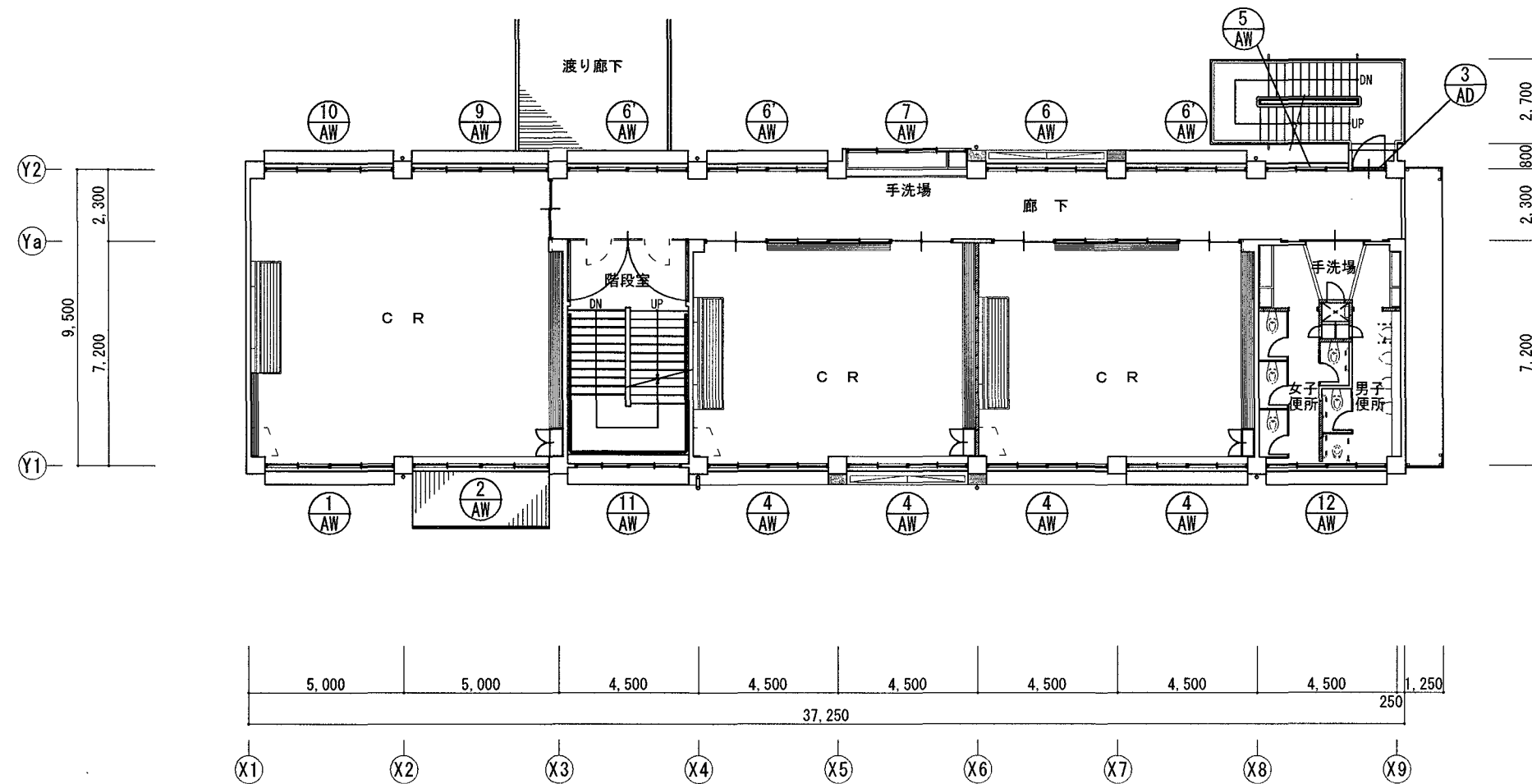
※ カットニングシート
避難用掲示 S=1/15



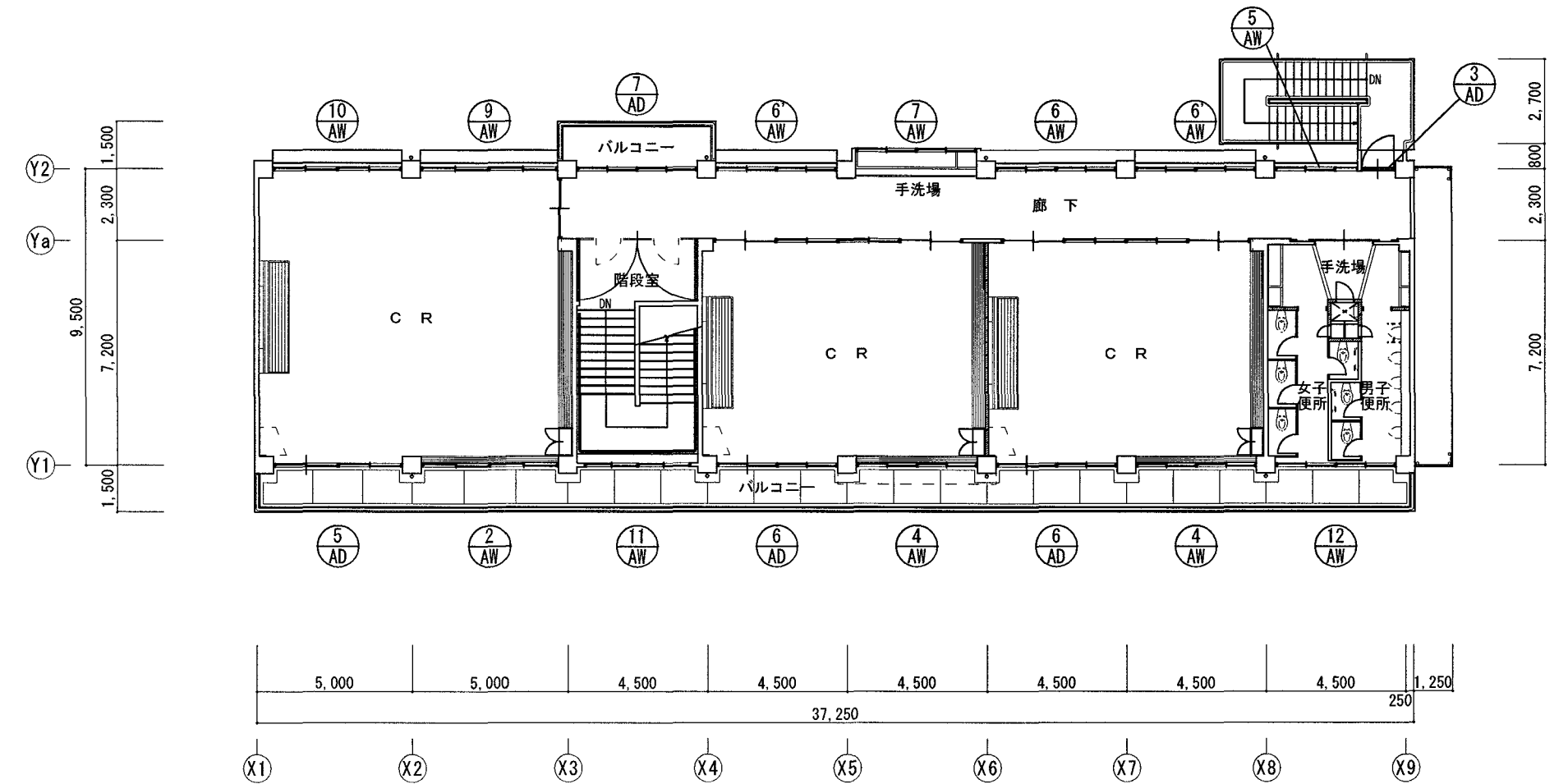
【文字】：改修内容を示す

高知市 都市建設部 公共建築課

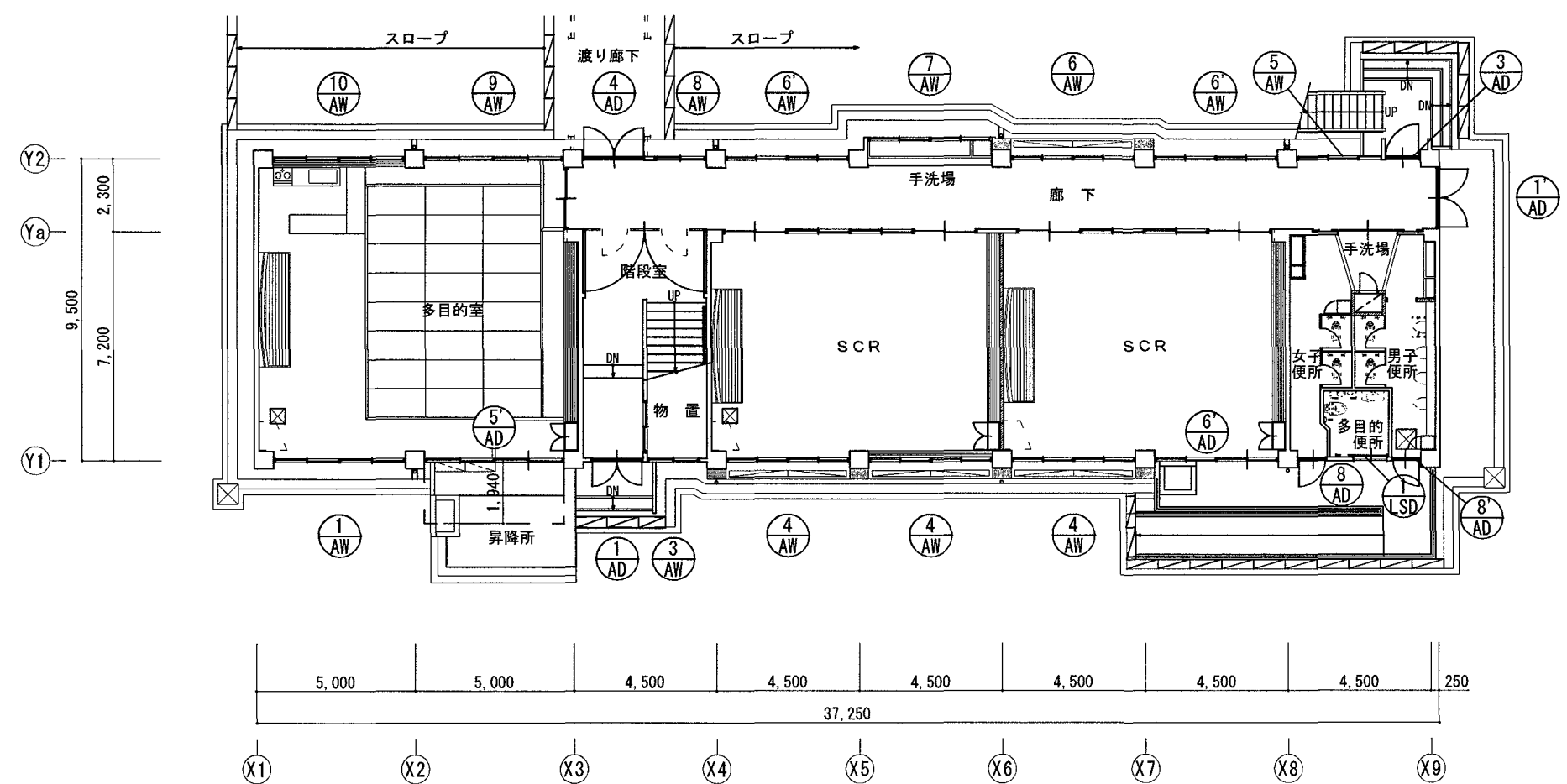
工事名				係	係長	課長補佐	課長	図面番号
潮江南小学校南舎及び屋内運動場外壁改修工事				平	世	濱	松	A-08
図面名	縮尺	1/50	作図	年	月	日		
屋外階段緊急用避難扉図								



改修 2階建具配置図 S=1:200



改修 3階建具配置図 S=1:200



改修 1階建具配置図 S=1:200

【参考図】

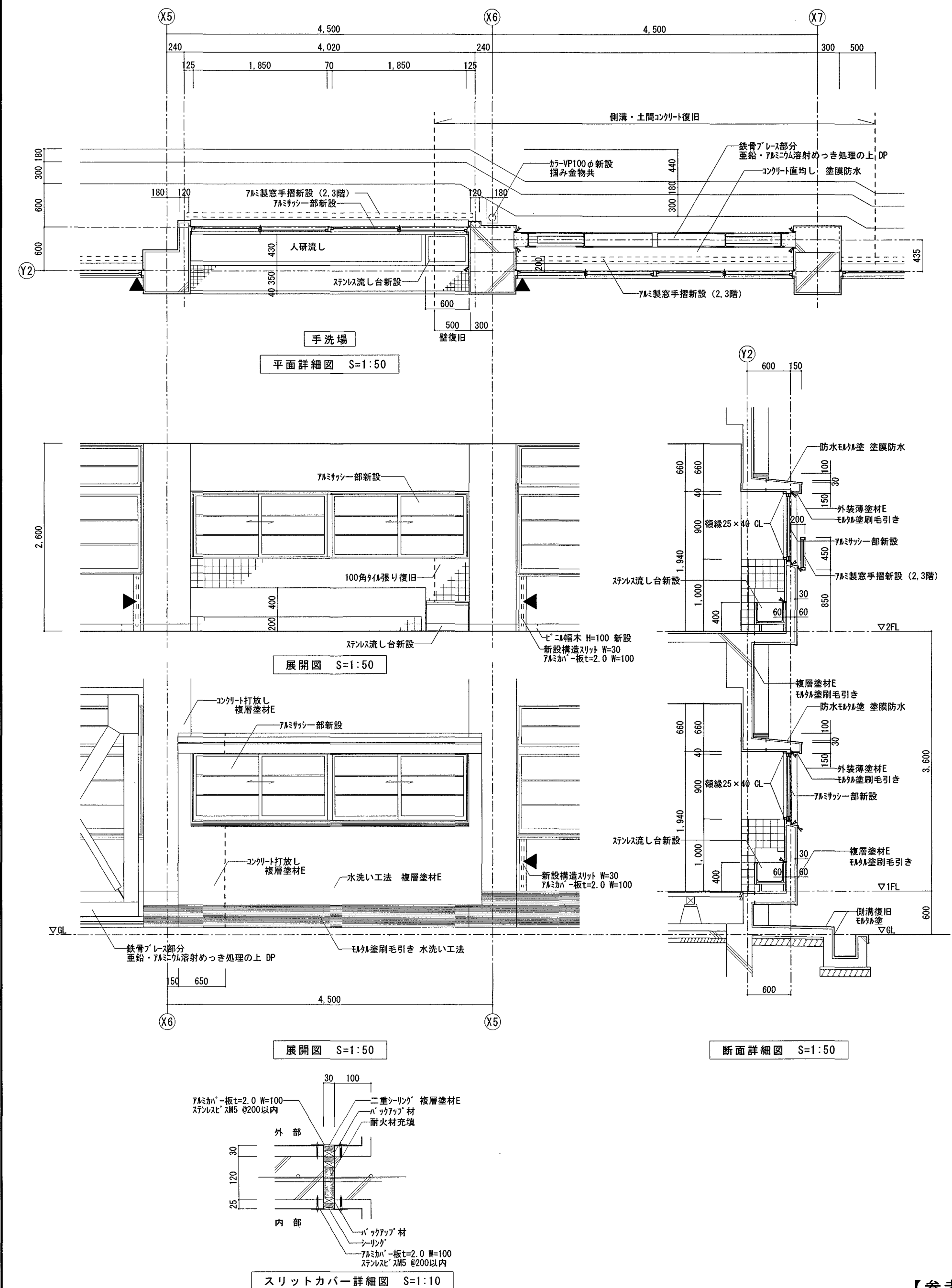
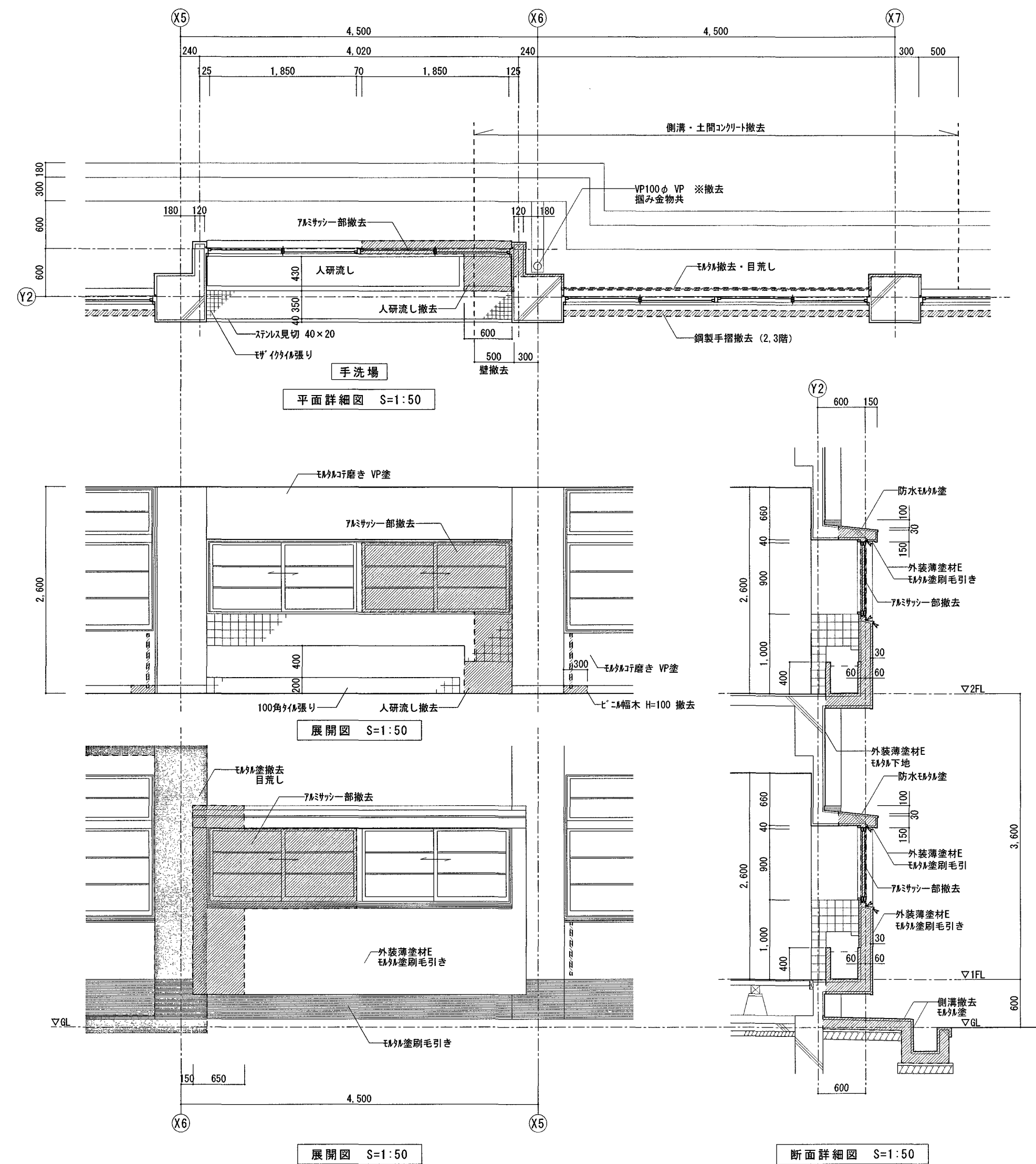
				高知市 都市建設部 公共建築課				工 事 名				係	係 長	課長補佐	課 長	図面番号
				高知市 都市建設部 公共建築課				潮江南小学校南舎及び屋内運動場外壁改修工事								A-09
								図 面 名		建具配置図【参考図】		縮 尺	1/200	作 図 年 月 日		

記号	場所	数量	① AW	多目的室・CR	1F	2F	3F	合計	② AW	CR	1F	2F	3F	合計	③ AW	物置	1F	2F	3F	合計	④ AW	SCR・CR	1F	2F	3F	合計
					1	1	—	2ヶ所			—	1	1	2ヶ所			1	—	—	1ヶ所			3	4	2	9ヶ所
形状・寸法																										
材種	見込	アルミ連窓引違い窓		70 mm	アルミ連窓引違い窓		70 mm	アルミ引違い窓		70 mm	アルミ連窓引違い窓		70 mm	アルミ連窓引違い窓		70 mm	アルミ連窓引違い窓		70 mm	アルミ連窓引違い窓		70 mm	アルミ連窓引違い窓		70 mm	
改修内容		改修前		改修後	改修前		改修後	改修前		改修後	改修前		改修後	改修前		改修後	改修前		改修後	改修前		改修後	改修前		改修後	
		フロート板ガラスFL3撤去		強化ガラス（学校向け）ST4新設	フロート板ガラスFL3撤去		強化ガラス（学校向け）ST4新設	ガラス廻りガasket撤去		ガラス廻りシーリング新設	ガラス廻りガasket撤去		ガラス廻りシーリング新設	網入り型板ガラスFW6.8			ガラス廻りガasket撤去		ガラス廻りシーリング新設	フロート板ガラスFL3撤去		強化ガラス（学校向け）ST4新設	アルミパネル厚3撤去		アルミパネル厚3新設	
		ガラス廻りガasket撤去		ガラス廻りシーリング新設	ガラス廻りガasket撤去		ガラス廻りシーリング新設				網入り型板ガラスFW6.8						ガラス廻りガasket撤去		ガラス廻りシーリング新設	ガラス・アルミパネル廻りガasket撤去		ガラス・アルミパネル廻りシーリング新設				
記号	場所	数量	⑤ AW	廊下	1F	2F	3F	合計	⑥ AW	廊下	1F	2F	3F	合計	⑦ AW	廊下（手洗場）	1F	2F	3F	合計	⑧ AW	廊下	1F	2F	3F	合計
					1	1	1	3ヶ所			1	1	1	3ヶ所			1	1	1	3ヶ所			1	—	—	1ヶ所
形状・寸法																										
材種	見込	アルミ連窓引違い窓		70 mm	アルミ連窓引違い窓		70 mm	アルミ連窓引違い窓		70 mm	アルミ連窓引違い窓		70 mm	アルミ連窓引違い窓		70 mm	アルミ連窓引違い窓		70 mm	アルミ連窓引違い窓		70 mm	アルミ連窓引違い窓		70 mm	
改修内容		改修前		改修後	改修前		改修後	改修前		改修後	改修前		改修後	改修前		改修後	改修前		改修後	改修前		改修後	改修前		改修後	
		ガラス廻りガasket撤去		ガラス廻りシーリング新設	フロート板ガラスFL3 (AW-6×3箇所) 撤去		強化ガラス（学校向け）ST4 (AW-6×3箇所) 新設	フロート板ガラスFL3撤去		強化ガラス（学校向け）ST4新設	ガラス廻りガasket撤去		ガラス廻りガasket撤去	ガラス廻りガasket撤去		ガラス廻りガasket撤去	ガラス廻りガasket撤去		ガラス廻りガasket撤去	ガラス廻りガasket撤去		ガラス廻りガasket撤去	ガラス廻りガasket撤去		ガラス廻りガasket撤去	
					網入り磨き板ガラスPW6.8 (AW-6'×1箇所) 撤去		網入り磨き板ガラスPW6.8 (AW-6'×1箇所) 新設																			
		網入り磨き板ガラスPW6.8			ガラス廻りガasket撤去		ガラス廻りシーリング新設	ガラス廻りガasket撤去		ガラス廻りシーリング新設	ガラス廻りガasket撤去		ガラス廻りシーリング新設	ガラス廻りガasket撤去		ガラス廻りシーリング新設	ガラス廻りガasket撤去		ガラス廻りシーリング新設	網入り磨き板ガラスPW6.8						
記号	場所	数量	⑨ AW	多目的室・CR	1F	2F	3F	合計	⑩ AW	多目的室・CR	1F	2F	3F	合計	⑪ AW	階段室	1F	2F	3F	合計	⑫ AW	便所	1F	2F	3F	合計
					1	1	1	3ヶ所			1	1	1	3ヶ所			—	1	1	2ヶ所			—	1	1	2ヶ所
形状・寸法																										
材種	見込	アルミ連窓引違い窓		70 mm	アルミ連窓引違い窓		70 mm	アルミ連窓引違い窓		70 mm	アルミ連窓引違い窓		70 mm	アルミ連窓引違い窓		70 mm	アルミ連窓引違い窓		70 mm	アルミ連窓引違い窓		70 mm	アルミ連窓引違い窓		70 mm	
改修内容		改修前		改修後	改修前		改修後	改修前		改修後	改修前		改修後	改修前		改修後	改修前		改修後	改修前		改修後	改修前		改修後	
		網入り磨き板ガラスPW6.8 (3階 1箇所) 撤去		網入り磨き板ガラスPW6.8 (3階 1箇所) 新設	網入り磨き板ガラスPW6.8 (2階 1箇所) 撤去		網入り磨き板ガラスPW6.8 (2階 1箇所) 新設	網入り磨き板ガラスPW6.8 (3階 1箇所) 撤去		網入り磨き板ガラスPW6.8 (3階 1箇所) 新設	網入り磨き板ガラスPW6.8 (3階 1箇所) 撤去		網入り磨き板ガラスPW6.8 (3階 1箇所) 新設	型板ガラスF4撤去		強化型板ガラス（学校向け）TF4新設	ガラス廻りガasket撤去		ガラス廻りガasket撤去	ガラス廻りガasket撤去		ガラス廻りガasket撤去	ガラス廻りガasket撤去		ガラス廻りガasket撤去	
		ガラス廻りガasket撤去		ガラス廻りシーリング新設	ガラス廻りガasket撤去		ガラス廻りシーリング新設	ガラス廻りガasket撤去		ガラス廻りシーリング新設	ガラス廻りガasket撤去		ガラス廻りシーリング新設													
		網入り磨き板ガラスPW6.8			網入り磨き板ガラスPW6.8			網入り磨き板ガラスPW6.8																		

記号	場所	数量	① LSD	多目的便所	1F	2F	3F	合計	① AD	①' AD	階段室	AD-1	1F	2F	3F	合計	③ AD	廊下	1F	2F	3F	合計	④ AD	廊下	1F	2F	3F	合計					
					1	—	—	1ヶ所	—	—		—	1ヶ所	—	—	—	1ヶ所		—	—	—	1ヶ所	—		—	—	1ヶ所	—	—	—	1ヶ所		
形状・寸法																																	
形式	見込	2連引き自閉式引戸 化粧鋼板 表示付非常開放装置付シンダー錠・抗菌引き棒L=450 その他付属品一式 強化型板ガラス（学校向け）TF4新設				100 mm（枠見込:200 mm） メーカー仕様による 額縁・大型サムターン錠				アルミ両開き戸 70 mm				アルミ片開き戸 70 mm				アルミ引違いﾗﾝﾅ付両開き戸 70 mm															
改修内容										改修前 ガラス・パネル廻りガスケット撤去 腰アルミパネル厚3リブ付撤去 建具撤去（AD-1'）				改修後 ガラス・パネル廻りシーリング新設 腰アルミ（単板）厚3新設 建具再取付（AD-1'）				改修前 ガラス・パネル廻りガスケット撤去 腰アルミパネル厚3リブ付撤去 網入り磨き板ガラスPW6.8				改修後 ガラス・パネル廻りシーリング新設 腰アルミ（単板）厚3新設 網入り磨き板ガラスPW6.8				改修前 ガラス・パネル廻りガスケット撤去 腰アルミ（単板）厚3新設 網入り磨き板ガラスPW6.8				改修後 ガラス・パネル廻りシーリング新設 腰アルミ（単板）厚3新設 網入り磨き板ガラスPW6.8			
記号	場所	数量	⑤ AD	⑤' AD	多目的室・CR	AD-5	1F	2F	3F	合計	⑥ AD	⑥' AD	CR・SCR	AD-6	1F	2F	3F	合計	⑦ AD	廊下（バルコニー）	1F	2F	3F	合計	⑧ AD	⑧' AD	男子便所・女子便所	AD-8	1F	2F	3F	合計	
			—	—		—	1ヶ所	—	—	—	1ヶ所	—		—	—	1ヶ所	—	—	—		1ヶ所	—	—	—	1ヶ所	—		—	—	1ヶ所			
形状・寸法																																	
形式	見込	アルミ引違い窓付引違い戸 改修前 フロート板ガラスFL3撤去 ガラス廻りガスケット撤去				70 mm 改修後 強化ガラス（学校向け）ST4新設 ガラス廻りシーリング新設				アルミ引違い窓付引違い戸 70 mm				アルミ引違い窓付引違い戸 70 mm				アルミ引違い窓付引違い戸 70 mm				アルミ片開き戸 70 mm				アルミ押出し形材 —							
改修内容										改修前 フロート板ガラスFL3撤去 ガラス廻りガスケット撤去				改修後 強化ガラス（学校向け）ST4新設 ガラス廻りシーリング新設				改修前 網入り磨き板ガラスPW6.8撤去 ガラス廻りガスケット撤去 網入り磨き板ガラスPW6.8				改修後 網入り磨き板ガラスPW6.8新設 ガラス廻りシーリング新設				改修前 シリンダー錠、丁番、3辺ピースアングル、ドアチェック、ステンレス敷居（厚2） ※多目的室外部側の鍵と合わせること。 強化型板ガラス（学校向け）TF4				改修後 強化型板ガラス（学校向け）TF4			

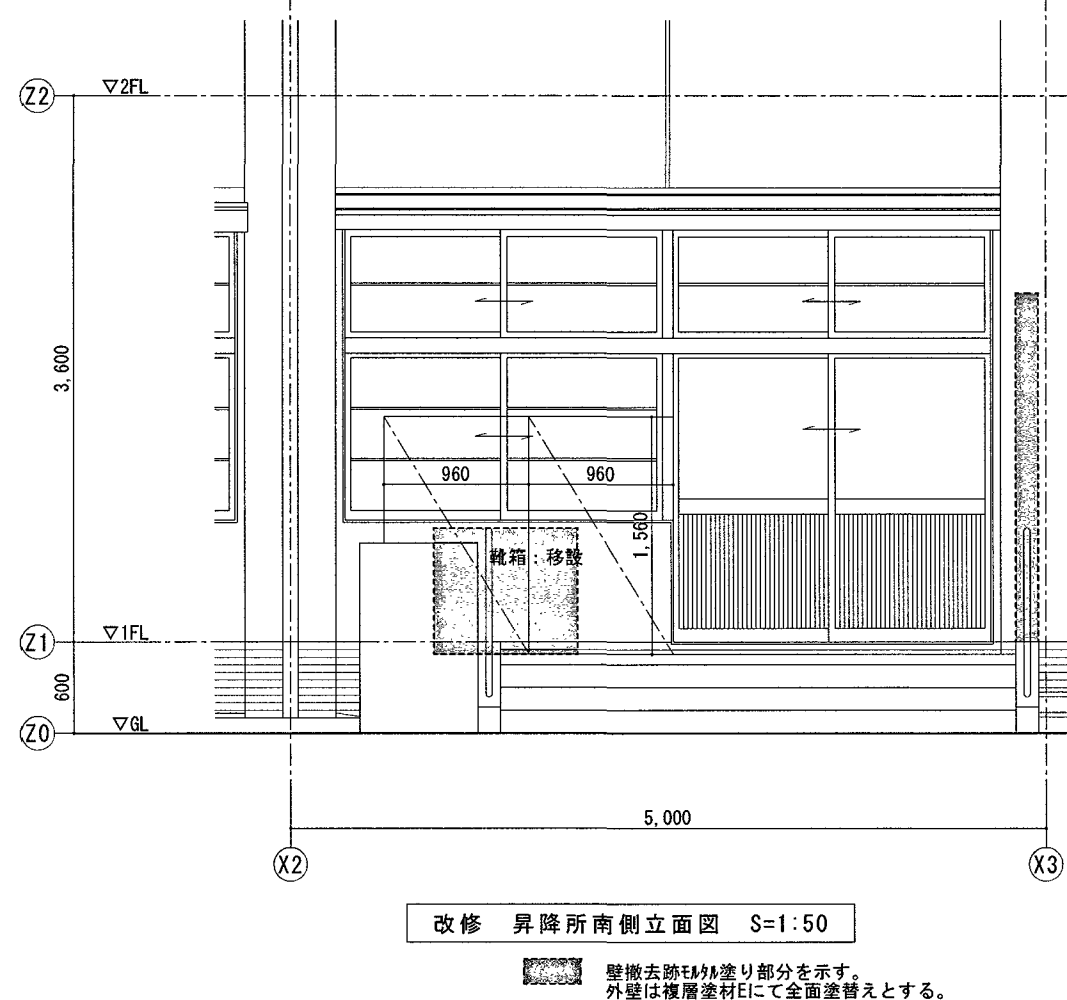
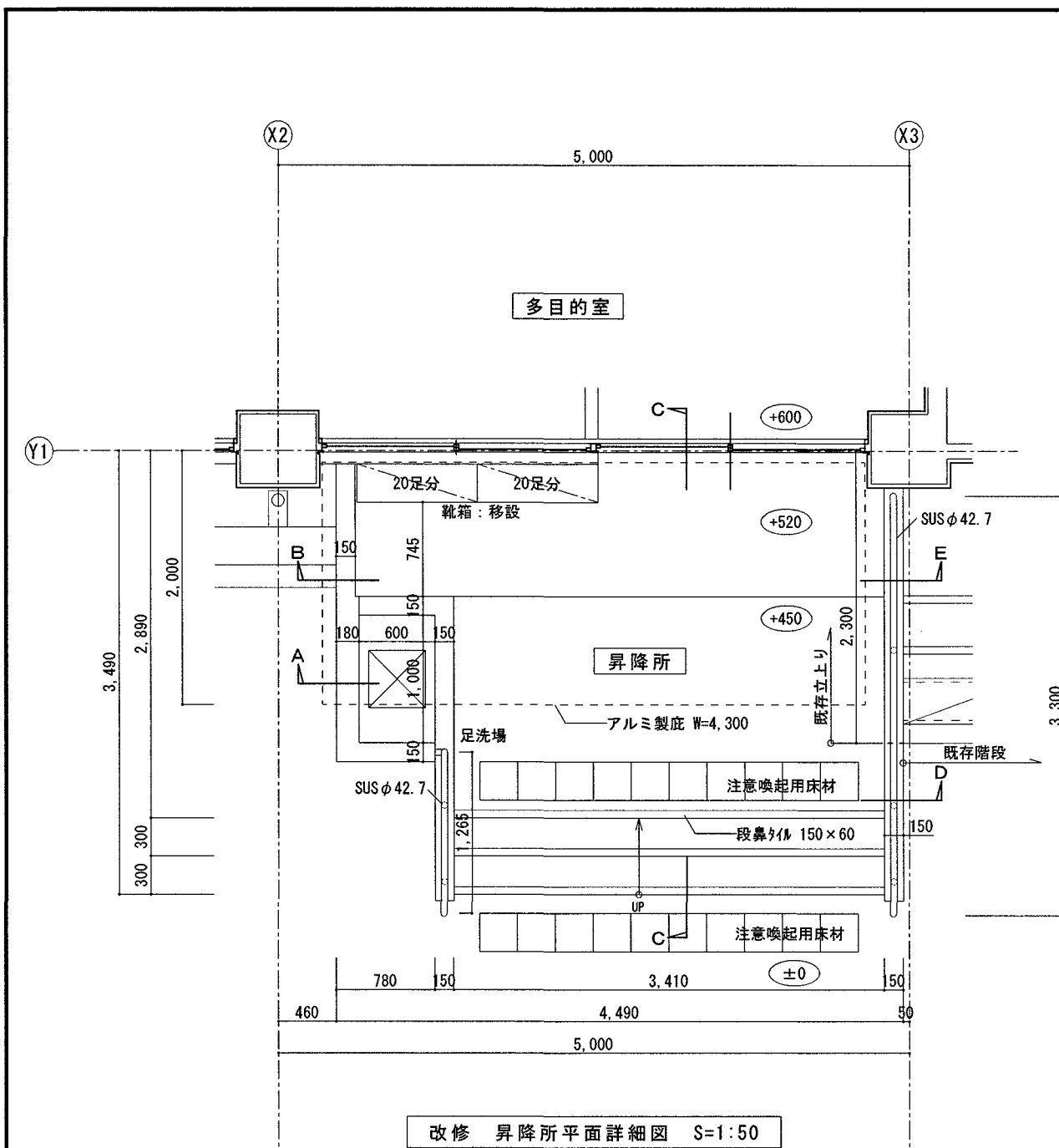
【参考図】

				高知市 都市建設部 公共建築課				工 事 名				係		係 長		課長補佐		課 長		図面番号	
								潮江南小学校南舎及び屋内運動場外壁改修工事												A-11	
								図 面 名		建 具 表 (2) 【 参 考 図 】		縮 尺		1/150		作 図		年 月 日			

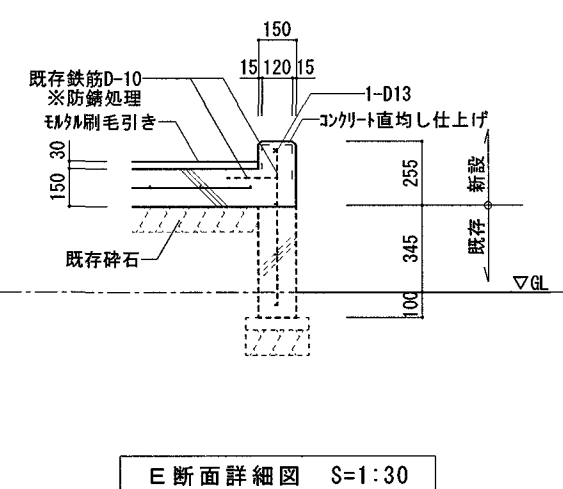
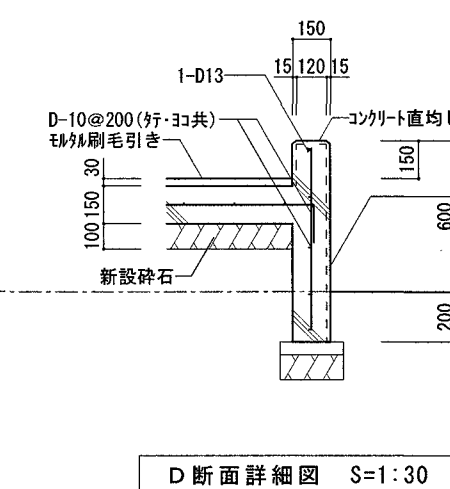
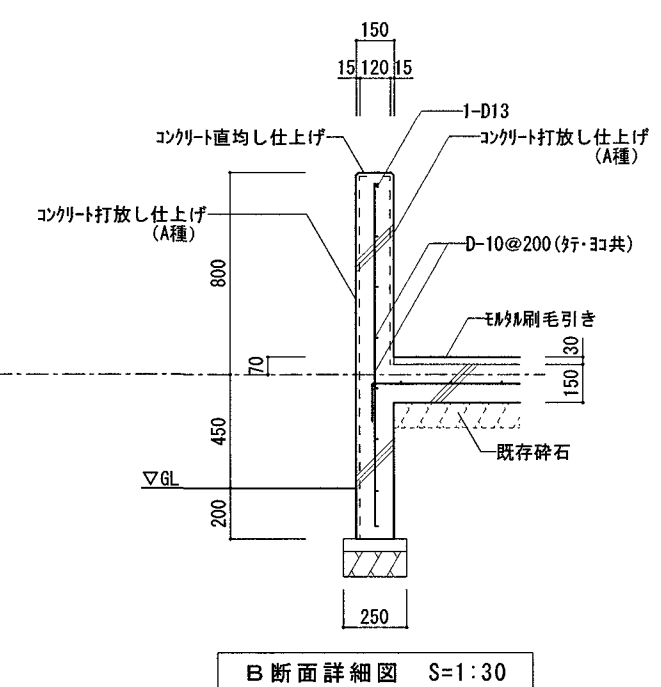
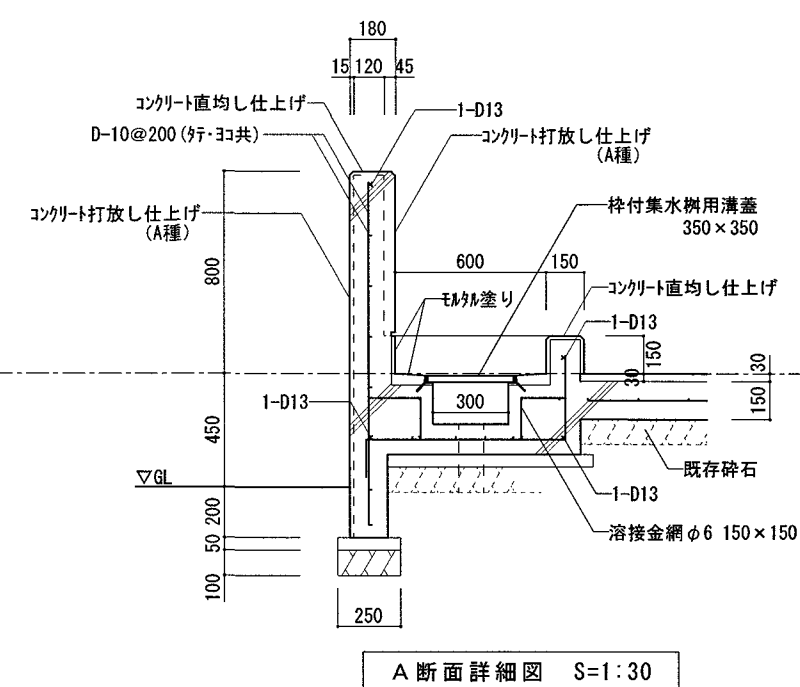
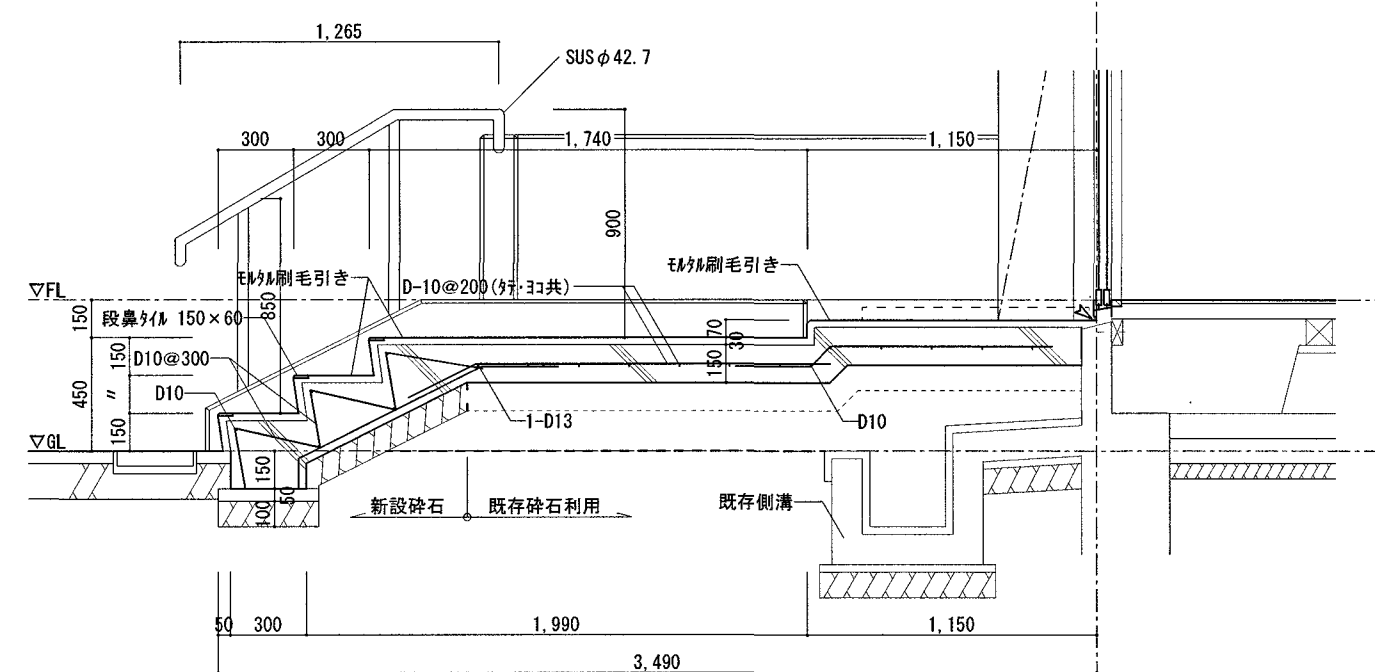
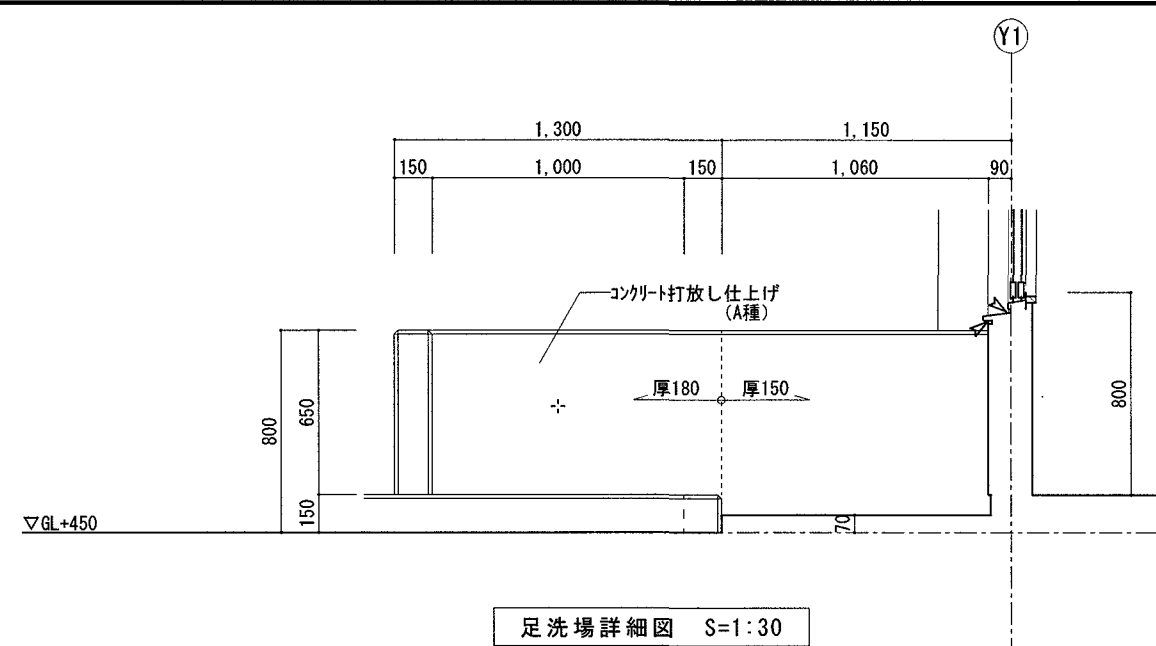


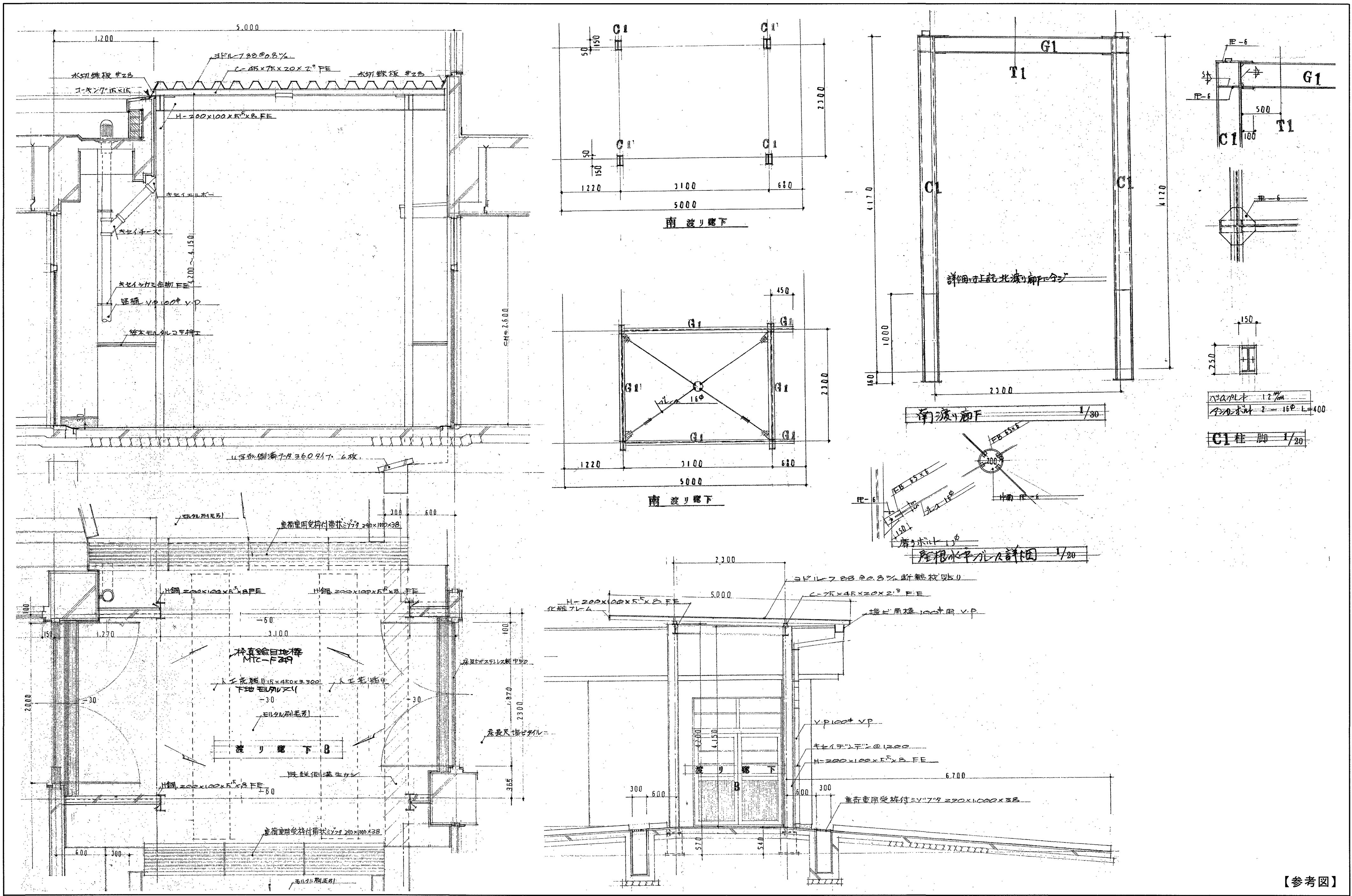
【参考図】

工 事 名		係 長		課 長 補 佐	課 長	図 面 番 号
高知市 都市建設部 公共建築課		潮江南小学校南舎及び屋内運動場外壁改修工事				A-12
図 面 名	補強部分詳細図【参考図】	縮 尺	1/10,50	作 図	年 月 日	



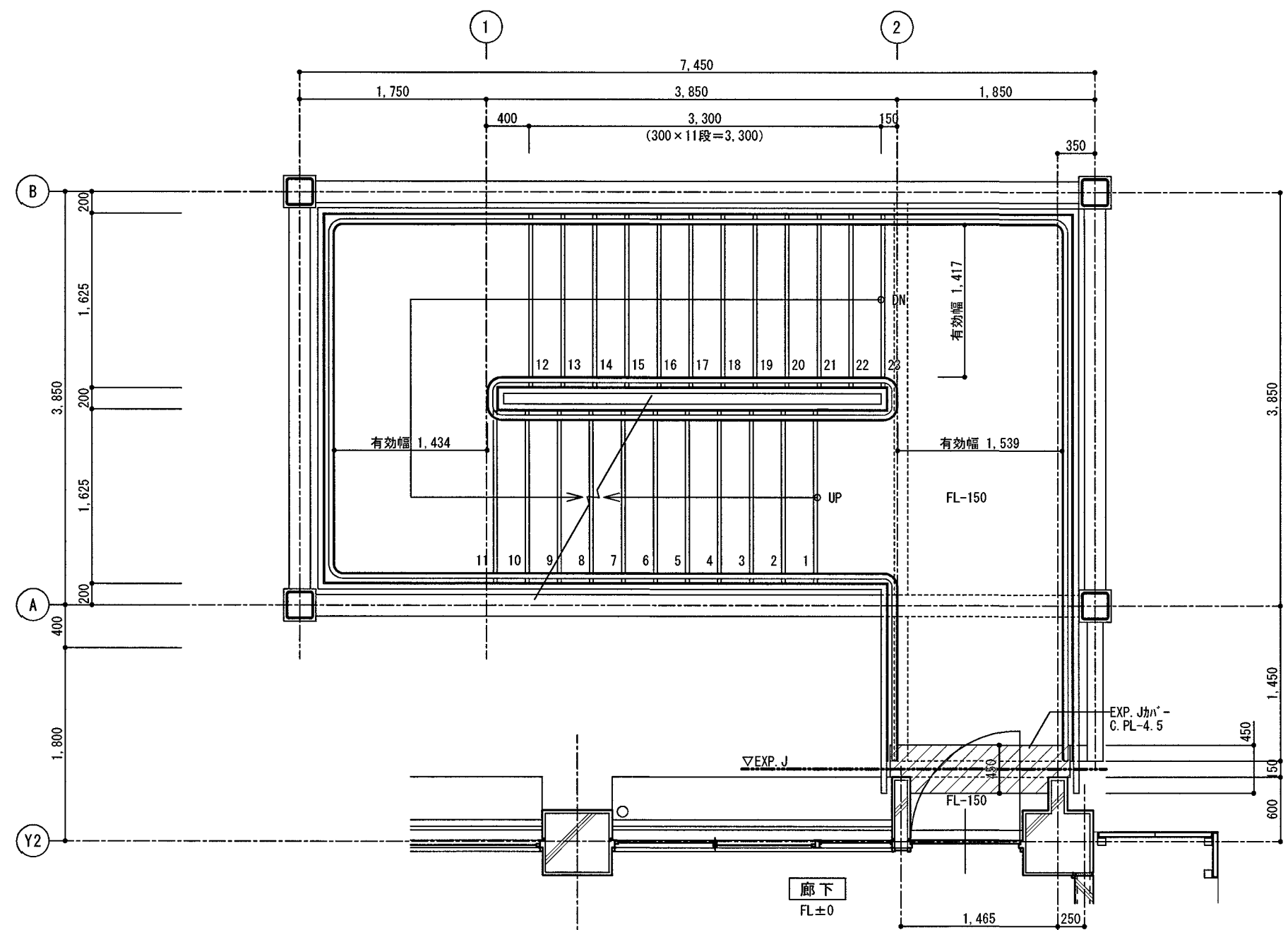
 壁撤去跡Eの外塗り部分を示す。
外壁は複層塗材Eにて全面塗替えとする。



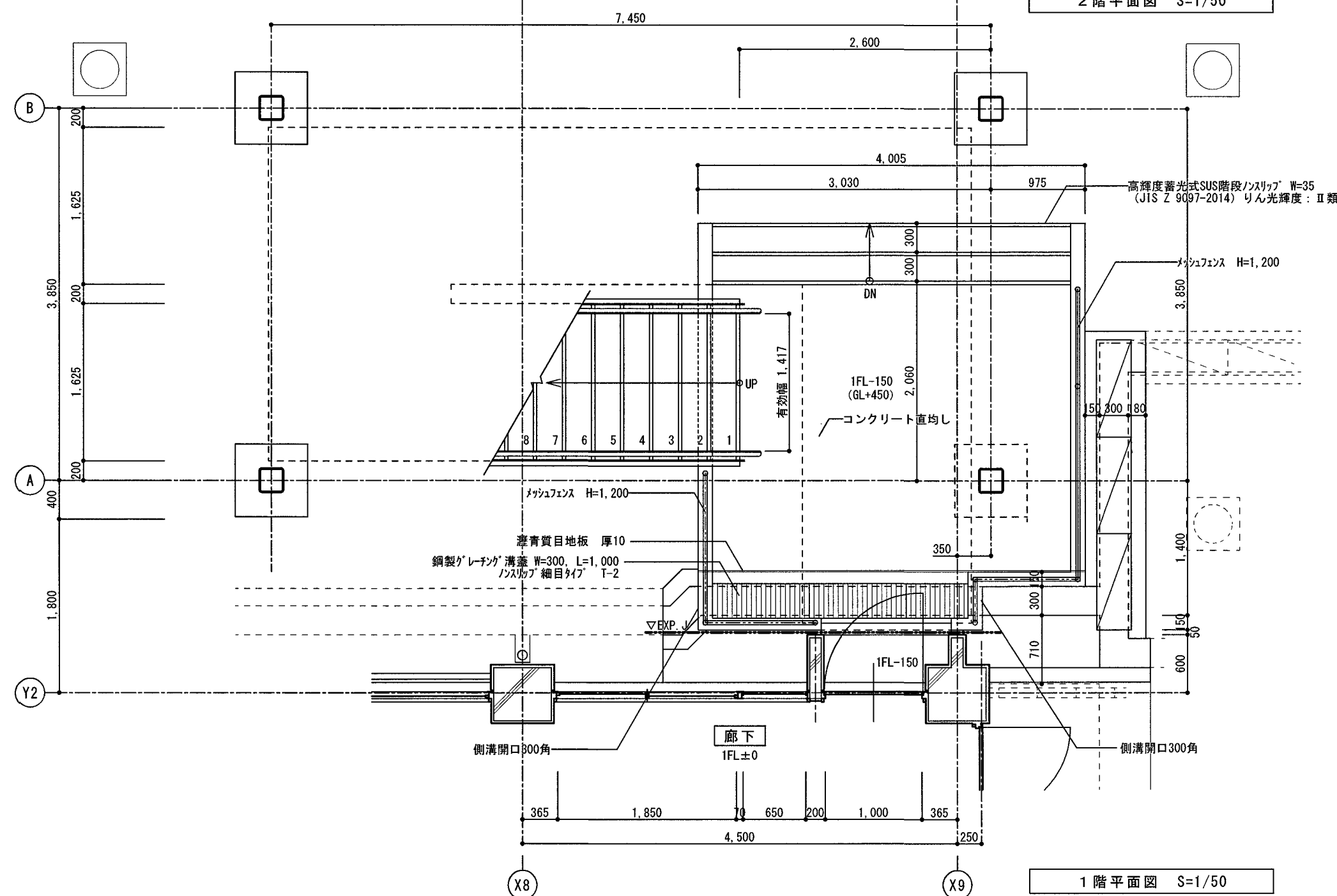


【参考図】

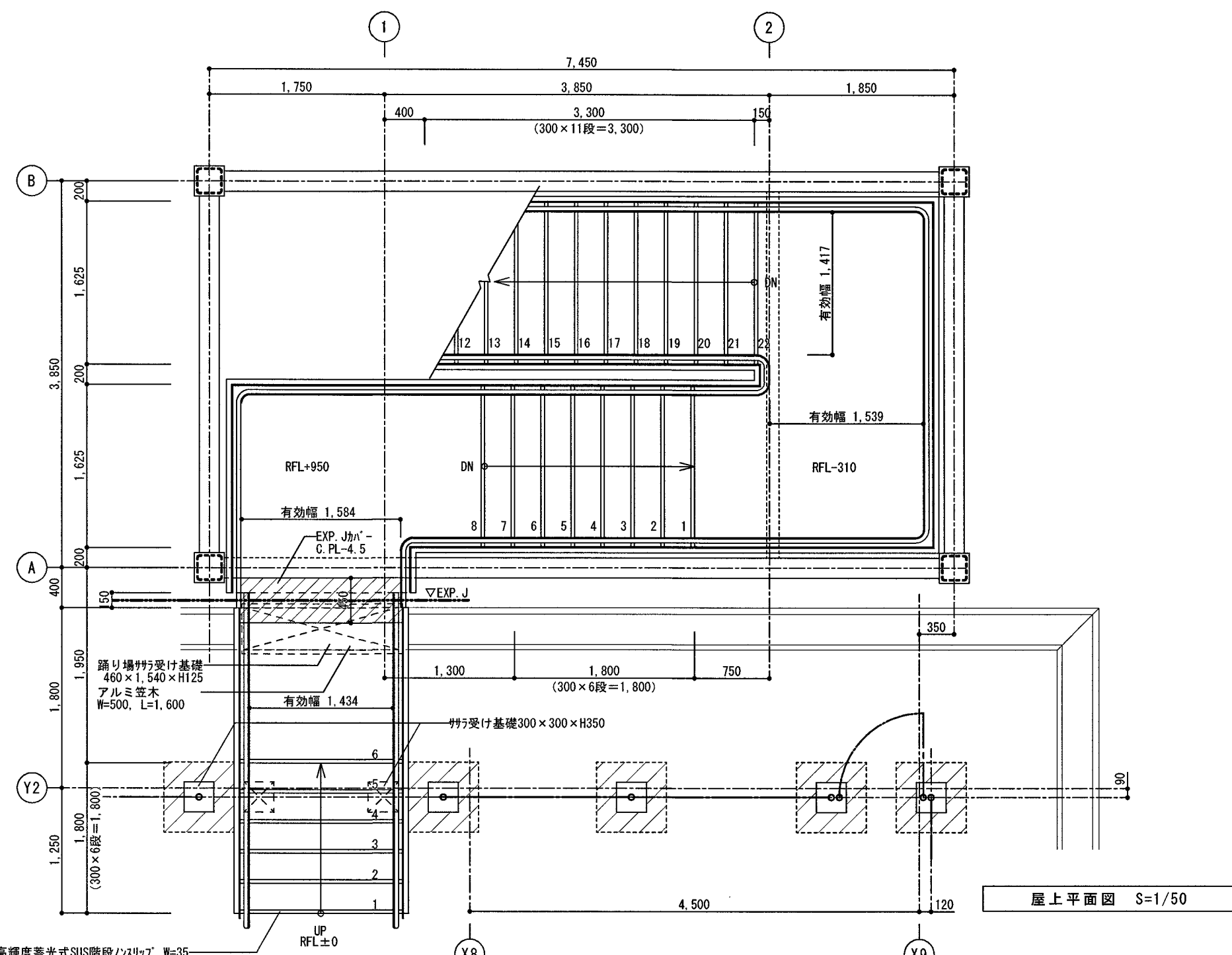
高知市 都市建設部 公共建築課		工事名		係	係長	課長補佐	課長	図面番号
		潮江南小学校南舎及び屋内運動場外壁改修工事						A-14
		図面名	北面渡り廊下詳細図【参考図】	縮尺	-	作図	年 月 日	



2階平面図 S=1/50

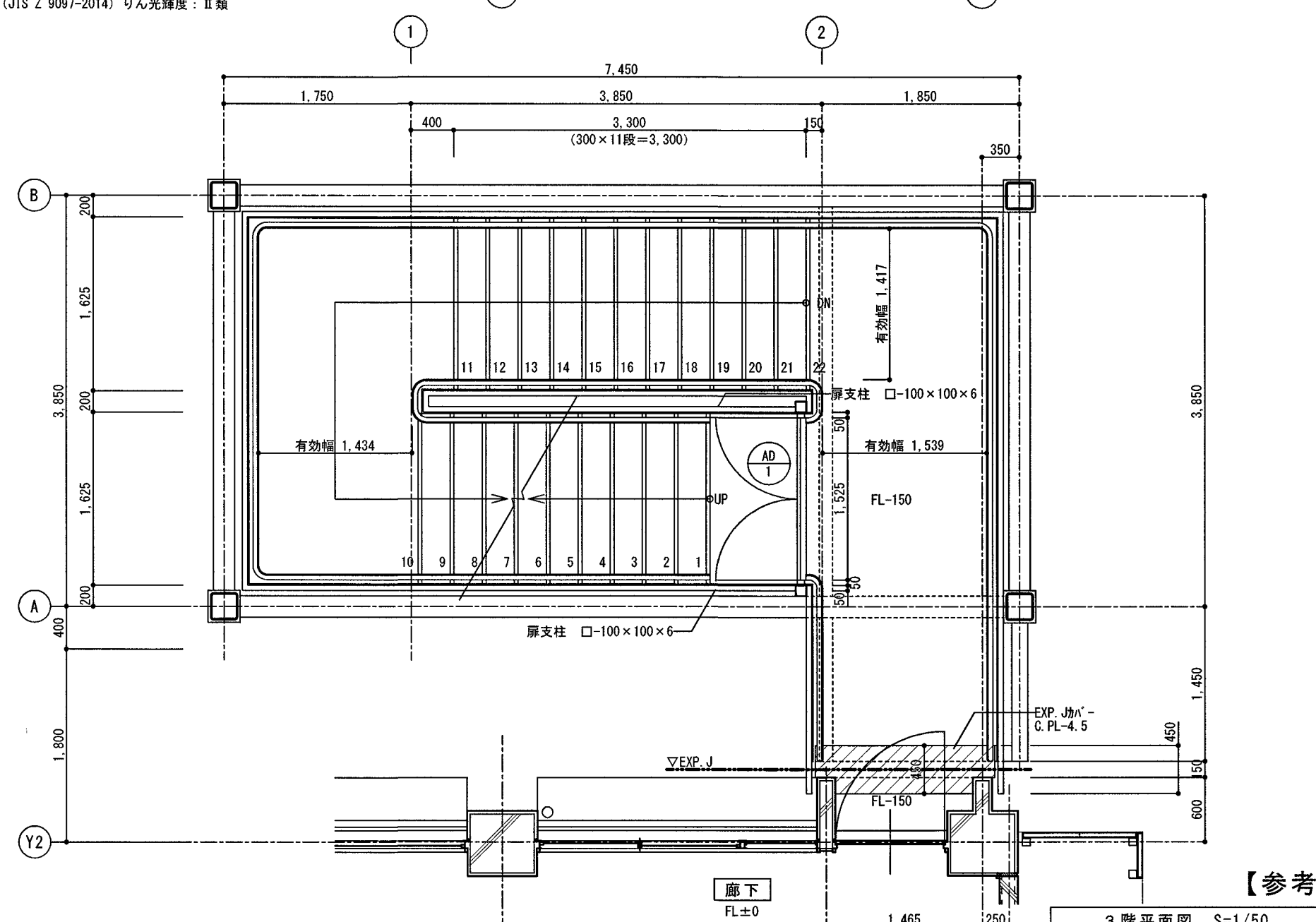


1階平面図 S=1/50



屋上平面図 S=1/50

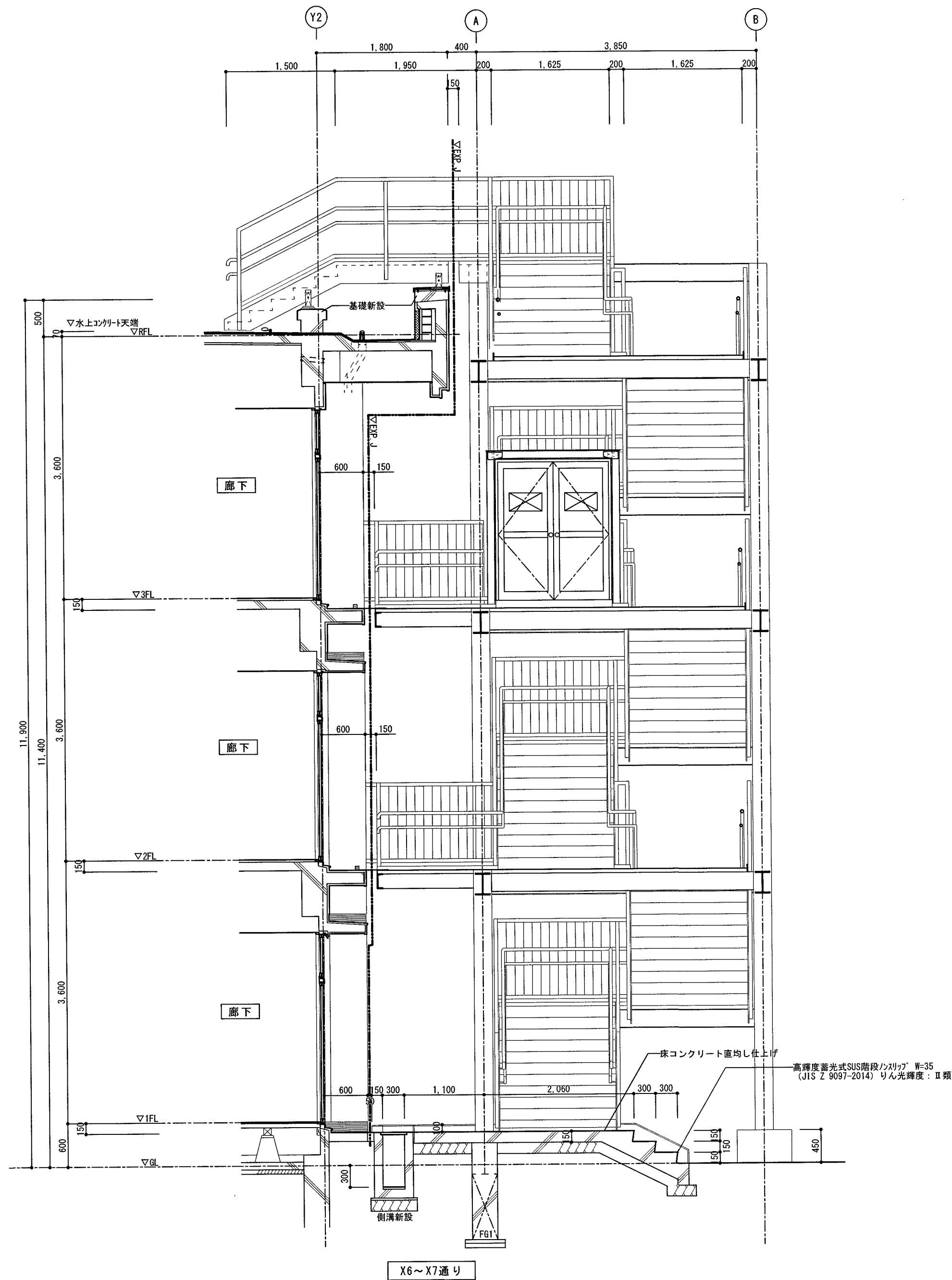
高輝度蓄光式SUS階段ノズル W=35
(JIS Z 9097-2014) リン光輝度: II類



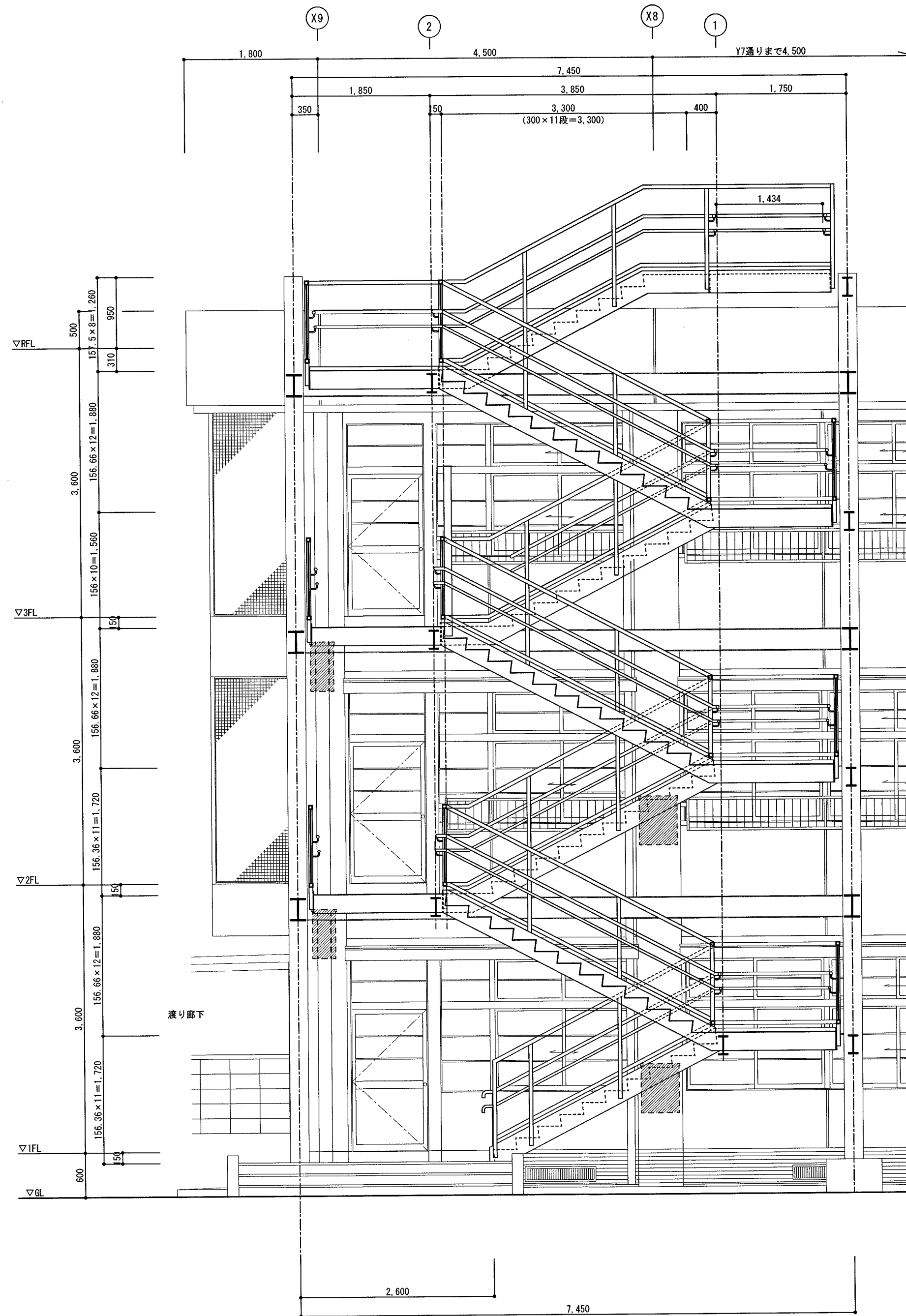
3階平面図 S=1/50

【参考図】

工 事 名				係 係 長 課 長 補 佐 課 長 図 面 番 号			
高知市 都市建設部 公共建築課				潮江南小学校南舎及び屋内運動場外壁改修工事			
図 面 名				縮 尺			
屋外階段平面図【参考図】				1/50			
作 図				年 月 日			
				A-15			



東立面図 S=1/50

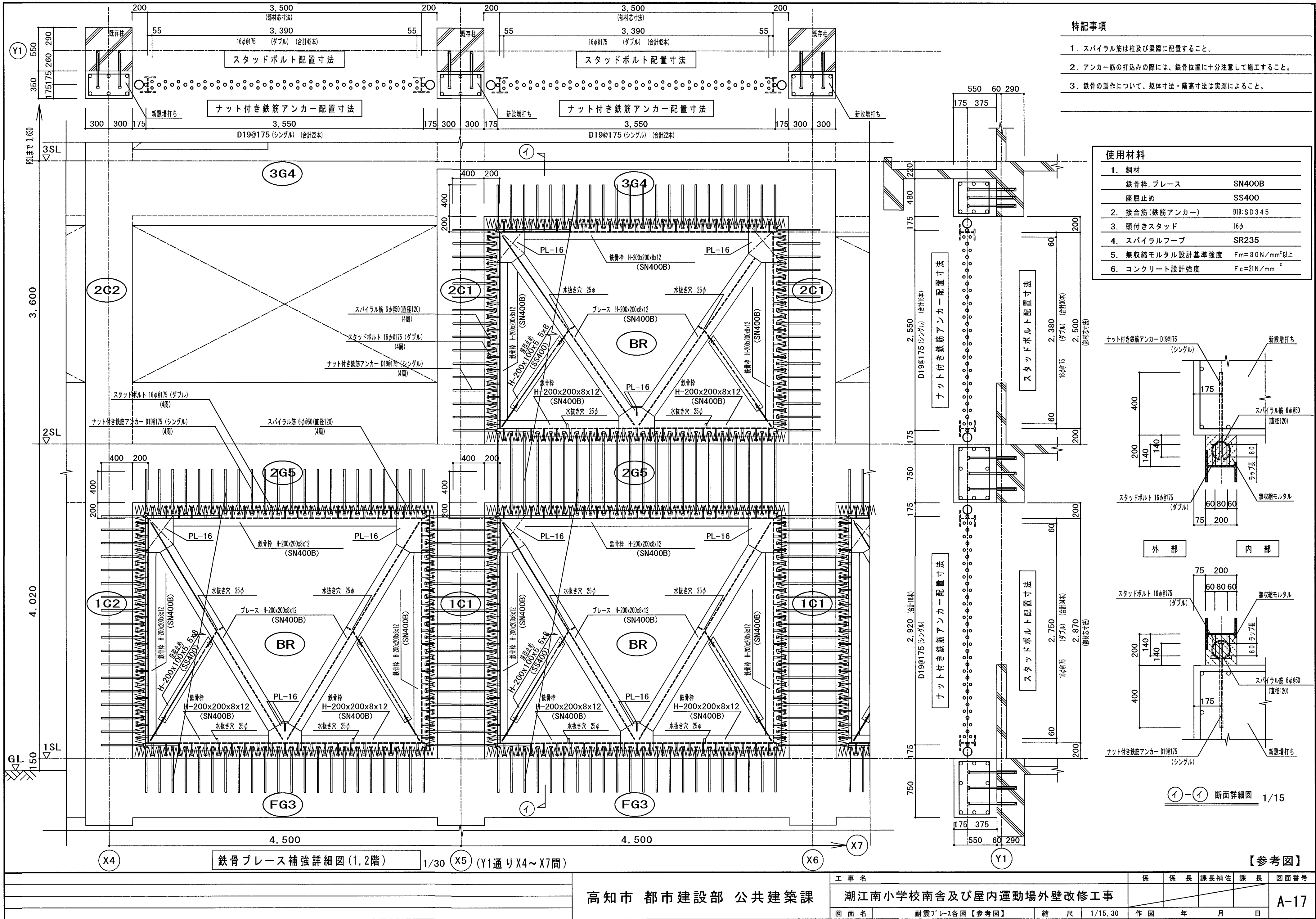


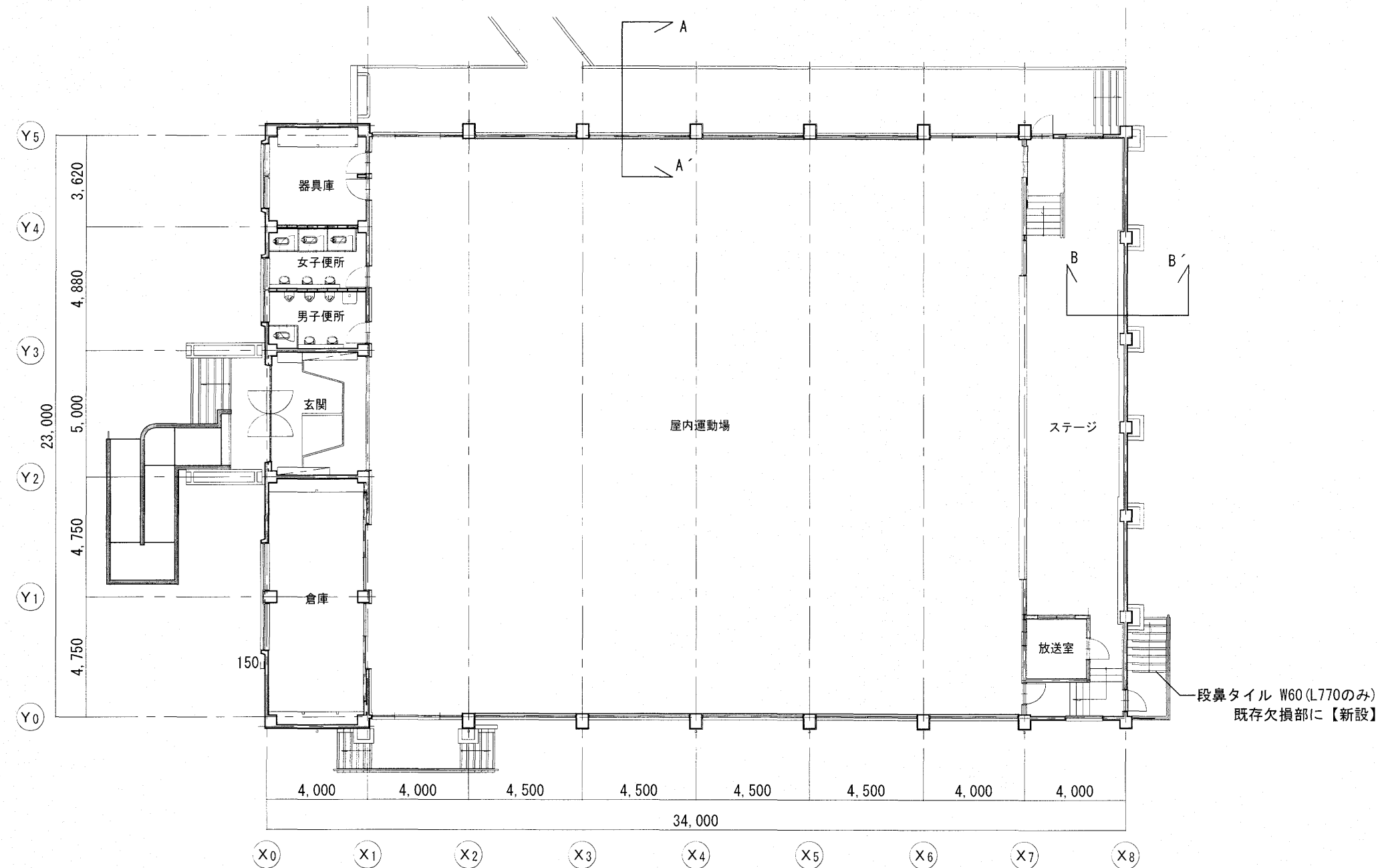
北立面図 S=1/50

【参考図】

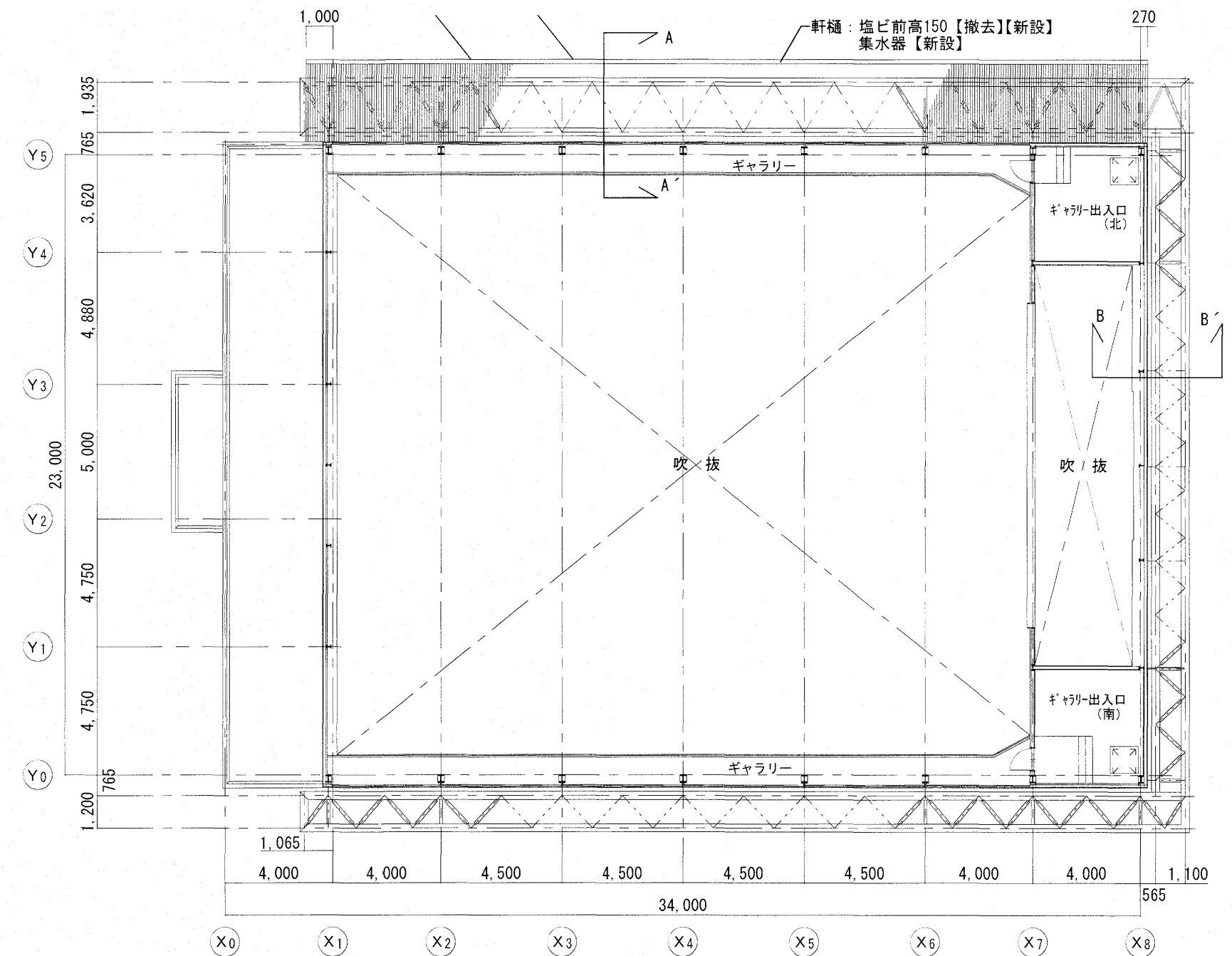
高知市 都市建設部 公共建築課

工事名	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
潮江南小学校南舎及び屋内運動場外壁改修工事					A-16
図面名	縮尺	1/50	作図	年	月
屋外階段立面図【参考図】					



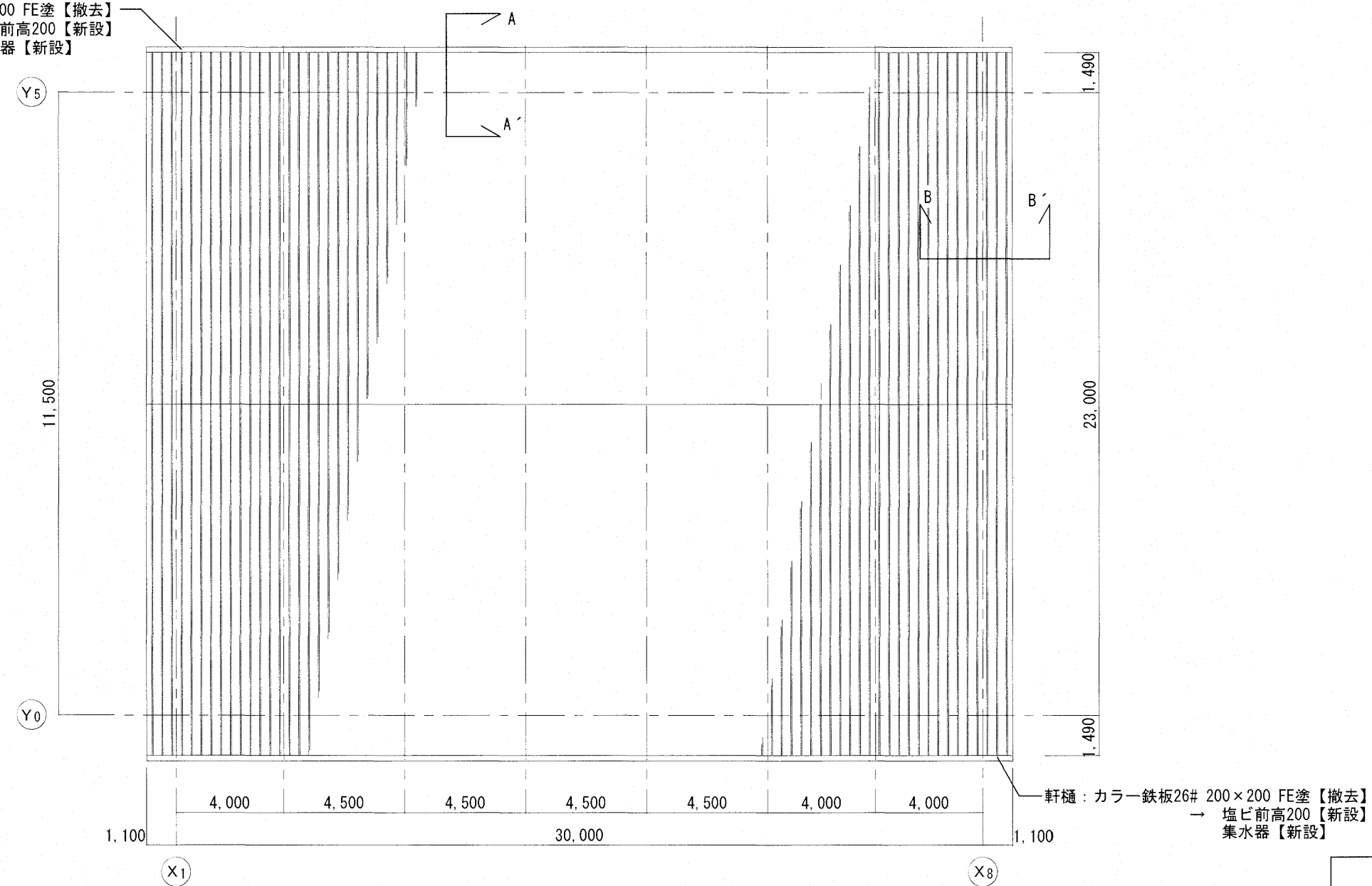


1 階平面図 S=1:200



2 階平面図 S=1:200

軒樋：カラー鉄板26# 200×200 FE塗【撤去】
→ 塩ビ前高200【新設】
集水器【新設】

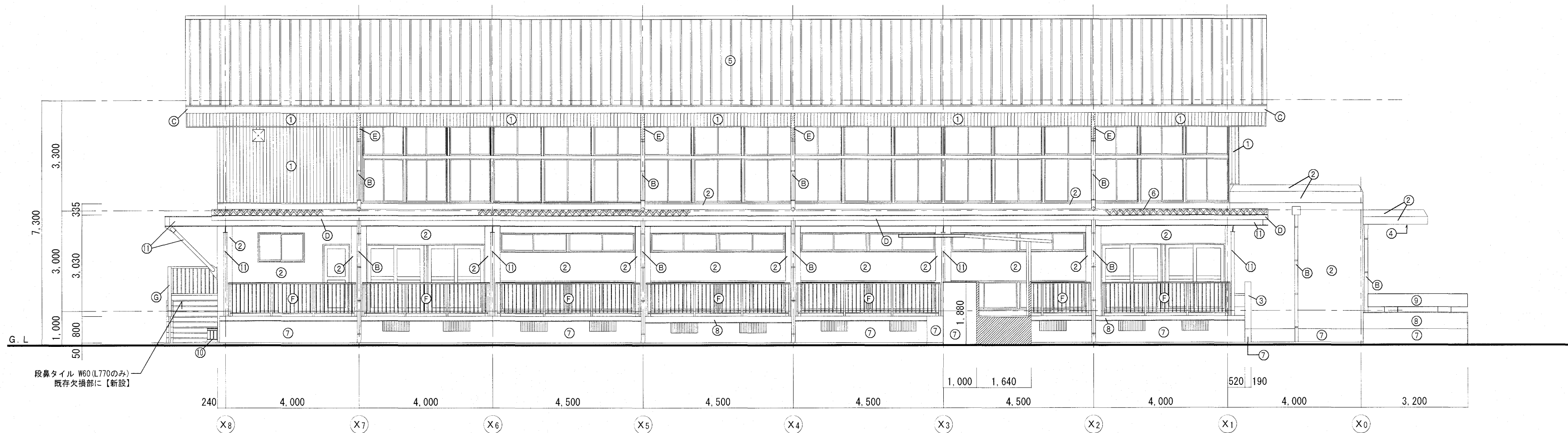


屋根平面図 S=1:200

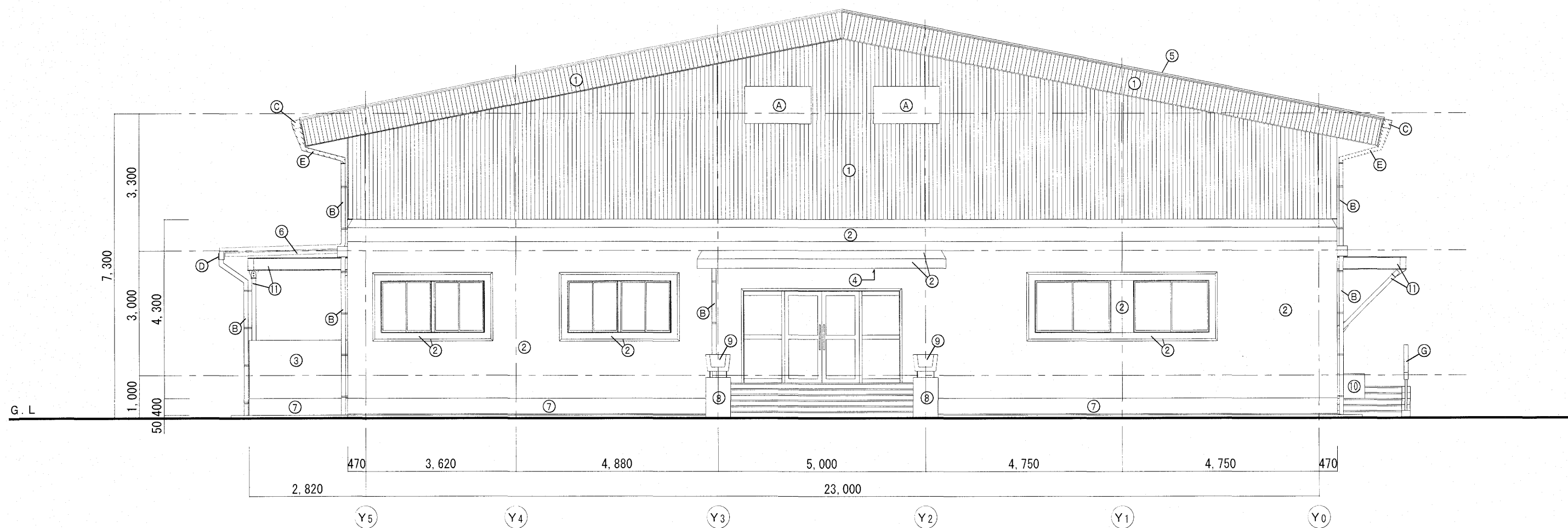
※内部改修なし

高知市 都市建設部 公共建築課

工 事 名			係	係 長	課長補佐	課 長	図面番号
潮江南小学校南舎及び屋内運動場外壁改修工事			小	南	濱	松	T-01
図 面 名	各階平面図	縮 尺	1/10・200	作 図	2025年	4 月	日



北面立面図 S=1:100



西面立面図 S=1:100

外 部 仕 上 表		
記号 部位	改修前	改修後
① 外壁	せっこうボード t:12.0下地 金属系サイディング FE塗【既存のまま】	-
② 外壁	珪藻土下地 複層塗材E【既存のまま】	水洗い+劣化改修+下地調整 (G-1)+複層塗材E【改修】
③ 外壁	コンクリート下地 複層塗材E【既存のまま】	水洗い+劣化改修+下地調整 (G-1)+複層塗材E【改修】
④ 庇 (軒天)	珪藻土下地 外装薄塗材E【既存のまま】	水洗い+劣化改修+外装薄塗材E【改修】
⑤ 大屋根	長尺カラー鉄板2# 瓦棒葺の上ルーフィング敷込みカラーG.L.鋼板カバー工法 t:0.4丸形キャップタイプ @365【既存のまま】	-
⑥ 屋根	カラーG.L.折板 88程度 t:0.5【既存のまま】	-
⑦ 根廻り	珪藻土毛引き【既存のまま】	水洗い+劣化改修【改修】
⑧ 根廻り	珪藻土こて押え【既存のまま】	水洗い+劣化改修【改修】
⑨ 樋込	コンクリート打放し 3,000×600【既存のまま】	-
⑩ 樋込	コンクリート打放し 1,000×610×H385【既存のまま】	-
⑪ 鉄骨	亜鉛・アクリル樹脂溶射面 2-UE塗【既存のまま】	-
④ 外壁	アルミカラー板 t:2.0 1,600×900【既存のまま】	-
⑤ 壁礎	カラーV.P.管 100φ (スチール組み金物)【撤去】	カラーV.P.管 100φ (スチール組み金物)【新設】
⑥ 軒礎	カラー鉄板26# 200×200 FE塗【撤去】	塩ビ前高200【新設】、集水器【新設】
⑦ 軒礎	塩ビ前高150【撤去】	塩ビ前高150【新設】、集水器【新設】
⑧ 呼び礎	カラー鉄板26# 200×200 FE塗【撤去】	カラーV.P.管 100φ (スチール組み金物)【新設】
⑨ 手摺	アルミ【既存のまま】	-
⑩ 手摺	スチール FE塗【既存のまま】	-

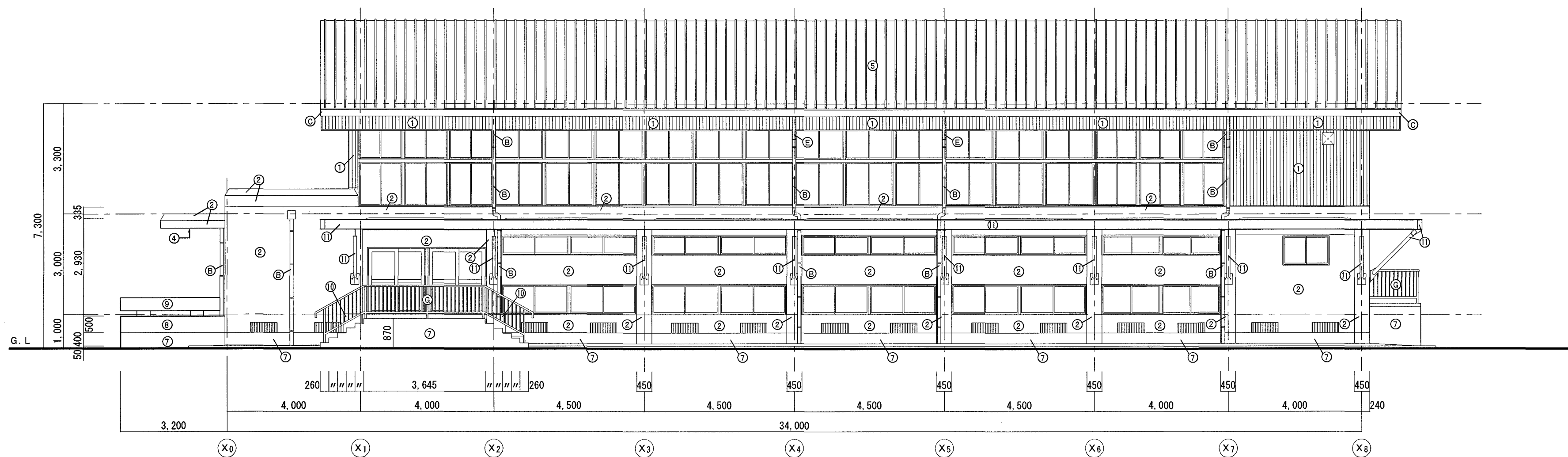
劣化改修

損傷内容	工 法	予定数量
ひび割れ (0.2以上1.0mm未満)	自動式低圧球*杉樹脂注入工法	1.00 m
ひび割れ (1.00mm超え)	Uカットシーリング材充填工法	1.00 m
浮き (一般部)	注入口付アノカビ*ソニック*全面球*杉樹脂注入工法	1.00 m ²
浮き (指定部)	注入口付アノカビ*ソニック*全面球*杉樹脂注入工法	1.00 m ²
浮き (狭幅部)	注入口付アノカビ*ソニック*全面球*杉樹脂注入工法	1.00 m
欠損	欠損部充填工法	0.10 m ²

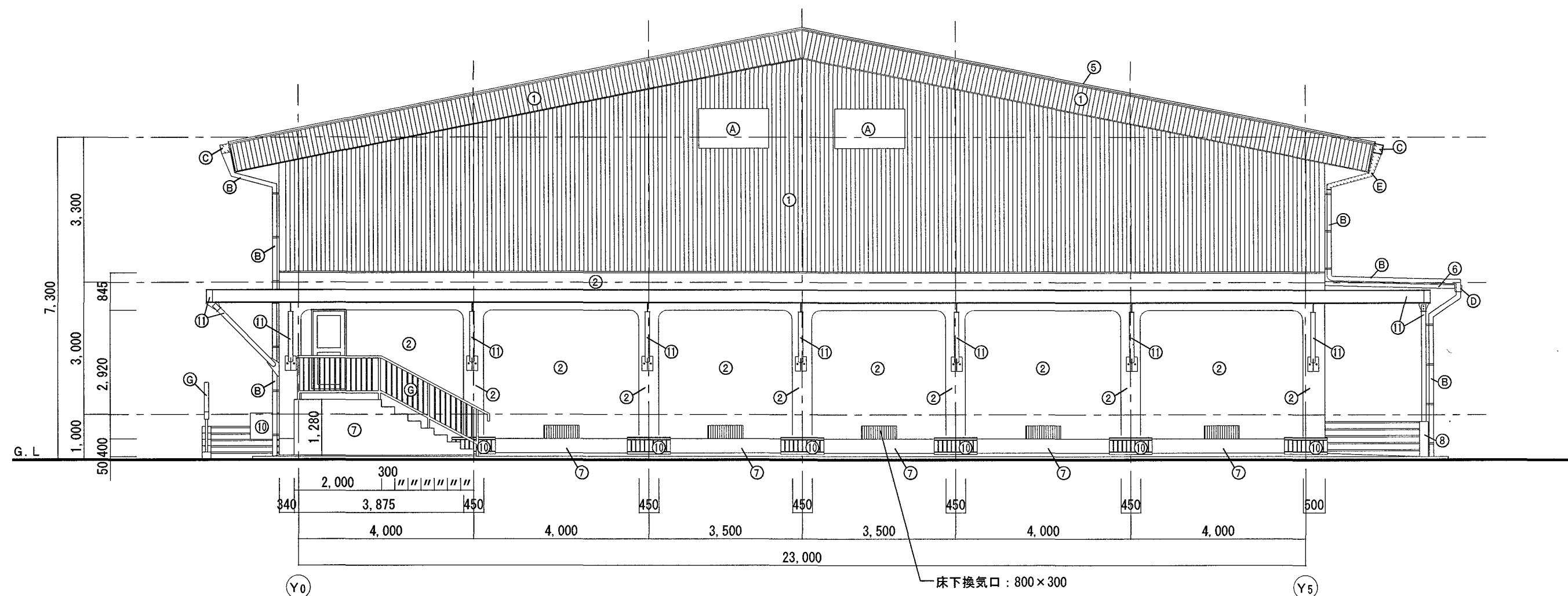
※ 数量及び工法は予定とし、施工数量調査の結果により変更する。

高知市 都市建設部 公共建築課

工 事 名		係	係 長	課長補佐	課 長	図面番号
潮江南小学校南舎及び屋内運動場外壁改修工事		小野	世田	濱口	松本	T-02
図 面 名	北面立面図・西面立面図	縮 尺	1/100	作 図	2025年 4 月	日

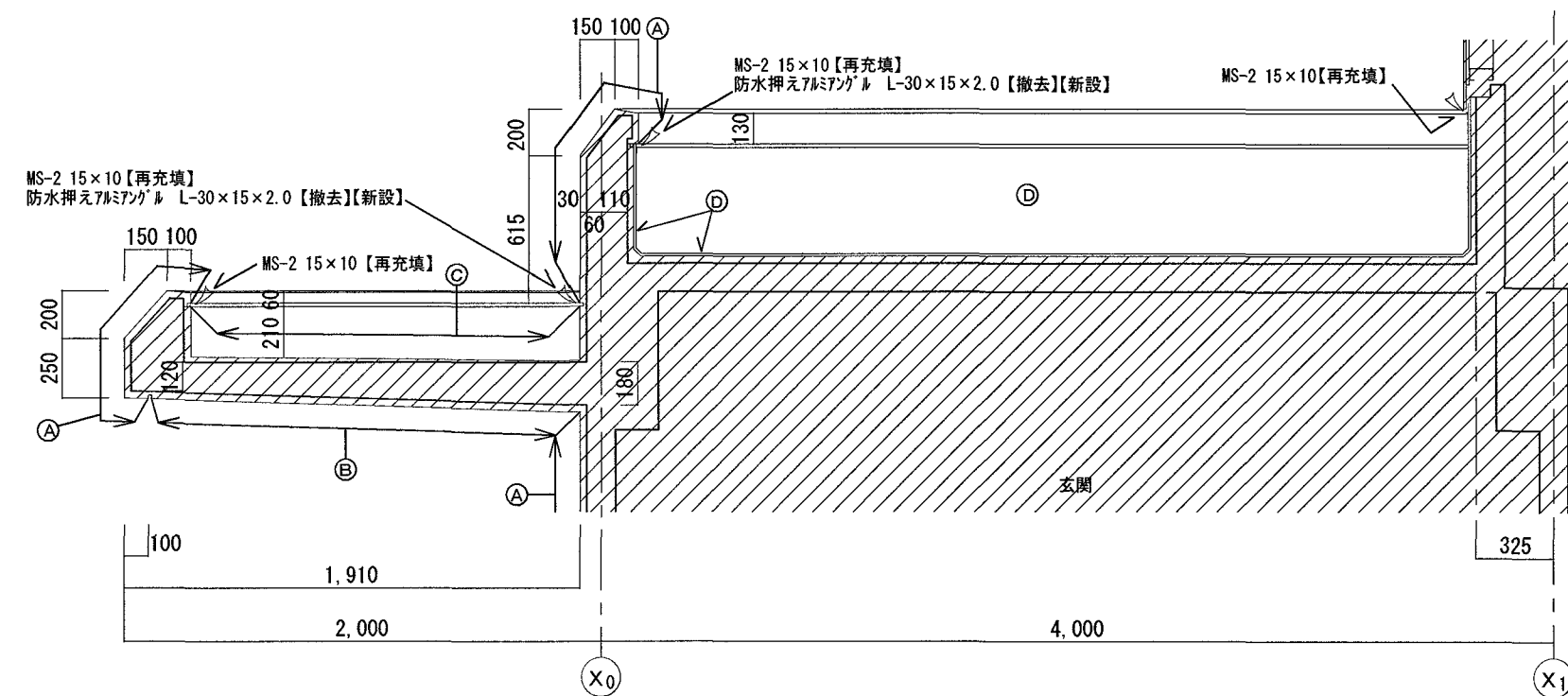
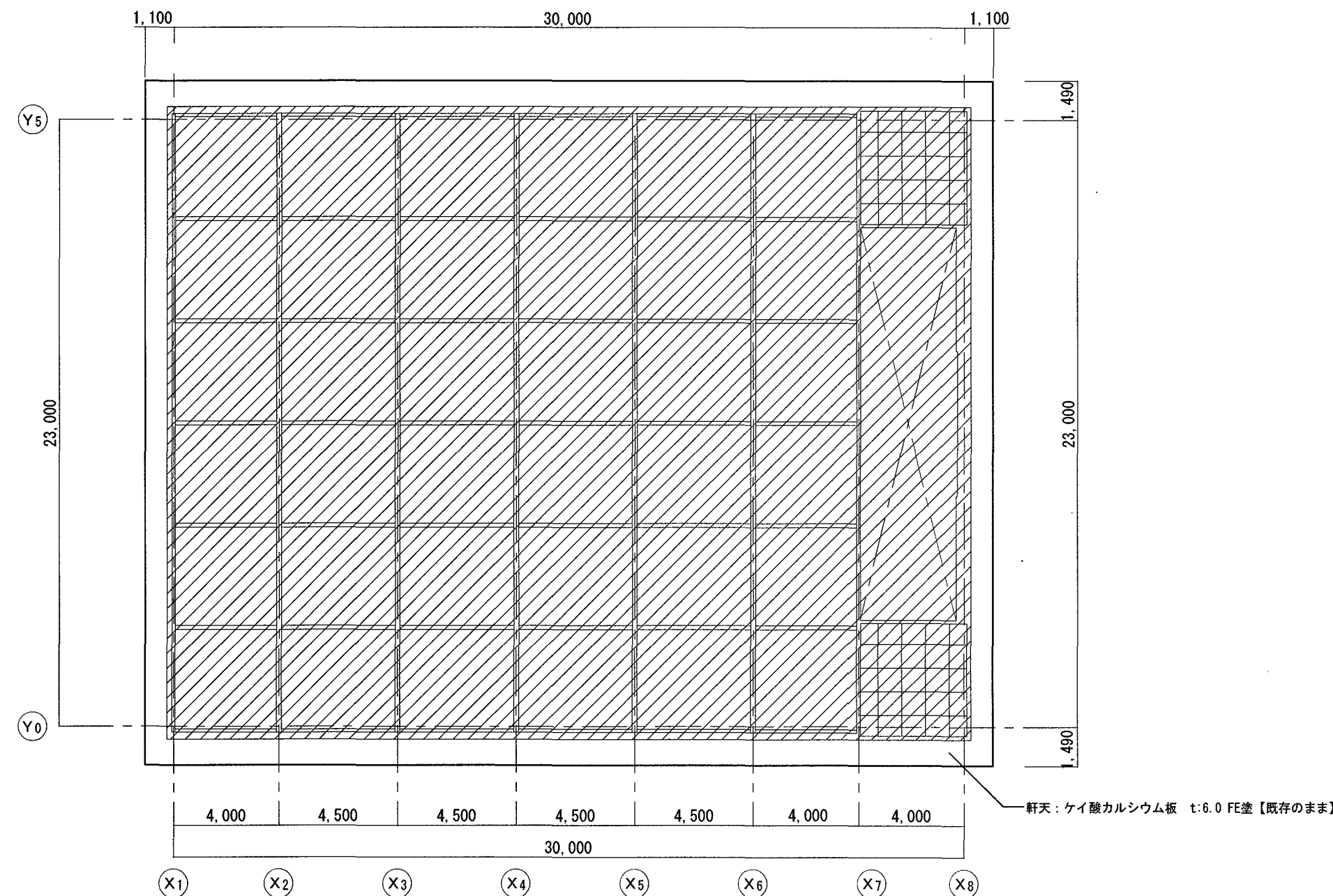


南面立面図 S=1:100



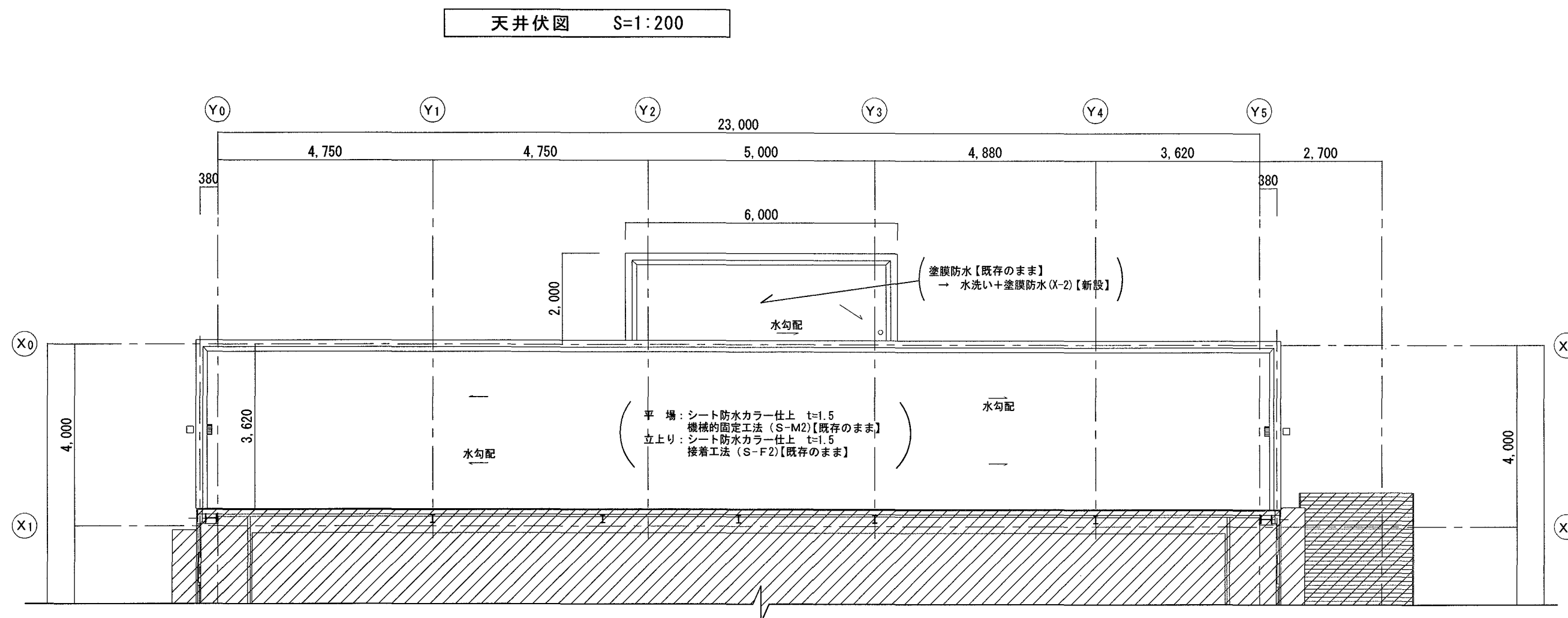
東面立面図 S=1:100

外 部 仕 上 表			
記号	部位	改修前	改修後
①	外壁	せっこうボード t:12.0下地 金属系付'いん' FE塗【既存のまま】	-
②	外壁	珪藻土下地 複層塗材E【既存のまま】	水洗い+劣化改修+下地調整(C-1)+複層塗材E【改修】
③	外壁	コンクリート下地 複層塗材E【既存のまま】	水洗い+劣化改修+下地調整(C-1)+複層塗材E【改修】
④	庇 (軒天)	珪藻土下地 外装薄塗材E【既存のまま】	水洗い+劣化改修+外装薄塗材E【改修】
⑤	大屋根	長尺カラー鉄板28# 瓦棒葺の上 ルーフィング敷込み カラーG.L.鋼板 カバー工法 t:0.4 丸形キャップタイプ @365【既存のまま】	-
⑥	屋根	カラーG.L.折板 88程度 t:0.5【既存のまま】	-
⑦	横断り	珪藻土毛引き【既存のまま】	水洗い+劣化改修【改修】
⑧	横断り	珪藻土こて押え【既存のまま】	水洗い+劣化改修【改修】
⑨	補込	コンクリート打放し 3,000×600【既存のまま】	-
⑩	補込	コンクリート打放し 1,000×610×H385【既存のまま】	-
⑪	鉄骨	亜鉛・7%Zn溶射面 2-UE塗【既存のまま】	-
A	外壁	アルミカラー板 t:2.0 1,600×900【既存のまま】	-
B	縦樋	カラーV.P.管 100φ (スリット掘み金物)【撤去】	カラーV.P.管 100φ (スリット掘み金物)【新設】
C	軒樋	カラー鉄板26# 200×200 FE塗【撤去】	塩ビ前高200【新設】、集水器【新設】
D	軒樋	塩ビ前高150【撤去】	塩ビ前高150【新設】、集水器【新設】
E	呼び樋	カラー鉄板26# 200×200 FE塗【撤去】	カラーV.P.管 100φ (スリット掘み金物)【新設】
F	手摺	アルミ【既存のまま】	-
G	手摺	スチール FE塗【既存のまま】	-

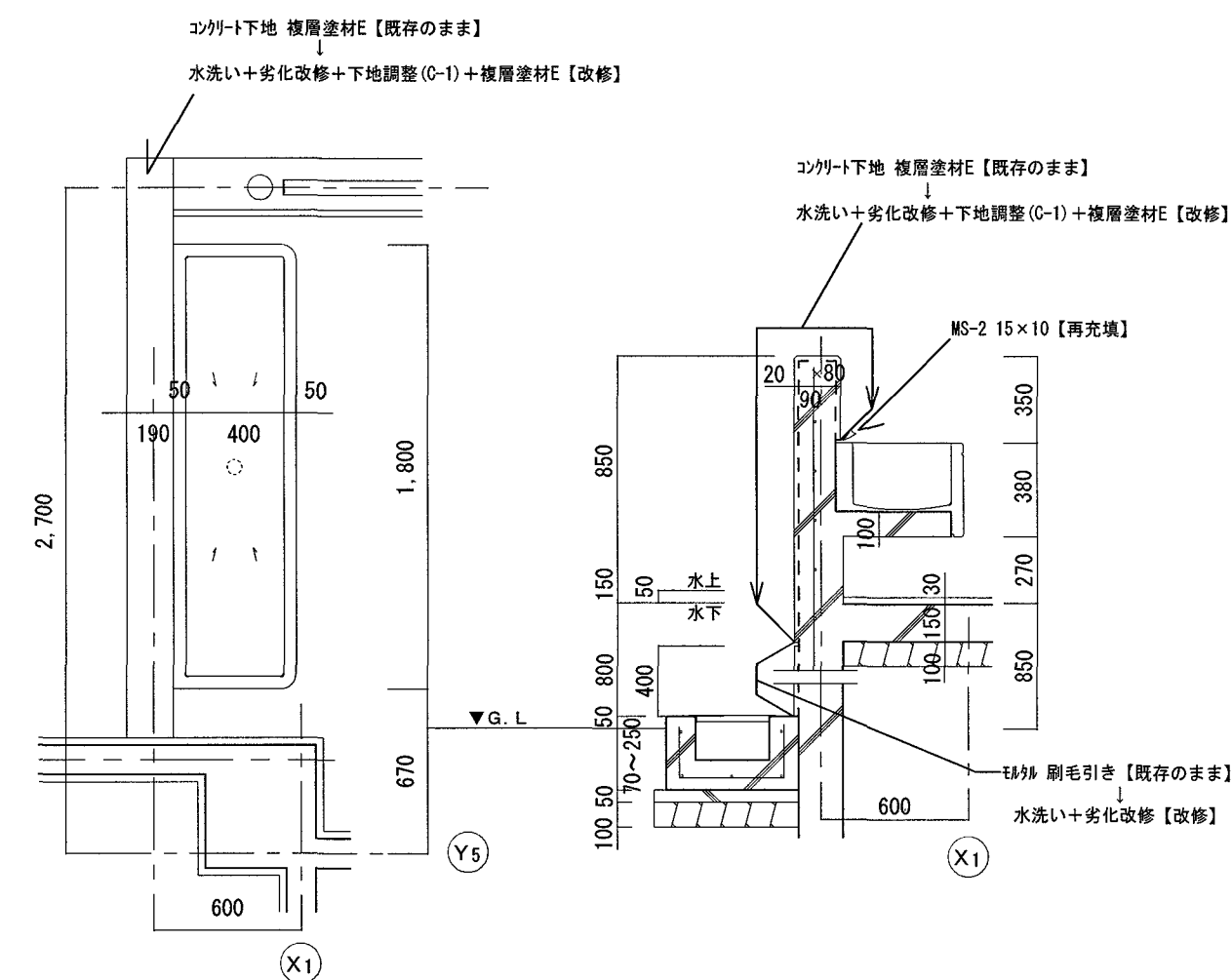


玄関上部断面詳細図 S=1:30

仕 上 表		
記号	改修前	改修後
(A)	モルタル下地 複層塗材E【既存のまま】	水洗い+劣化改修+下地調整(C-1)+複層塗材E【改修】
(B)	モルタル下地 外装薄塗材E【既存のまま】	水洗い+劣化改修+外装薄塗材E【改修】
(C)	塗膜防水【既存のまま】	水洗い+塗膜防水(X-2)
(D)	立上り:合成高分子系L-フロッグシート防水(接着工法) t=1.5 平 場:合成高分子系L-フロッグシート防水(機械固定工法) 非歩行 t=1.5 歩行 t=1.5【既存のまま】	-



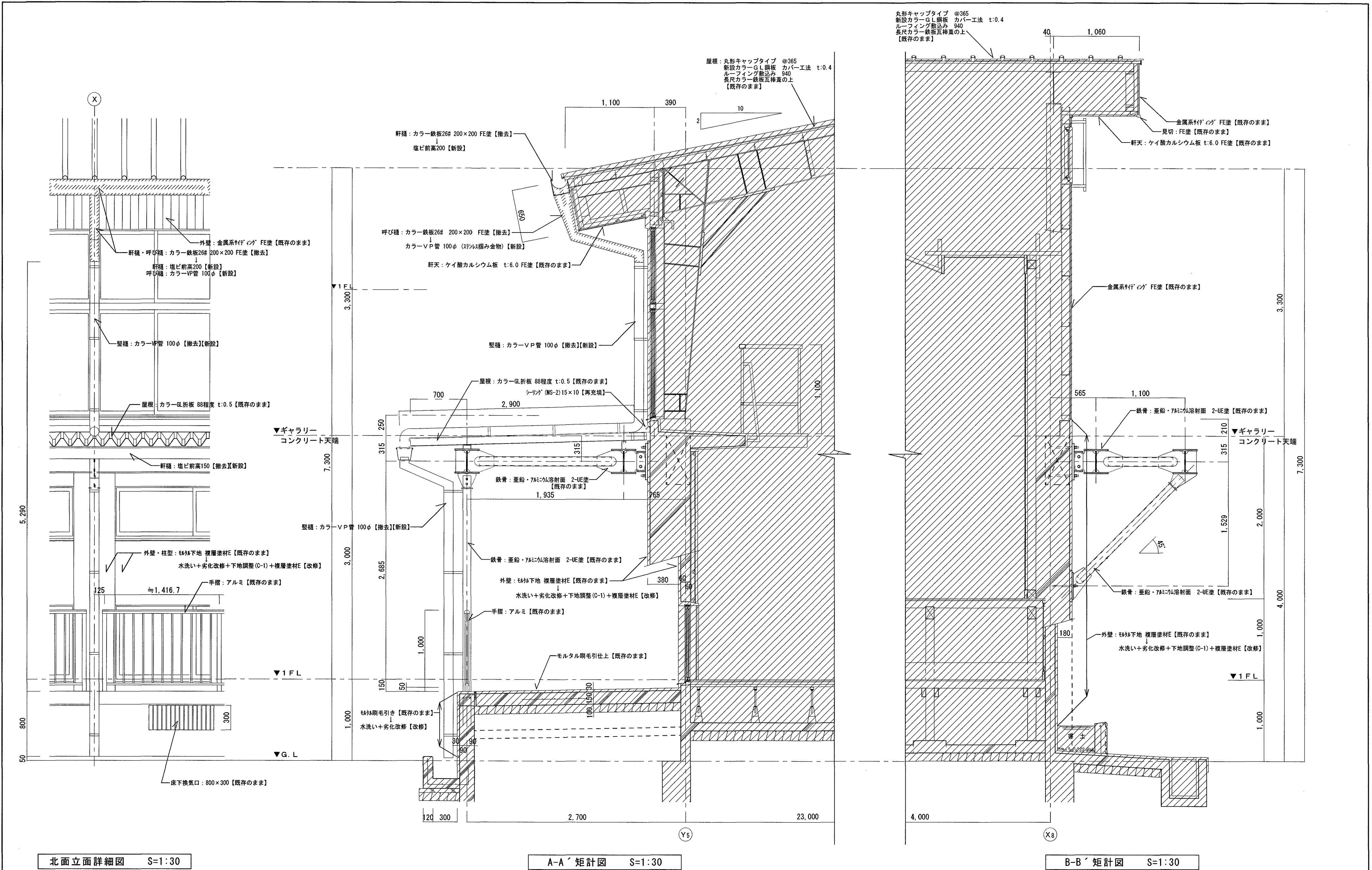
玄関上部平面詳細図 S=1:100



手洗い部分詳細図 S=1:30

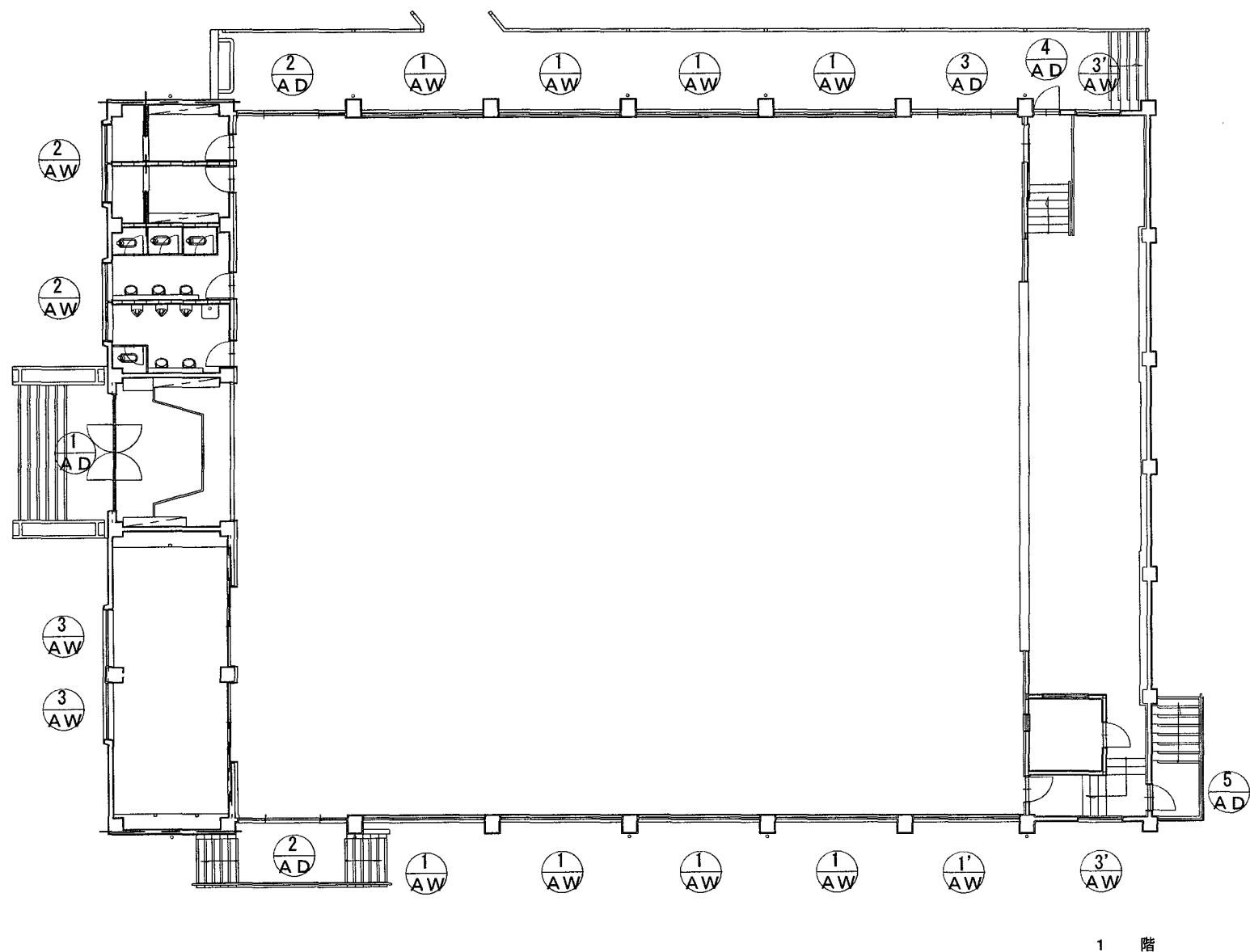
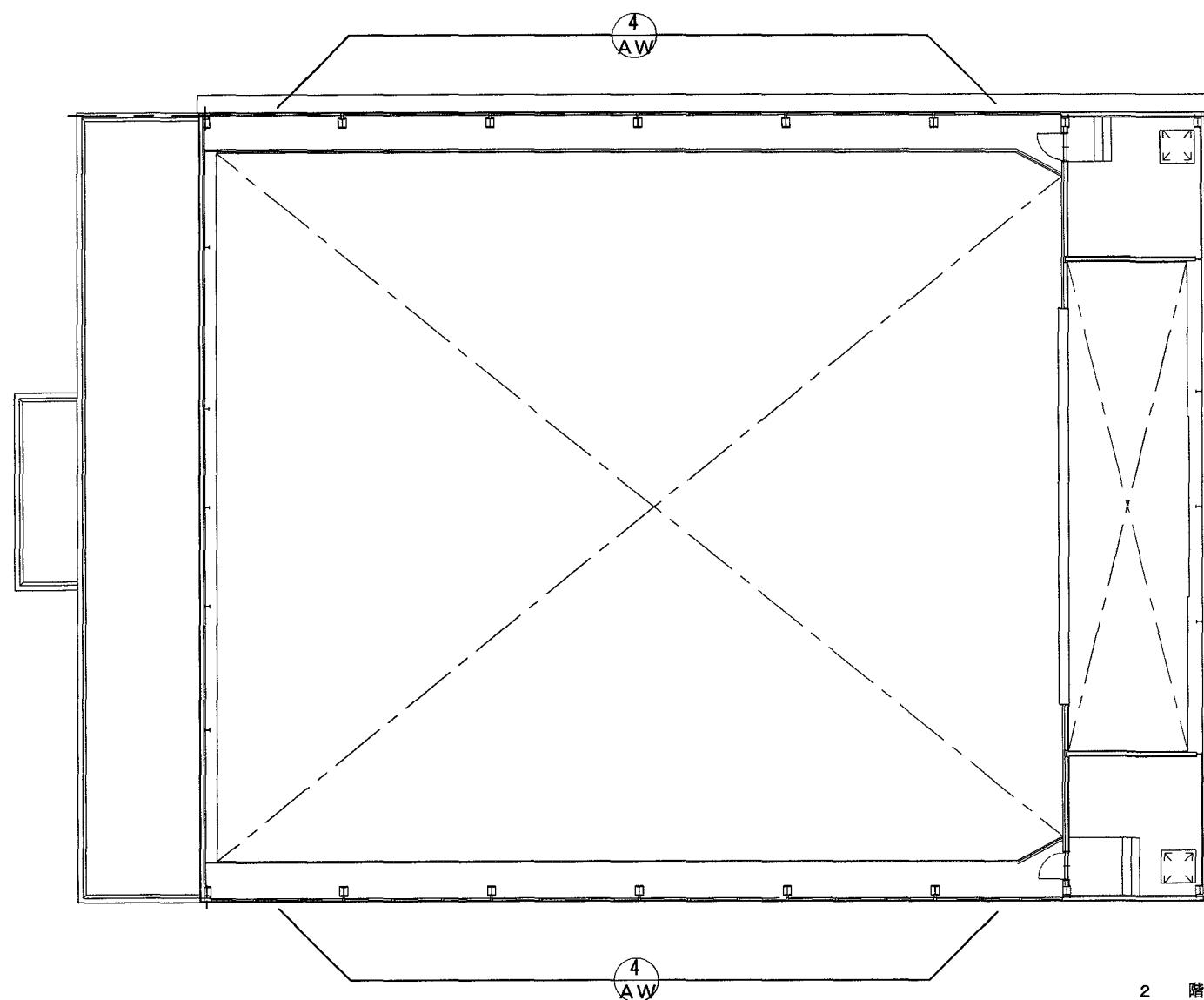
高知市 都市建設部 公共建築課

工 事 名		係	係 長	課長補佐	課 長	図面番号
潮江南小学校南舎及び屋内運動場外壁改修工事		小野	笹岡	濱口	松本	T-04
図 面 名	天井伏図・部分詳細図	縮 尺	1/30・100・200	作 図	2025年 4 月 日	



高知市 都市建設部 公共建築課		工 事 名		係	係 長	課長補佐	課 長	図面番号
		潮江南小学校南舎及び屋内運動場外壁改修工事		小野	笹岡	濱口	松本	T-05
		図 面 名	矩 計 図	縮 尺	1/30	作 図	2025年 4 月 日	

建具配置図 S=1:100



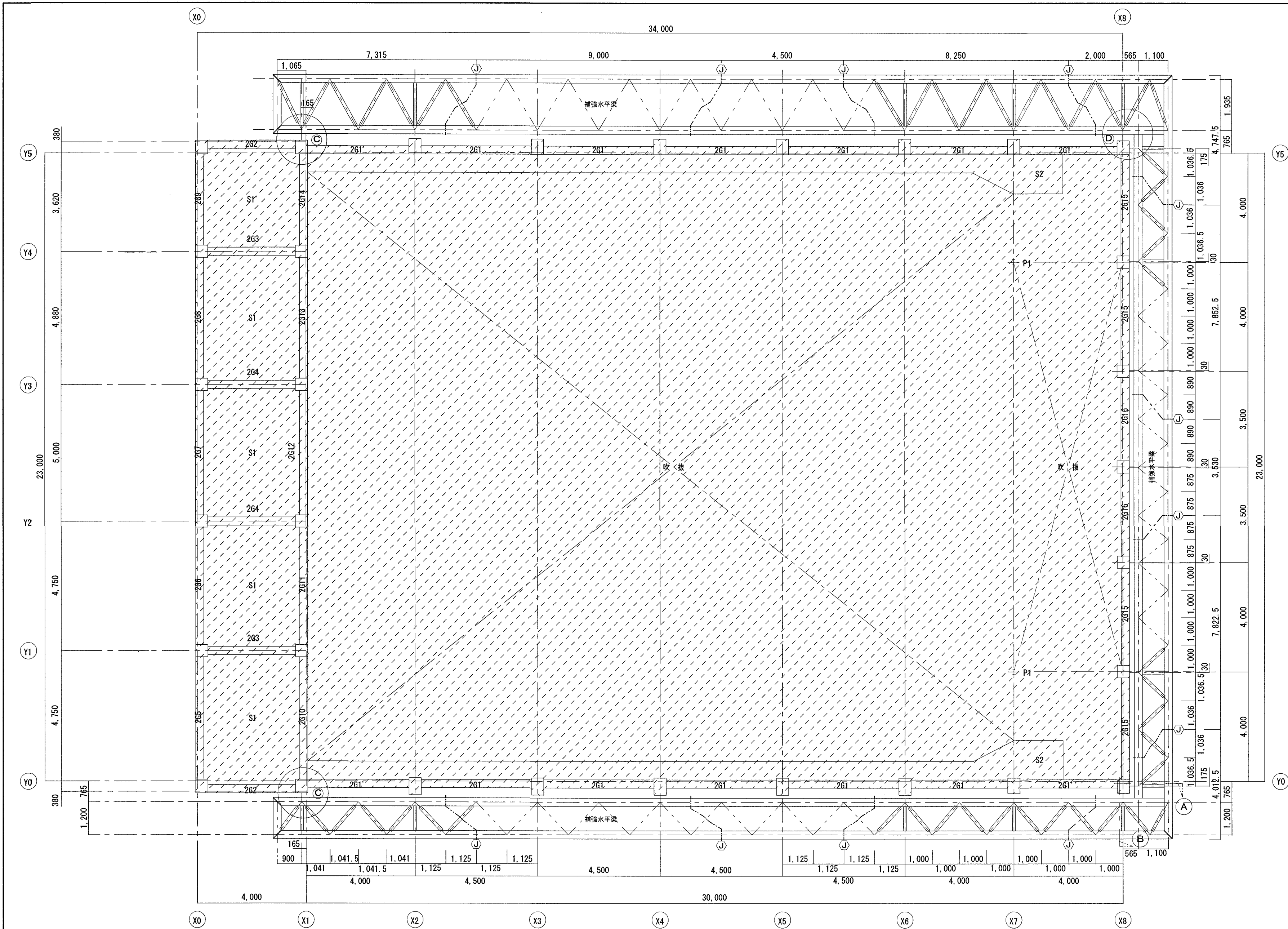
建具リスト S=1:70

形状				
符号見込	① AD 70	② AD 70	③ AD 70	④ AD 70
数量	1ヶ所	2ヶ所	1ヶ所	1ヶ所
硝子	強化ガラス トーメイ t:5.0	上部 強化ガラス 型板 t:4.0	上部 強化ガラス 型板 t:4.0	
形状				
符号見込	⑤ AD 70	① AW 70	② AW 70	③ AW 70
数量	1ヶ所	9ヶ所	2ヶ所	4ヶ所
硝子		上段 強化ガラス 型板 t:4.0 下段 ラフワイヤー t:6.8	強化ガラス 型板 t:4.0	強化ガラス 型板 t:4.0
形状				
符号見込	④ AW 70			
数量	2ヶ所			
硝子	学校用強化ガラス トーメイ t:4.0			

※外壁面既存物(廻りシリング)打替え: MS-2(15×10) (凡例: ㄥ)

高知市 都市建設部 公共建築課

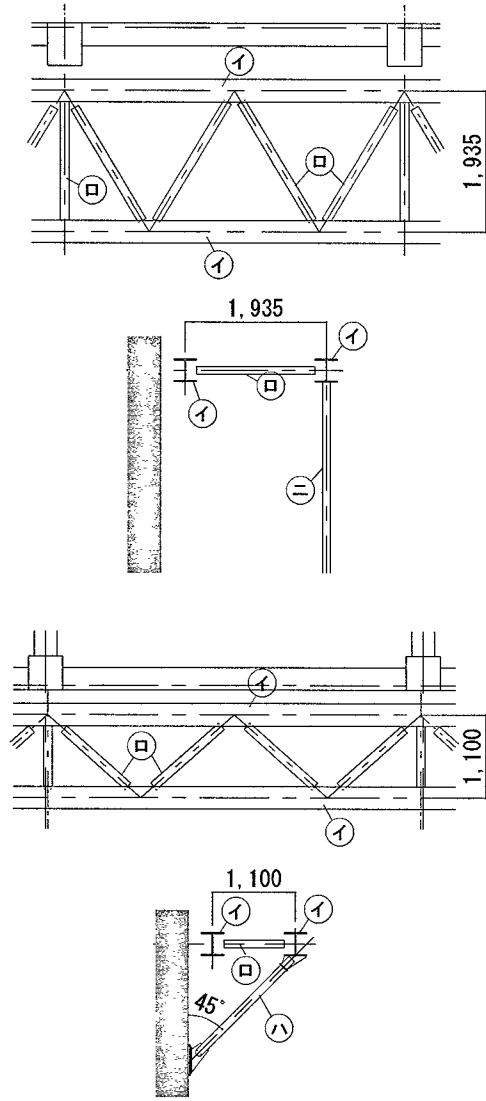
工事名	係 係長 課長補佐 課長 図面番号
潮江南小学校南舎及び屋内運動場外壁改修工事	小野 菅岡 濱口 松本 T-06
図面名	建具配置図・建具リスト 縮尺 1/70・100 作図 2025年 4月 日



ギャラリー梁伏図 S=1:100

J印はジョイント位置を示す。

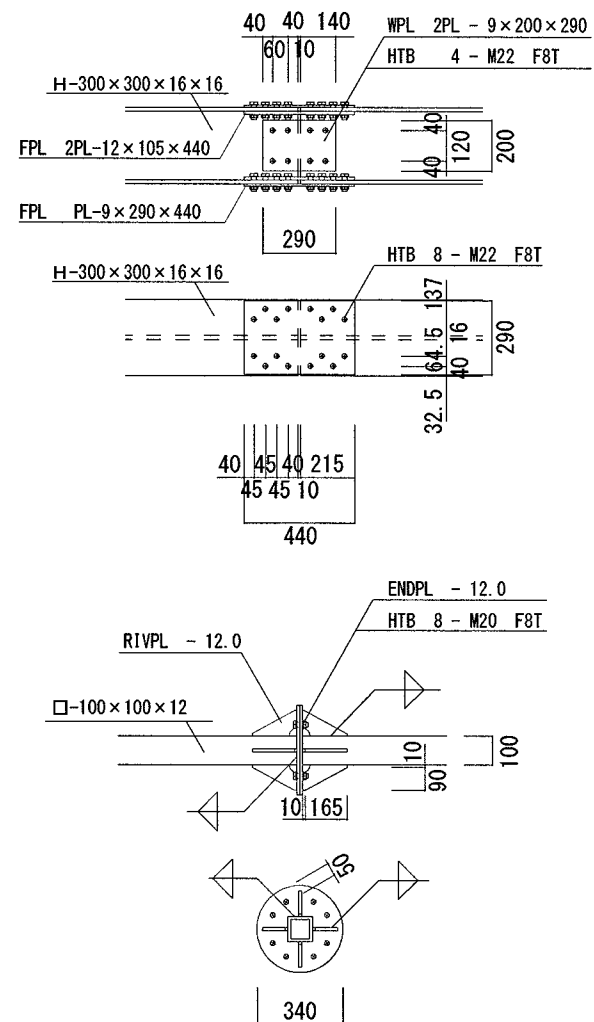
水平梁部材リスト図



符号	鉄骨	材質
① 弦材	BH - 300×300×16×16	SM490
② 桁材	□ - 100×100×12	STKR400
③ 方杖	鋼管-101.6φ×5.7	STK400
④ 柱材	鋼管-101.6φ×5.7	STK400

ジョイント部詳細図 S=1:30

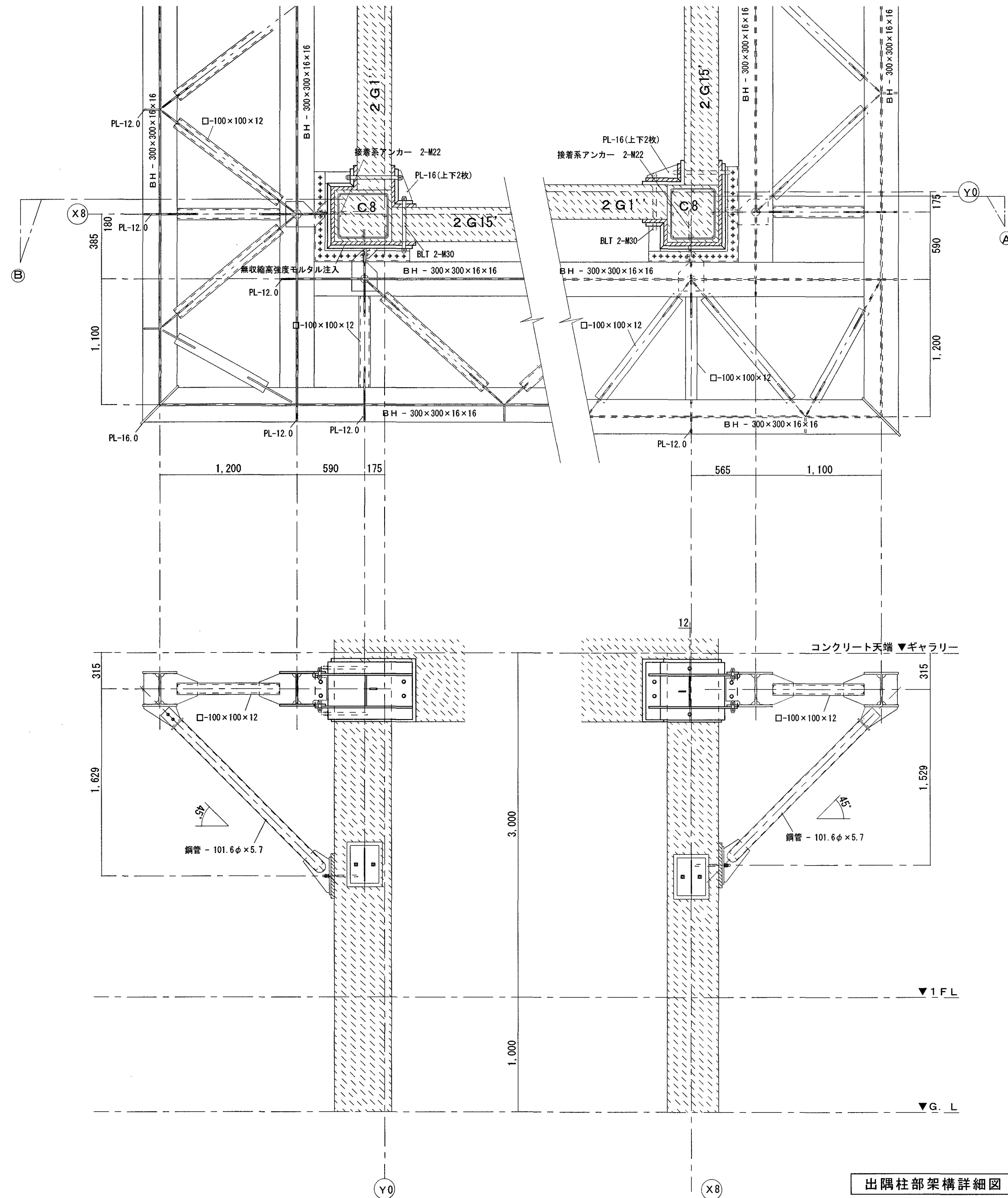
※ 高力ボルトは、めっきボルトとする。



※ 外部鉄骨材は、亜鉛アルミニウム溶射 (AL-15% ZN-85% t:100μm) とする。
外部取合高力ボルトは、めっきボルトとする。
記入寸法は現地測量の上施工図を作成し係員の承認を受ける事。
は既存部分を示す

高知市 都市建設部 公共建築課

工事名	潮江南小学校南舎及び屋内運動場外壁改修工事	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
図面名	ギャラリー梁伏図【参考図】	縮尺	1/30・100	作図	2025年 4月 日	T-07



※ 外部鉄骨材は、亜鉛アルミニウム溶射 (AL-15% ZN-85% t:100μm) とする。

外部取合高力ボルトは、めっきボルトとする。

記入寸法は現地測量の上施工図を作成し係員の承認を受ける事。

は既存部分を示す

高知市 都市建設部 公共建築課

工事名

潮江南小学校南舎及び屋内運動場外壁改修工事

図面名

耐震補強水平トラス梁詳細図 (1) 【参考図】

縮尺

1/30

係

係長

課長補佐

課長

図面番号

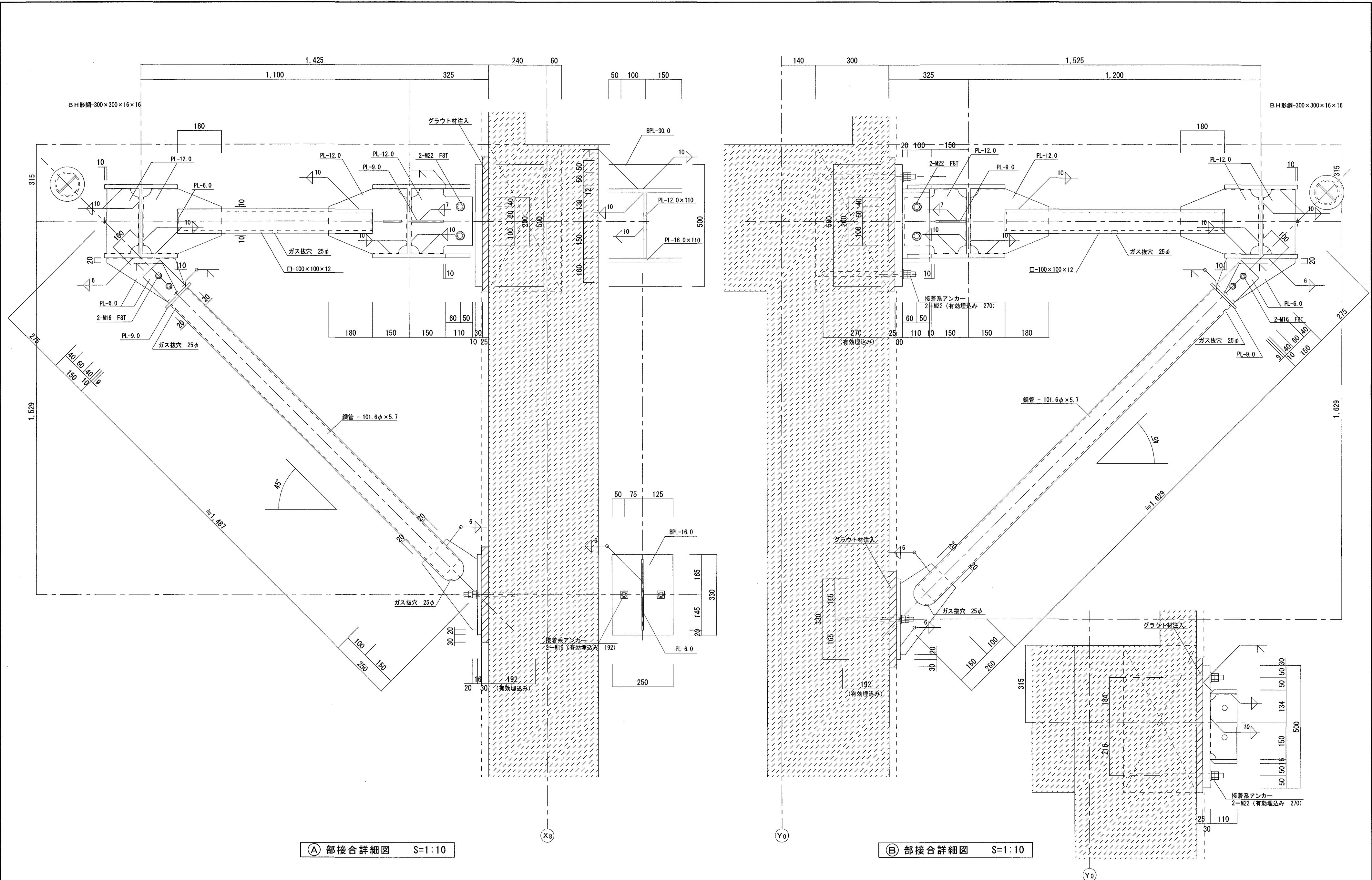
T-08

作図

2025年

4月

日

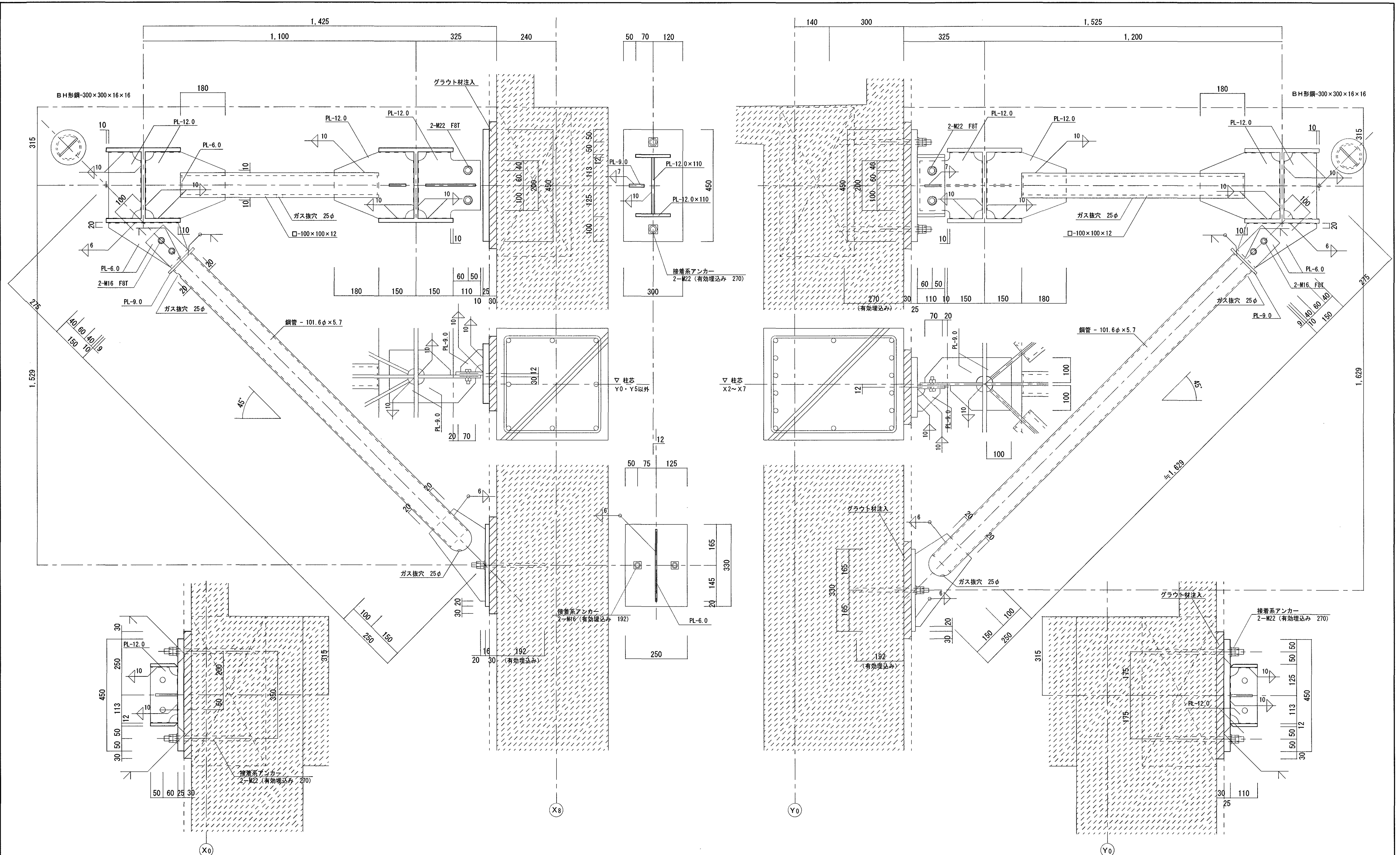


※ 外部鉄骨材は、亜鉛アルミニウム溶射 (AL-15% ZN-85% t:100 μ m) とする。
外部取合高力ボルトは、めっきボルトとする。
記入寸法は現地測量の上施工図を作成し係員の承認を受ける事。
は既存部分を示す

高知市 都市建設部 公共建築課

工事名	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
潮江南小学校南舎及び屋内運動場外壁改修工事					T-09
図面名 耐震補強水平トラス梁詳細図 (2) 【参考図】	縮尺	1/10	作図	2025年 4月 日	

-10 |



中央部(妻側)架構詳細図 S=1:10

中央部(桁行)架構詳細図 S=1:10

※ 外部鉄骨材は、亜鉛アルミニウム溶射 (AL-15% ZN-85% t:100μm) とする。
外部取合高力ボルトは、めっきボルトとする。
記入寸法は現地測量の上施工図を作成し係員の承認を受ける事。
は既存部分を示す

高知市 都市建設部 公共建築課

工事名	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
潮江南小学校南舎及び屋内運動場外壁改修工事					T-11
図面名 耐震補強水平トラス梁詳細図(4)【参考図】	縮尺 1/10	作図 2025年 4月 日			

